



**Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、
および 2960-S スイッチ システム メッセージ ガイド**
**Catalyst 3750, 3560, 3550, 2975, 2970, 2960, and 2960-S Switch
System Message Guide**

Cisco IOS リリース 12.2 (53) SE1

2010 年 3 月

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco Explorer, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco SensorBase, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco TrustSec, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, Flip Gift Card, and One Million Acts of Green are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Follow Me Browsing, GainMaker, iLynX, IOS, iPhone, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1002R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Catalyst 3750, 3560, 3550, 2975, 2970, 2960, および 2960-S スイッチ システム メッセージ ガイド

© 2007–2010 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2007–2010, シスコシステムズ合同会社.

All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	vii
対象読者	vii
目的	vii
表記法	vii
関連資料	viii
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	x

CHAPTER 1

システム メッセージの概要	1-1
システム メッセージの読み方	1-1
エラー メッセージ トレースバック レポート	1-8
アウトプット インタープリタ	1-8
Bug Toolkit	1-8
TAC への連絡	1-8

CHAPTER 2

メッセージおよび回復手順	2-1
ACLMGR メッセージ	2-3
AUTOQOS メッセージ	2-8
BACKUP_INTERFACE メッセージ	2-8
BADTRANSCEIVER メッセージ	2-9
BSPATCH メッセージ	2-9
CFGMGR メッセージ	2-10
CMP メッセージ	2-13
DHCP_SNOOPING メッセージ	2-14
DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ	2-18
DOT1Q_TUNNELLING メッセージ	2-19
DOT1X メッセージ	2-19
DOT1X_SWITCH メッセージ	2-21
DTP メッセージ	2-24
DWL メッセージ	2-25
EC メッセージ	2-26
ENVIRONMENT メッセージ	2-31
ETHCNTR メッセージ	2-31

EXPRESS_SETUP メッセージ	2-36
FM メッセージ	2-37
FRNTEND_CTRLR メッセージ	2-46
GBIC メッセージ	2-47
GBIC_SECURITY メッセージ	2-51
GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ	2-54
GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ	2-55
GIGASTACK メッセージ	2-56
HARDWARE メッセージ	2-57
HLFM メッセージ	2-59
HPSECURE メッセージ	2-61
IDBMAN メッセージ	2-61
IGMP_QUERIER メッセージ	2-65
ILPOWER メッセージ	2-66
IMAGEMGR メッセージ	2-72
IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ	2-74
L2TM メッセージ	2-75
L3TCAM メッセージ	2-76
MAC_LIMIT メッセージ	2-77
MAC_MOVE メッセージ	2-78
NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ	2-78
PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ	2-79
PBR メッセージ	2-80
PHY メッセージ	2-82
PIMSN メッセージ	2-84
PLATFORM メッセージ	2-85
PLATFORM_FBM メッセージ	2-87
PLATFORM_HCEF メッセージ	2-87
PLATFORM_HPLM メッセージ	2-88
PLATFORM_IPC メッセージ	2-89
PLATFORM_IPv6 メッセージ	2-91
PLATFORM_PBR メッセージ	2-91
PLATFORM_PM メッセージ	2-94
PLATFORM_RPC メッセージ	2-95
PLATFORM_SPAN メッセージ	2-97

PLATFORM_UCAST メッセージ	2-98
PLATFORM_VLAN メッセージ	2-101
PLATFORM_WCCP メッセージ	2-102
PM メッセージ	2-103
PORT_SECURITY メッセージ	2-112
QATM メッセージ	2-113
QM メッセージ	2-115
QOSMGR メッセージ	2-118
RMON メッセージ	2-124
SDM メッセージ	2-125
SPAN メッセージ	2-125
SPANTREE メッセージ	2-126
SPANTREE_FAST メッセージ	2-135
SPANTREE_VLAN_SW メッセージ	2-135
STACKMGR メッセージ	2-135
STORM_CONTROL メッセージ	2-138
SUPERVISOR メッセージ	2-139
SUPQ メッセージ	2-140
SW_DAI メッセージ	2-142
SW_MACAUTH メッセージ	2-145
SW_MATM メッセージ	2-146
SW_VLAN メッセージ	2-146
SWITCH_QOS_TB メッセージ	2-154
TCAMMGR メッセージ	2-155
UDLD メッセージ	2-157
UFAST_MCAST_SW メッセージ	2-159
VQPCLIENT メッセージ	2-160
WCCP メッセージ	2-161
WRLSCNTR メッセージ	2-162

INDEX



はじめに

対象読者

このマニュアルは、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S スイッチまたはスイッチ スタック（以後、スイッチと表記）を管理するネットワーク技術者が対象です。このマニュアルを活用するには、Cisco IOS ソフトウェア機能とスイッチ ソフトウェア機能の使用経験が必要です。

目的

このマニュアルで説明するのは、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S スイッチ固有のシステム メッセージです。すべての Cisco IOS システム エラー メッセージについては、『Cisco IOS Software System Error Messages, Cisco IOS Release 12.2』を参照してください。

このマニュアルでは、スイッチの設置手順またはスイッチ上でソフトウェア機能を設定する方法については説明しません。スイッチで使用するために作成または変更されたコマンドの詳細についても扱いません。ハードウェアの設置については、スイッチに付属しているハードウェア インストール ガイドを参照してください。ソフトウェアについては、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドおよびコマンド リファレンスを参照してください。

最新のマニュアル更新状況については、このリリースに対応するリリース ノートを参照してください。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用して説明および情報を表示しています。

コマンドの説明では、次の表記法を使用しています。

- コマンドおよびキーワードは、**太字**で示しています。
- ユーザが値を指定する引数は、*イタリック体*で示しています。
- 角カッコ ([]) の中の要素は、省略可能です。
- 必ずどれか 1 つを選択しなければならない要素は、波カッコ ({}) で囲み、縦棒 (|) で区切って示しています。
- 任意で選択する要素の中で、必ずどれか 1 つを選択しなければならない要素は、角カッコと波カッコで囲み、縦棒で区切って ([{}|]) 示しています。

対話形式の例では、次の表記法を使用しています。

- 端末セッションおよびシステム出力は、screen フォントで示しています。
- ユーザが入力する情報は、**太字の screen** フォントで示しています。
- パスワードやタブのように、出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。

(注) には次の表記および記号を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

関連資料

スイッチの詳細については、次の資料を参照してください。いずれも Cisco.com サイトから入手できます。

Catalyst 3750 スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps5023/tsd_products_support_series_home.html

Catalyst 3560 スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps5528/tsd_products_support_series_home.html

Catalyst 3550 スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps646/tsd_products_support_series_home.html

Catalyst 2975 スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10081/tsd_products_support_series_home.html

Catalyst 2970 スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/switches/ps5206/tsd_products_support_eol_series_home.html

Catalyst 2960 および 2960-S スイッチ

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6406/tsd_products_support_series_home.html



(注)

スイッチを設置、設定、またはアップグレードする場合は、あらかじめ以下の資料を参照してください。

- 初期設定については、クイック スタート ガイドの「Using Express Setup」の章、またはハードウェア インストールガイドの付録の「Configuring the Switch with the CLI-Based Setup Program」を参照してください。
- デバイス マネージャの要件については、リリース ノートの「System Requirements」を参照してください。
- Network Assistant の要件については、『*Getting Started with Cisco Network Assistant*』を参照してください。
- クラスタの要件については、『*Release Notes for Cisco Network Assistant*』を参照してください。
- アップグレード情報については、リリース ノートの「Downloading Software」を参照してください。

次のドキュメントは、各スイッチを対象として組み合わされています。

- 『*Release Notes for the Catalyst 3750, 3560, 3550, 2970, 2960, and 2960-S Switches*』

Catalyst 3750 スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Catalyst 3750 Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 3750 Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 3750 Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 3750 Switch Getting Started Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 3750 Switch*』

Catalyst 3560 スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Catalyst 3560 Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 3560 Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 3560 Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 3560 Switch Getting Started Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 3560 Switch*』

Catalyst 3550 スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Catalyst 3550 Multilayer Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 3550 Multilayer Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 3550 Multilayer Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 3550 Multilayer Switch Getting Started Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 3550 Multilayer Switch*』

Catalyst 2975 スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Catalyst 2975 Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 2975 Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 2975 Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 2975 Switch Getting Started Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2975 Switch*』
- 『*Release Notes for the Catalyst 2975 Switches*』

Catalyst 2970 スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Catalyst 2970 Switch Software Configuration Guide*』
- 『*Catalyst 2970 Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 2970 Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 2970 Switch Getting Started Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2970 Switch*』

Catalyst 2960 および 2960-S スイッチ用に、次の各マニュアルが用意されています。

- 『*Release Notes for the Catalyst 2960-S Switches*』
- 『*Catalyst 2960 Switch Getting Started Guide*』
- 『*Catalyst 2960-S Switch Getting Started Guide*』
- 『*Catalyst 2960 and 2960-S Switch Software Configuration Guide*』

- 『*Catalyst 2960 and 2960-S Switch Command Reference*』
- 『*Catalyst 2960 Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Catalyst 2960-S Switch Hardware Installation Guide*』
- 『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Catalyst 2960 and 2960-S Switch*』

スイッチに関するその他の情報については、次のマニュアルを参照してください。

- 『*Release Notes for Cisco Network Assistant*』
- 『*Getting Started with Cisco Network Assistant*』
- 『*Cisco RPS 300 Redundant Power System Hardware Installation Guide*』
- 『*Cisco RPS 675 Redundant Power System Hardware Installation Guide*』
- Network Admission Control (NAC) 機能の詳細については、『*Network Admission Control Software Configuration Guide*』を参照してください。
- Cisco SFP、SFP+、および GBIC モジュールの情報については、次の Cisco.com サイトから入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps5455/prod_installation_guides_list.html

SFP の互換性マトリックスの資料は、次の Cisco.com サイトから入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/modules/ps5455/products_device_support_tables_list.html

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



CHAPTER 1

システム メッセージの概要

このマニュアルでは、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S 固有のシステム メッセージについて説明します。これらのメッセージは稼動中、システム ソフトウェアからコンソール（および任意で別のシステムのロギング サーバ）に送信されます。すべてのシステム メッセージがシステムの問題を示すわけではありません。通知目的のメッセージもあれば、通信回線、内蔵ハードウェア、またはシステム ソフトウェアの問題を診断するうえで役立つメッセージもあります。



(注)

Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、または 2960-S プラットフォーム固有ではないシステム メッセージについては、www.cisco.com で、Cisco IOS リリース 12.2S に対応する『Cisco IOS Software System Messages』を参照してください。

- 「システム メッセージの読み方」(P.1-1)
- 「エラー メッセージ トレースバック レポート」(P.1-8)

システム メッセージの読み方

システム ログ メッセージは最大 80 文字と 1 つのパーセント記号 (%) で構成され、設定されている場合にはその前に、オプションとしてシーケンス番号またはタイムスタンプ情報が付加されます。メッセージは次の形式で表示されます。

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: 記述 (ホスト名-n)
(Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: 記述 (Catalyst 3750、2975、および 2960-S 以外のスイッチ)

システム メッセージ出力はデフォルトで、ロギング プロセスに送信されます。スイッチ スタックでは、スタック メンバーがシステム メッセージ出力に各自のホスト名を追加し、スタック マスター上のロギング プロセスに出力を転送します。

各システム メッセージはパーセント記号 (%) から始まります。構成は次のとおりです。

% ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: メッセージテキスト

- ファシリティは 2 文字以上の大文字のコードで、メッセージで言及するファシリティを示します。ファシリティはハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェア モジュールのいずれかを指します。表 1-1 に、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S 固有のファシリティ コードを示します。

第 2 章「メッセージおよび回復手順」で、ファシリティ コードのアルファベット順、重大度の高い（数字が小さい）エラーから先に、各メッセージについて説明します。

表 1-1 ファシリティ コード

ファシリティ コード	説明	参照先
ACLMGR	Access Control List (ACL; アクセスコントロールリスト) マネージャ	「ACLMGR メッセージ」(P.2-3)
AUTOQOS	Automatic Quality of Service (auto-QoS) (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「AUTOQOS メッセージ」(P.2-8)
BACKUP_INTERFACE	Flex Link	「BACKUP_INTERFACE メッセージ」(P.2-8)
BADTRANSCEIVER	障害トランシーバ メッセージ (3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「BADTRANSCEIVER メッセージ」(P.2-9)
BSPATCH	ブート ローダ パッチ	「BSPATCH メッセージ」(P.2-9)
CFGMGR	コンフィギュレーション マネージャ (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)	「CFGMGR メッセージ」(P.2-10)
CMP	Cluster Membership Protocol	「CMP メッセージ」(P.2-13)
DHCP_SNOOPING	DHCP スヌーピング	「DHCP_SNOOPING メッセージ」(P.2-14)
DHCP_SNOOPING_CAT3550	DHCP スヌーピング (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ」(P.2-18)
DOT1Q_TUNNELING	IEEE 802.1Q トンネリング (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「DOT1Q_TUNNELING メッセージ」(P.2-19)
DOT1X	IEEE 802.1x	「DOT1X メッセージ」(P.2-19)
DOT1X_SWITCH	スイッチ用 IEEE 802.1x	「DOT1X_SWITCH メッセージ」(P.2-21)
DTP	Dynamic Trunking Protocol (DTP; ダイナミック トランキング プロトコル)	「DTP メッセージ」(P.2-24)
DWL	Down-When-Looped	「DWL メッセージ」(P.2-25)
EC	EtherChannel	「EC メッセージ」(P.2-26)
ENVIRONMENT	環境 (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「ENVIRONMENT メッセージ」(P.2-31)
ETHCNTR	イーサネット コントローラ	「ETHCNTR メッセージ」(P.2-31)
EXPRESS_SETUP	Express Setup	「EXPRESS_SETUP メッセージ」(P.2-36)
FM	機能マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「FM メッセージ」(P.2-37)
FRNTEND_CTRLR	フロントエンド コントローラ (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「FRNTEND_CTRLR メッセージ」(P.2-46)

表 1-1 ファシリティコード (続き)

ファシリティコード	説明	参照先
GBIC	Gigabit Interface Converter (GBIC; ギガビットインターフェイスコンバータ) モジュールの識別および有効性チェック (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「GBIC メッセージ」 (P.2-47)
GBIC_SECURITY	GBIC モジュールおよび Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY メッセージ」 (P.2-51)
GBIC_SECURITY_CRYPT	GBIC および SFP モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (P.2-54)
GBIC_SECURITY_UNIQUE	GBIC および SFP モジュール セキュリティ	「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」 (P.2-55)
GIGASTACK	GigaStack GBIC モジュール (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「GIGASTACK メッセージ」 (P.2-56)
HARDWARE	ハードウェア	「HARDWARE メッセージ」 (P.2-57)
HLFM	ローカル フォワーディング マネージャ	「HLFM メッセージ」 (P.2-59)
HPSECURE	HP セキュア	「HPSECURE メッセージ」 (P.2-61)
IDBMAN	インターフェイス記述ブロック マネージャ	「IDBMAN メッセージ」 (P.2-61)
IGMP_QUERIER	Internet Group Management Protocol (IGMP) クエリア	「IGMP_QUERIER メッセージ」 (P.2-65)
ILPOWER	Power over Ethernet (PoE)	「ILPOWER メッセージ」 (P.2-66)
IMAGEMGR	イメージ マネージャ (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)	「IMAGEMGR メッセージ」 (P.2-72)
IP_DEVICE_TRACKING_HA	ハイ アベイラビリティのための IP デバイス トラッキング	「IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ」 (P.2-74)
L2TM	レイヤ 2 フォワーディング マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「L2TM メッセージ」 (P.2-75)
L3TCAM	レイヤ 3 ユニキャストルーティング マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「L3TCAM メッセージ」 (P.2-76)
MAC_LIMIT	Media Access Control (MAC; メディア アクセス制御) アドレス テーブル エントリ	「MAC_LIMIT メッセージ」 (P.2-77)
MAC_MOVE	ホスト アクティビティ	「MAC_MOVE メッセージ」 (P.2-78)
NETWORK_PORT_SATELLITE	ネットワーク ポート サテライト (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ」 (P.2-78)

表 1-1 ファシリティ コード (続き)

ファシリティ コード	説明	参照先
PAGP_DUAL_ACTIVE	Port Aggregation Protocol (PAgP) デュアルアクティブ検出	「PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ」(P.2-79)
PBR	Policy-Based Routing (PBR; ポリシーベース ルーティング) (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「PBR メッセージ」(P.2-80)
PHY	PHY	「PHY メッセージ」(P.2-82)
PIMSN	Protocol Independent Multicast (PIM) スヌーピング	「PIMSN メッセージ」(P.2-84)
PLATFORM	下位レベル プラットフォーム固有	「PLATFORM メッセージ」(P.2-85)
PLATFORM_FBM	フォールバック ブリッジング マネージャ	「PLATFORM_FBM メッセージ」(P.2-87)
PLATFORM_HCEF	Cisco Express Forwarding (CEF) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)	「PLATFORM_HCEF メッセージ」(P.2-87)
PLATFORM_HPLM	プラットフォームの疑似ラベル マネージャ	「PLATFORM_HPLM メッセージ」(P.2-88)
PLATFORM_IPC	プラットフォームのプロセス間通信プロトコル (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「PLATFORM_IPC メッセージ」(P.2-89)
PLATFORM_IPv6	IP Version 6	「PLATFORM_IPv6 メッセージ」(P.2-91)
PLATFORM_PBR	プラットフォームのポリシーベース ルーティング	「PLATFORM_PBR メッセージ」(P.2-91)
PLATFORM_PM	プラットフォームのポート マネージャ	「PLATFORM_PM メッセージ」(P.2-94)
PLATFORM_RPC	プラットフォームのリモート プロシージャ コール (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「PLATFORM_RPC メッセージ」(P.2-95)
PLATFORM_SPAN	プラットフォームの Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ)	「PLATFORM_SPAN メッセージ」(P.2-97)
PLATFORM_UCAST	プラットフォームのユニキャスト ルーティング	「PLATFORM_UCAST メッセージ」(P.2-98)
PLATFORM_VLAN	プラットフォームの VLAN (仮想 LAN)	「PLATFORM_VLAN メッセージ」(P.2-101)
PLATFORM_WCCP	プラットフォームの WCCP	「PLATFORM_WCCP メッセージ」(P.2-102)
PM	ポート マネージャ	「PM メッセージ」(P.2-103)
PORT SECURITY	ポート セキュリティ	「PORT_SECURITY メッセージ」(P.2-112)

表 1-1 ファシリティコード (続き)

ファシリティコード	説明	参照先
QATM	QoS および ACL TCAM マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「QATM メッセージ」 (P.2-113)
QM	QoS マネージャ (Catalyst 3550 スイッチのみ)	「QM メッセージ」 (P.2-115)
QOSMGR	QoS マネージャ	「QOSMGR メッセージ」 (P.2-118)
RMON	Remote Network Monitoring (RMON; リモートネットワークモニタリング)	「RMON メッセージ」 (P.2-124)
SDM	Switch Database Manager (SDM; スイッチングデータベース マネージャ) (Catalyst 3750 スイッチのみ)	「SDM メッセージ」 (P.2-125)
SPAN	Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ)	「SPAN メッセージ」 (P.2-125)
SPANTREE	スパニングツリー	「SPANTREE メッセージ」 (P.2-126)
SPANTREE_FAST	スパニングツリー高速コンバージェンス	「SPANTREE_FAST メッセージ」 (P.2-135)
SPANTREE_VLAN_SW	スパニングツリー VLAN スイッチ	「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」 (P.2-135)
STACKMGR	スタック マネージャ (Catalyst 3750、2975、2960-S スイッチのみ)	「STACKMGR メッセージ」 (P.2-135)
STORM_CONTROL	ストーム制御	「STORM_CONTROL メッセージ」 (P.2-138)
SUPERVISOR	スーパーバイザ Application-Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け集積回路)	「SUPERVISOR メッセージ」 (P.2-139)
SUPQ	スーパーバイザ キュー	「SUPQ メッセージ」 (P.2-140)
SW_DAI	ダイナミック ARP インспекション	「SW_DAI メッセージ」 (P.2-142)
SW_MACAUTH	MAC アドレス認証 (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)	「SW_MACAUTH メッセージ」 (P.2-145)
SW_MATM	MAC アドレス テーブル マネージャ (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)	「SW_MATM メッセージ」 (P.2-146)
SW_VLAN	VLAN マネージャ	「SW_VLAN メッセージ」 (P.2-146)
SWITCH_QOS_TB	QoS 信頼境界	「SWITCH_QOS_TB メッセージ」 (P.2-154)

表 1-1 ファシリティコード (続き)

ファシリティコード	説明	参照先
TCAMMGR	Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャ	「TCAMMGR メッセージ」 (P.2-155)
UDLD	UniDirectional Link Detection (UDLD; 単一方向リンク検出)	「UDLD メッセージ」 (P.2-157)
UFAST_MCAST_SW	UplinkFast パケット転送	「UFAST_MCAST_SW メッセージ」 (P.2-159)
VQPCCLIENT	VLAN Query Protocol (VQP) クライアント	「VQPCCLIENT メッセージ」 (P.2-160)
WCCP	Web Cache Communication Protocol (WCCP; Web キャッシュ通信プロトコル)	「WCCP メッセージ」 (P.2-161)
WRLSCNTR	Catalyst 3750 Integrated Wireless LAN Controller スイッチ	「WRLSCNTR メッセージ」 (P.2-162)

- 重大度は 0 ~ 7 の 1 桁のコードで、状態の重大度を表します。数字が小さいほど深刻な状況です。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

重大度	説明
0 : 緊急	システムが使用不可能な状態
1 : アラート	ただちに対応が必要な状態
2 : クリティカル	クリティカルな状態
3 : エラー	エラー状態
4 : 警告	警告状態
5 : 通知	正常だが注意を要する状態
6 : 情報	単なる情報メッセージ
7 : デバッグ	デバッグ時に限り表示されるメッセージ

- ニーモニックは、メッセージを一意に識別するコードです。
- メッセージテキストは、状態を説明したテキスト文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワークアドレス、またはシステムメモリアドレススペースの位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。この可変フィールドの情報はメッセージごとに異なるので、ここでは角カッコ ([]) で囲んだ短い文字列で示します。たとえば 10 進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージの可変フィールドを示します。

表 1-3 可変フィールド

表記	情報のタイプ
[dec]	10 進整数
[char]	1 文字
[chars]	文字列
[enet]	イーサネット アドレス (たとえば 0000.FEED.00C0)
[hex]	16 進整数
[inet]	インターネットアドレス

マスター スイッチ以外の Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチが生成した Syslog メッセージは、必ず (*Switch-x*) で終わります。*Switch-x* は、メッセージを生成したスタック メンバーの番号です。マスター スイッチが生成した Syslog メッセージは、ホスト名の文字列なしで表示されます。

次の例は、Catalyst 3750、2975、および 2960-S 以外のスイッチのスイッチ システム メッセージの一部分です。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet0/1, changed
state to down 2 *Mar 1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2
(10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar 1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
```

次の例は、Catalyst 3750 スイッチ スタック、Catalyst 2975 スイッチ スタック、または Catalyst 2960-S スイッチ スタック内のスタック マスターおよびスタック メンバー スイッチ (ホスト名は *Switch-2*) に対応するスイッチ システム メッセージの一部分です。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet1/0/1, changed
state to down 2
*Mar 1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar 1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)

00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up (Switch-2)
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/1, changed state to up (Switch-2)
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet1/0/2, changed state to up (Switch-2)
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
(Switch-2)
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet1/0/1, changed
state to down 2 (Switch-2)
```

エラー メッセージ トレースバック レポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。テクニカルサポートの担当者に問題を報告するときは、この情報を提出してください。

次のメッセージ例にはトレースバック情報が含まれています。

```
-Process= "Exec", level= 0, pid= 17  
-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860
```

システム メッセージによっては、エラー メッセージをコピーしたうえでさらに対応を要求される場合があります。次のオンライン ツールからシステム エラー メッセージの詳細を得ることもできます。

アウトプット インタープリタ

アウトプット インタープリタは、**show tech-support** イネーブル EXEC コマンドなど、さまざまな CLI (コマンドライン インターフェイス) コマンドの出力に基づいて、詳細情報および推奨する解決方法を提供します。

<https://www.cisco.com/pcgi-bin/Support/OutputInterpreter/home.pl>

Bug Toolkit

Bug Toolkit は、解決済みまたは未解決の問題点に関する情報を提供します。特定の Cisco IOS リリースで既知のバグをすべて検索できます。

<http://tools.cisco.com/Support/BugToolKit/>

TAC への連絡

エラーの種類を特定することができない場合は、「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」(P.x) を参照してください。



CHAPTER 2

メッセージおよび回復手順

この章では、Catalyst 3750、3560、3550、2975、2970、2960、および 2960-S スイッチのシステムメッセージを、ファシリティごとにアルファベット順で説明します。各ファシリティのメッセージは、重大度 0 ～ 7 の順に示します。重大度は 0 が最も高く、7 が最も軽微です。各メッセージに続いて、説明と推奨処置を示します。



(注)

この章のメッセージには、ソフトウェアでシステム ログ メッセージング対応の設定を行った場合にだけ表示される、ホスト名または日時スタンプは含まれていません。

- 「ACLMGR メッセージ」 (P.2-3)
- 「AUTOQOS メッセージ」 (P.2-8) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「BACKUP_INTERFACE メッセージ」 (P.2-8)
- 「BADTRANSCEIVER メッセージ」 (P.2-9) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「BSPATCH メッセージ」 (P.2-9)
- 「CFGMGR メッセージ」 (P.2-10) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「CMP メッセージ」 (P.2-13)
- 「DHCP_SNOOPING メッセージ」 (P.2-14)
- 「DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ」 (P.2-18) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「DOT1Q_TUNNELING メッセージ」 (P.2-19) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「DOT1X メッセージ」 (P.2-19)
- 「DOT1X_SWITCH メッセージ」 (P.2-21)
- 「DTP メッセージ」 (P.2-24)
- 「DWL メッセージ」 (P.2-25)
- 「EC メッセージ」 (P.2-26)
- 「ENVIRONMENT メッセージ」 (P.2-31) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「ETHCNTR メッセージ」 (P.2-31)
- 「EXPRESS_SETUP メッセージ」 (P.2-36)
- 「FM メッセージ」 (P.2-37) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「FRNTEND_CTRLR メッセージ」 (P.2-46) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「GBIC メッセージ」 (P.2-47) (Catalyst 3550 スイッチのみ)

- 「GBIC_SECURITY メッセージ」 (P.2-51)
- 「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (P.2-54)
- 「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」 (P.2-55)
- 「GIGASTACK メッセージ」 (P.2-56) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「HARDWARE メッセージ」 (P.2-57)
- 「HLFM メッセージ」 (P.2-59)
- 「HPSECURE メッセージ」 (P.2-61) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「IDBMAN メッセージ」 (P.2-61)
- 「IGMP_QUERIER メッセージ」 (P.2-65)
- 「ILPOWER メッセージ」 (P.2-66)
- 「IMAGEMGR メッセージ」 (P.2-72) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ」 (P.2-74)
- 「L2TM メッセージ」 (P.2-75) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「L3TCAM メッセージ」 (P.2-76) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「MAC_LIMIT メッセージ」 (P.2-77)
- 「MAC_MOVE メッセージ」 (P.2-78)
- 「NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ」 (P.2-78) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ」 (P.2-79)
- 「PBR メッセージ」 (P.2-80) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「PHY メッセージ」 (P.2-82)
- 「PIMSN メッセージ」 (P.2-84) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM メッセージ」 (P.2-85)
- 「PLATFORM_HCEF メッセージ」 (P.2-87) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM_HPLM メッセージ」 (P.2-88) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM_IPC メッセージ」 (P.2-89) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「PLATFORM_IPv6 メッセージ」 (P.2-91)
- 「PLATFORM_PBR メッセージ」 (P.2-91) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM_PM メッセージ」 (P.2-94)
- 「PLATFORM_RPC メッセージ」 (P.2-95) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「PLATFORM_SPAN メッセージ」 (P.2-97) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM_UCAST メッセージ」 (P.2-98) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PLATFORM_VLAN メッセージ」 (P.2-101)
- 「PLATFORM_WCCP メッセージ」 (P.2-102) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「PM メッセージ」 (P.2-103)
- 「PORT_SECURITY メッセージ」 (P.2-112)
- 「QATM メッセージ」 (P.2-113) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「QM メッセージ」 (P.2-115) (Catalyst 3550 スイッチのみ)
- 「QOSMGR メッセージ」 (P.2-118)

- 「RMON メッセージ」 (P.2-124)
- 「SDM メッセージ」 (P.2-125) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「SPAN メッセージ」 (P.2-125)
- 「SPANTREE メッセージ」 (P.2-126)
- 「SPANTREE_FAST メッセージ」 (P.2-135)
- 「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」 (P.2-135)
- 「STACKMGR メッセージ」 (P.2-135) (Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのみ)
- 「STORM_CONTROL メッセージ」 (P.2-138)
- 「SUPERVISOR メッセージ」 (P.2-139)
- 「SUPQ メッセージ」 (P.2-140)
- 「SW_DAI メッセージ」 (P.2-142) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「SW_MACAUTH メッセージ」 (P.2-145)
- 「SW_MATM メッセージ」 (P.2-146) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「SW_VLAN メッセージ」 (P.2-146)
- 「SWITCH_QOS_TB メッセージ」 (P.2-154)
- 「TCAMMGR メッセージ」 (P.2-155)
- 「UDLD メッセージ」 (P.2-157)
- 「UFAST_MCAST_SW メッセージ」 (P.2-159)
- 「WCCP メッセージ」 (P.2-161) (Catalyst 3750 および 3560 スイッチのみ)
- 「WRLSCNTR メッセージ」 (P.2-162) (Catalyst 3750 スイッチのみ)

ACLMGR メッセージ

ここでは、Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) マネージャ メッセージについて説明します。ここで取り上げるメッセージの大部分は、スイッチのメモリ不足が原因で生成されます。この場合のメモリには、ハードウェア メモリおよびラベル スペースは含まれますが、CPU メモリは含まれません。この両方の種類のメモリ不足について説明します。

エラー メッセージ ACLMGR-2-NOMAP: Cannot create ACL Manager data structures for VLAN Map [chars].

説明 このメッセージは、ACL マネージャが、ハードウェアに読み込める形式で VLAN (仮想 LAN) マップを記述するのに必要なデータ構造を割り当てられなかったことを示します。このエラーは通常、空きメモリ不足が原因で発生します。[chars] は VLAN マップ名です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ ACLMGR-2-NOVLB: Cannot create memory block for VLAN [dec].

説明 このメッセージは、ACL マネージャが、正常な動作に必要な VLAN 単位の情報を保存できなかったことを示します。アクセス グループ、VLAN マップなど、一部のインターフェイス単位の機能は正しく設定されません。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 メモリ所要量の少ない、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。

エラー メッセージ ACLMGR-2-NOVMR: Cannot generate hardware representation of access list [chars]

説明 このメッセージは、ACL のハードウェア表現を作成するのに使用可能なリソースが不足していることを示します。この問題は、使用可能な論理演算ユニットまたは専用のハードウェア リソースの不足が原因と考えられます。論理演算ユニットは、TCP フラグの一致、または TCP、UDP、SCTP ポート番号での **eq** 以外 (**ne**、**gt**、**lt**、**range**) のテストが必要です。

推奨処置 ACL 設定を変更して使用するリソースを減らすか、他の ACL 名または番号よりも英数字順で先に表示される名前または番号に ACL の名前を変更します。

エラー メッセージ ACLMGR-3-ACLTCAMFULL: Acl Tcam Full. Drop packets on Output Acl label [dec] on [chars] [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチだけに適用されます。

説明 このメッセージは、プラットフォーム固有の ACL TCAM が、設定されている ACL の数をサポートできないことを示します。[dec] はラベル番号、[chars] はレイヤを表します。最初の [chars] はレイヤ 3 用で、次はレイヤ 2 用です。TCAM の 1 つのレイヤだけが満杯の場合は、1 つの文字列だけが表示され、他方はヌルになります。

推奨処置 インターフェイスに適用する IP または メディア アクセス制御 (MAC) アクセス リストの数を減らします。

エラー メッセージ ACLMGR-3-AUGMENTFAIL: Augmenting of access-map [chars] on [chars] label [dec] failed.

説明 このメッセージは、システムが、必要な要素と設定済みアクセス マップを内部で結合しようとして、CPU DRAM を使い果たしたことを示します。最初の [chars] はアクセス マップ名です。次の [chars] はマップを適用した方向 (*input* または *output*) です。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ ACLMGR-3-IECPORTLABELERROR: ACL labels are out-of-sync on interface [chars], label [dec] is not available on asic [dec].

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。[chars] はインターフェイス名です。最初の [dec] は ACL に関連付けるラベル、次の [dec] は Application-Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け集積回路) 番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-INSERTFAIL: Insert of access-map [chars] #[dec] into [chars] label [dec] failed.

説明 このメッセージは、システムがアクセス マップのセクションを結合しようとして、CPU メモリを使い果たしたことを示します。最初の [chars] はマップ名です。次の [chars] はマップを適用した方向です。最初の [dec] はエン트리番号です。次の [dec] はラベル番号です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。たとえば、使用していない定義済みの ACL を削除します。Access Control Entry (ACE; アクセス コントロール エントリ) の少ない単純な ACL を使用します。使用する VLAN を減らし、VLAN データベースから不要な VLAN を削除します。

エラー メッセージ ACLMGR-3-INTTABLE: Not in truth table: VLMAP [dec] RACL [dec] Mcb [dec] Feat [dec].

説明 このメッセージは、設定された入力機能をマージする際に、回復不可能なソフトウェア エラーが発生したことを示します。[dec] は内部処理コードです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-INVALIDPARAM: Invalid [chars] [int] encountered

説明 このメッセージは、アクセス コントロール リスト (ACL) マネージャで無効なパラメータ値が発生したことを示します。[chars] はパラメータ名です。[int] はパラメータ値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-MAXRECURSION: Too many ([dec]) levels of recursion while merging ACLs (code [dec]).

説明 このメッセージは、プラットフォーム固有の ACL マージ コードをサポートするには、コンフィギュレーションが複雑すぎることを示します。最も考えられる原因は、1 つの VLAN マップまたはポリシー マップに含まれる、個別のアクセス リストの数が多すぎることです。最初の [dec] は循環レベル数です。2 番めの [dec] は問題が発生したときのマージ ステージの内部コード番号です。

推奨処置 1 つの VLAN マップまたはポリシー マップに含まれる（独立していると思なされる）IP または MAC アクセス リストの数を減らし、このログ メッセージで報告されるレベル数が少なくなるようにします。

エラー メッセージ ACLMGR-3-MERGEFAIL: [chars] ACL merge error [dec] ([chars]) on [chars] label [dec].

説明 このメッセージは、ACL マネージャが、設定済みの機能をハードウェアに読み込める形式にマージできなかったことを示します。この機能の影響を受ける可能性のあるパケットは、CPU に送られて処理されます。システムに対して大きすぎるかまたは複雑すぎる ACL を指定していることが、一般的な原因です。最初の [chars] は ACL タイプ エラー (*ip* または *mac*) です。最初の [dec] はエラー コードです。2 番めの [chars] は前のエラー コードに対応するメッセージ テキストです。2 番めの [dec] はラベル番号です。3 番めの [chars] は *input* または *output* のいずれかです。

推奨処置 小規模で、複雑ではないコンフィギュレーションを指定します。

エラー メッセージ ACLMGR-3-NOLABEL: Cannot allocate [chars] label for interface [chars].

説明 このメッセージは、ACL マネージャが、このインターフェイス上の機能にラベルを割り当てられなかったことを示します。したがって、ハードウェアをプログラミングして機能を実装することができないので、このインターフェイスへのパケットはソフトウェアでフィルタリングされます。ラベルは一方につき 256 が限度です。最初の [chars] は方向 (*input* または *output*)、2 番めの [chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 単純なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数のインターフェイスで同じ ACL を使用します。

エラー メッセージ ACLMGR-3-OUTTTABLE: Not in truth table: RACL [dec] VLMAP [dec].

説明 このメッセージは、設定された出力機能をマージする際に、回復不可能なソフトウェア エラーが発生したことを示します。[dec] は内部処理コードです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-PACLTABLE: Not in truth table: IPSrcGrd [dec] PACL [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、設定されたポート ACL 機能をマージする際に、回復不可能なソフトウェア エラーが発生したことを示します。最初の [dec] は IP ソース ガードで指定されたアクションです。次の [dec] はポート ACL で指定されたアクションです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-QOSTTABLE: Not in truth table: ACL [dec] in map, action [dec].

説明 このメッセージは、Quality of Service (QoS) ポリシー マップをマージする際に、ソフトウェア エラーが発生したことを示します。最初の [dec] は ACL 番号です。2 番めの [dec] は指定された ACL 番号に対応する処置です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-RELOADED: Reloading [chars] label [dec] feature.

説明 このメッセージは、ACL マネージャが、このラベルに設定されている機能をハードウェアに追加ロードできるようになったことを示します。スペース不足が原因で、1 つまたは複数の機能がアンロードされていました。[chars] は方向 (*input* または *output*) です。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ ACLMGR-3-UNKNOWNACTION: Unknown VMR access group action [hex].

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。[hex] は内部処理コードです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ACLMGR-3-UNLOADING: Unloading [chars] label [dec] feature.

説明 このメッセージは、ACL マネージャがコンフィギュレーション全体をハードウェアにロードできなかったため、一部の機能がソフトウェアで適用されることを示します。VLAN の一部または全部のパケットが、CPU によって転送されます。マルチキャストパケットは転送されず、すべて廃棄される可能性があります。[chars] は方向 (*input* または *output*) です。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 単純なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数のインターフェイスで同じ ACL を使用します。

AUTOQOS メッセージ

ここでは、Automatic Quality of Service (auto-QoS) マネージャ メッセージについて説明します。

エラー メッセージ AUTOQOS-3-FEATURE_UNINITIALIZED: Feature not initialized in the platform, [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、この機能が初期化されておらず、インターフェイス上でイネーブルになっていないことを示します。[chars] は機能名で、この場合は auto-QoS です。

推奨処置 この機能が動作していない場合は、**reload** イネーブル EXEC コマンドを使用してシステムを再起動します。このソフトウェア リリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドを参照して、使用するスイッチ上でこの機能がサポートされているかどうかを確認してください。

BACKUP_INTERFACE メッセージ

ここでは、Flex Link のメッセージについて説明します。

エラー メッセージ BACKUP_INTERFACE-5-PREEMPT: Preempting interface [chars] in backup pair ([chars], [chars]), preemption mode is [chars]

説明 このメッセージは、スイッチが、バックアップ インターフェイス ペアの現在の転送インターフェイスを先取することを示します。最初の [chars] は現在の転送インターフェイスの番号です。2 番めおよび 3 番めの [chars] はバックアップ ペアのインターフェイス名、4 番めの [chars] は先取モードです。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ BACKUP_INTERFACE-5-VLB_NON_TRUNK: Warning: Flexlink VLB is not allowed on non-trunk ports. Please configure [chars] to be a trunk port.

説明 このメッセージは、Flex Link の VLAN ロード バランシング (VLB) が、非トランク ポートを検出したことを示します。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 インターフェイスをトランッキング モードに変更します。

BADTRANSCEIVER メッセージ

ここでは、障害トランシーバ メッセージについて説明します。

エラーメッセージ BADTRANSCEIVER, PHY, LOG_WARNING: An innapropriate transceiver has been inserted in interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定のインターフェイスに故障したモジュールが取り付けられていることを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 トランシーバを取り外します。シスコから購入した場合は、シスコの代理店に連絡して、トランシーバを交換してください。

BSPATCH メッセージ

ここでは、ブート ローダ パッチ メッセージについて説明します。

エラーメッセージ BSPATCH-1-RELOAD: System will reboot to activate newly patched Boot Loader.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ブート ローダのパッチ後に、スイッチが自動的に再起動することを示します。

推奨処置 このメッセージが繰り返し表示される場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ BSPATCH-1-PATCHED: Boot Loader patch ([chars]) installed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ブート ロード パッチが正常に取り付けられていることを示します。
[chars] は SDRAM リフレッシュ タイマー レジスタの設定です。

推奨処置 このメッセージが繰り返し表示される場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ BSPATCH-3-FAILED: Failed to install Boot Loader patch ([chars]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチがブート ロード パッチを適用しなかったことを示します。
[chars] は SDRAM リフレッシュ タイマー レジスタの設定です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

CFGMGR メッセージ

ここでは、コンフィギュレーション マネージャのメッセージについて説明します。

エラー メッセージ CFGMGR-1-UNABLE_TO_SEND_RUN_CFG: unable to send running-cfg, bits: [hex], retrying...



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、システムが実行コンフィギュレーションをスタック メンバー スイッチに配布しようとしたますが、正常に処理できなかったことを示します。[hex] は、スイッチ番号のビット表示です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ CFGMR-1-UNABLE_TO_SEND_STARTUP_CFG: unable to send startup-cfg, bits: [hex], retrying...



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、システムがスタートアップ コンフィギュレーション ファイルをスタック メンバー スイッチに配布しようとしたが、正常に処理できなかったことを示します。[hex] は、スイッチ番号のビット表示です。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ CFGMR-3-ERROR_APPLYING_STARTUP_CFG: Error Applying Startup Config to Running Config.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタートアップ コンフィギュレーション を実行コンフィギュレーション に自動的に適用していたときに、システム エラーが発生したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ CFGMR-4-MEMBER_WRITING_STARTUP_CFG: only master can do that.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタック メンバー スイッチがスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに書き込みを試行したことを示します。スタートアップ コンフィギュレーション ファイルに書き込むことができるのは、スタック マスターだけです。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ CFGMGR-5-UNABLE_TO_USE_PROVISIONED_CFG: Switch [dec] will receive the default configuration.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定されたスイッチのスイッチタイプが、そのスイッチ番号に指定されたコンフィギュレーションと一致しないことを示します。このスイッチには、デフォルトのコンフィギュレーションが適用されます。[dec] はスタックメンバー番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ CFGMGR-6-APPLYING_RUNNING_CFG: as new master.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、新しいスタックマスターがバックアップ実行コンフィギュレーションを適用していることを示します。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ CFGMGR-6-SPURIOUS_MEMBER_ADD: CFG MGR Recvd Spurious New Member Notification: [int].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、コンフィギュレーションマネージャが、スタックにすでに存在しているスタックメンバースイッチの追加について通知を受けたことを示します。[int] はスイッチ番号です。

推奨処置 このメッセージが繰り返し表示される場合は、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ CFGMGR-6-UNABLE_TO_NVGEN_BUSY_RUNNING_CFG: config file busy, retrying...



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、別のプロセスがコンフィギュレーションファイルを生成しているので、スタックマスターが一時的にスタックの実行コンフィギュレーションを生成できないことを示します。

推奨処置 対処不要です。動作が再試行されます。

エラー メッセージ CFGMGR-6-UNABLE_TO_NVGEN_RUNNING_CFG: config file too large...



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、コンフィギュレーション ファイルが大きすぎるので、スタック マスターがスタックの実行コンフィギュレーションを生成できないことを示します。

推奨処置 コンフィギュレーション コマンドの一部を削除します。

CMP メッセージ

ここでは、Cluster Membership Protocol (CMP) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ CMP-4-MEM_CMPIP_ADDR_CONFLICT: Conflict with CMP IP address [IP_address], Reissuing a new CMP IP address to member [dec]



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、クラスター コマンドが、メンバーに割り当てられた CMP IP アドレスとの競合を検出したことを示します。新しい一意の CMP IP アドレスがメンバーに割り当てられました。[dec] はメンバー番号です。

推奨処置 これは警告専用メッセージです。コマンドは、新しい一意のアドレスをすでにクラスターメンバーに割り当てています。**clear tcp** イネーブル EXEC コマンドを使用して、メンバーの開いている TCP 接続を解除してください。

エラー メッセージ CMP-5-ADD: The Device is added to the cluster (Cluster Name: [chars], CMDR IP Address [IP_address]).

説明 このメッセージは、クラスターにデバイスが追加されたことを示します。[chars] はクラスター名です。[IP_address] はコマンド スイッチのインターネット アドレスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ CMP-5-MEMBER_CONFIG_UPDATE: Received member configuration from member [dec].

説明 このメッセージは、アクティブまたはスタンバイ コマンド スイッチがメンバーのコンフィギュレーションを受信したことを示します。[dec] は送信側のメンバー番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ CMP-5-MGMT_VLAN_CHNG: The management vlan has been changed to [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、管理 VLAN が変更されたことを示します。[dec] は新しい管理 VLAN の番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ CMP-5-NBR_UPD_SIZE_TOO_BIG: Number of neighbors in neighbor update is [int], maximum number of neighbors allowed in neighbor update is [int].

説明 このメッセージは、クラスタリング ネイバアップデート パケットのクラスタ ネイバ数が、クラスタリング モジュールでサポートされるネイバ数を超過していることを示します。最初の [int] は新しいネイバ数です。次の [int] はネイバの最大数です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ CMP-5-REMOVE: The Device is removed from the cluster (Cluster Name: [chars]).

説明 このメッセージは、クラスタからデバイスが削除されたことを示します。[chars] はクラスタ名です。

推奨処置 対処不要です。

DHCP_SNOOPING メッセージ

ここでは、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) スヌーピング メッセージについて説明します。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-3-DHCP_SNOOPING_INTERNAL_ERROR: DHCP Snooping internal error, [chars].

説明 このメッセージは、DHCP スヌーピング プロセスでソフトウェア健全性チェックに失敗したことを示します。[chars] はエラーです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-AGENT_OPERATION_FAILED: DHCP snooping binding transfer failed. [chars].

説明 このメッセージは、DHCP スヌーピングのバインディング転送プロセスに失敗したことを示します。[char] は、プロセスに失敗した理由です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-AGENT_OPERATION_FAILED_N: DHCP snooping binding transfer failed ([dec]). [chars].

説明 このメッセージは、DHCP スヌーピングのバインディング転送プロセスに失敗したことを示します。[dec] はプロセスに失敗した回数で、[chars] はプロセスに失敗した理由です。このメッセージの頻度は制限されます。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-DHCP_SNOOPING_ERRDISABLE_WARNING: DHCP Snooping received [dec] DHCP packets on interface [chars].

説明 このメッセージは、スイッチが、指定されたインターフェイス上で DHCP パケットのレート制限違反を検出し、そのインターフェイスをエラー ディisable ステートに設定したことを示します。[dec] は DHCP パケットの数です。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-DHCP_SNOOPING_PVLAN_WARNING: DHCP Snooping configuration may not take effect on secondary vlan [dec]. [chars]

説明 このメッセージは、プライベート VLAN（仮想 LAN）機能が設定されている場合、プライマリ VLAN 上の DHCP スヌーピング設定が、すべてのセカンダリ VLAN に自動的に伝播されることを示します。[dec] はセカンダリ VLAN の VLAN ID です。[chars] は警告です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-4-IP_SOURCE_BINDING_NON_EXISTING_VLAN_WARNING: IP source binding is configured on non existing vlan [dec].

説明 このメッセージは、未設定の VLAN 上に IP ソース バインディングが設定されたことを示します。[dec] は VLAN です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ DHCP_SNOOPING-4-IP_SOURCE_BINDING_PVLAN_WARNING: IP source filter may not take effect on secondary vlan [dec] where IP source binding is configured. [chars].

説明 このメッセージは、プライベート VLAN が設定されている場合、プライマリ VLAN 上の IP ソース ガードフィルタが、すべてのセカンダリ VLAN に自動的に伝播されることを示します。[dec] はセカンダリ VLAN です。[chars] は警告です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ DHCP_SNOOPING-4-NTP_NOT_RUNNING: NTP is not running; reloaded binding lease expiration times are incorrect.

説明 このメッセージは、DHCP スヌーピング データベース エージェントが DHCP スヌーピング バインディングをロードするときに、Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) が実行されていなかった場合、バインディングに対して算出されたリース時間が正しくないことを示します。

推奨処置 スイッチの NTP を設定して、システム クロックに正確な日時を提供します。次に DHCP スヌーピングをディセーブルにしてから再度イネーブルにして、DHCP スヌーピング バインディング データベースを消去します。

エラーメッセージ DHCP_SNOOPING-4-QUEUE_FULL: Fail to enqueue DHCP packet into processing queue: [chars], the queue is most likely full and the packet will be dropped.

説明 このメッセージは、DHCP スヌーピングの処理能力を上回る速度で CPU が DHCP を受信していることを示します。Denial of Service (DoS; サービス拒絶) 攻撃を防ぐために、これらの DHCP パケットは廃棄されます。[chars] は警告です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ DHCP_SNOOPING-4-STANDBY_AGENT_OPERATION_FAILED: DHCP snooping binding transfer failed on the Standby Supervisor. [chars].

説明 このメッセージは、スタンバイ状態のスーパーバイザ エンジンで、DHCP スヌーピング バインディング転送処理エラーが発生したことを示します。[chars] はスタンバイ状態のスーパーバイザ エンジンです。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ DHCP_SNOOPING-5-DHCP_SNOOPING_UNTRUSTED_PORT: DHCP_SNOOPING drop message on untrusted port, message type: [chars], MAC sa: [enet]

説明 このメッセージは、信頼できないポートで DHCP メッセージが廃棄されたことを示します。ホストが、DHCP サーバとして機能している可能性があります。[chars] はメッセージ タイプ (DHCP OFFER、DHCP ACK、DHCP NAK、または DHCP LEASE QUERY) です。[enet] は、送信ホストの MAC アドレスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-AGENT_OPERATION_SUCCEEDED: DHCP snooping database [chars] succeeded.

説明 このメッセージは、DHCP バインディング転送プロセスが成功したことを示します。[chars] は DHCP スヌーピング データベースです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-BINDING_COLLISION: Binding collision. [dec] bindings ignored.

説明 このメッセージは、スイッチがデータベース ファイルを読み込むときに、表示された数のバインディングが無視されたことを示します。データベース ファイルからのバインディングには、設定済みの DHCP スヌーピング バインディングですでに使用されている MAC アドレスと VLAN 情報が含まれています。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-INTERFACE_NOT_VALID: Interface not valid. [dec] bindings ignored.

説明 このメッセージは、スイッチがデータベース ファイルを読み込むときに、表示された数のバインディングが無視されたことを示します。これは、バインディング データベースのインターフェイスが利用できないか、インターフェイスがルーテッド ポートであるか、またはインターフェイスが DHCP スヌーピングの信頼レイヤ 2 インターフェイスであることが原因です。[dec] はスイッチに無視されたバインディングの数です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-LEASE_EXPIRED: Lease Expired. [dec] bindings ignored.

説明 このメッセージは、スイッチがデータベース ファイルを読み込むときに、表示された数のバインディングが無視されたことを示します。DHCP のリース時間が期限切れになったことが原因です。[dec] はバインディングの数です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-PARSE_FAILURE: Parsing failed for [dec] bindings.

説明 このメッセージは、スイッチがデータベース ファイルを読み込むときに、表示された数のバインディングが無視されたことを示します。データベースの読み込みに失敗したことが原因です。[dec] はバインディングの数です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING-6-VLAN_NOT_SUPPORTED: Vlan not supported. [dec] bindings ignored.

説明 このメッセージは、スイッチがデータベース ファイルを読み込むときに、表示された数のバインディングが無視されたことを示します。スイッチの VLAN 設定が解除されたことが原因です。[dec] はスイッチに無視されたバインディングの数です。

推奨処置 対処不要です。

DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ

ここでは、Catalyst 3550 固有の DHCP スヌーピング メッセージについて説明します。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING_CAT3550-3-MVR_INSTALL: Cannot install [chars] ACLs for DHCP Snooping, probably no TCAM space.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、DHCP スヌーピングをイネーブルに設定する場合は、Ternary CAM (TCAM) にアクセス コントロール リスト (ACL) を置く必要があることを示します。TCAM のスペースが不足していると、DHCP スヌーピングを正しく実行できません。

推奨処置 入力ポート ACL または出力ポート ACL (PACL) および VLAN (仮想 LAN) マップの数を減らして、TCAM の空きスペースを増やします。

エラー メッセージ DHCP_SNOOPING_CAT3550-3-UNEXPECTED_EVENT: Process received unknown event (major [hex], minor [hex]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、プロセスが処理不能なイベントを受信したことを示します。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

DOT1Q_TUNNELING メッセージ

ここでは、IEEE 802.1Q トンネリング メッセージについて説明します。

エラー メッセージ DOT1Q_TUNNELING-4-MTU_WARNING: System MTU of [dec] might be insufficient for 802.1Q tunnelling. 802.1Q tunnelling requires system MTU size of [dec] to handle maximum size ethernet frames.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチの MTU の設定値が、IEEE 802.1Q トンネリング用としては不十分な可能性があることを示します。MTU には、追加される IEEE 802.1Q タグ用に 4 バイト分のオーバーヘッドを含める必要があります。最初の [dec] はシステム MTU の現在の設定値（バイト）、2 番目の [dec] は必要な MTU サイズ（バイト）です。

推奨処置 `system mtu` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して、追加される IEEE 802.1Q タグに対応するようにシステム MTU を調整したあと、`reload` イネーブル EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードします。

DOT1X メッセージ

ここでは、IEEE 802.1x メッセージについて説明します。

エラー メッセージ DOT1X-4-MEM_UNAVAIL: Memory was not available to perform the 802.1X action. AuditSessionID [chars]

説明 システム メモリ不足が原因で、IEEE 802.1x 認証を実行できませんでした。[chars] はセッション ID です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ DOT1X-4-PROC_START_ERR: Dot1x unable to start.

説明 このメッセージは、システムが IEEE 802.1x プロセスを開始しなかったことを示します。

推奨処置 `dot1x system-auth-control` グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力して、IEEE 802.1x プロセスを再起動します。このメッセージが繰り返し表示される場合は、デバイスをリロードしてください。

エラー メッセージ DOT1X-4-UNKN_ERR: An unknown operational error occurred.

説明 このメッセージは、内部システム エラーにより、IEEE 802.1x プロセスが動作しないことを示します。

推奨処置 デバイスをリロードします。

エラー メッセージ DOT1X-5-FAIL: Authentication failed for client ([chars]) on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 認証に失敗しました。最初の [chars] はクライアント ID、2 番めの [chars] はインターフェイス、3 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ DOT1X-5-INVALID_INPUT: Dot1x Interface parameter is Invalid on interface [chars].

説明 このメッセージは、IEEE 802.1x インターフェイス パラメータが指定範囲外であるか、無効であることを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 CLI (コマンドライン インターフェイス) のヘルプを参照して、正しい IEEE 802.1x パラメータを設定します。

エラー メッセージ DOT1X-5-SECURITY_VIOLATION: Security violation on interface [chars], New MAC address [enet] is seen.

説明 このメッセージは、指定したインターフェイスのホストが、ネットワークにアクセスしようとしたか、インターフェイスに接続されているホストの数に対応できないホスト モードで認証しようとしたことを示します。これはセキュリティ違反であり、ポートはエラー ディセーブル ステートになります。

推奨処置 接続されているホストの数に対応できるように、インターフェイスを設定してください。**shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力し、さらに **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力してポートを再起動します。

エラー メッセージ DOT1X-5-SUCCESS: Authentication successful for client ([chars]) on Interface [chars] AuditSessionID [chars]

説明 認証に成功しました。最初の [chars] はクライアント ID、2 番めの [chars] はインターフェイス、3 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 対処不要です。

DOT1X_SWITCH メッセージ

ここでは、IEEE 802.1x メッセージについて説明します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_ADDING_ADDRESS: Unable to add address [enet] on [chars] AuditSessionID [chars]

説明 ハードウェア メモリが満杯、またはアドレスが別のポート上のセキュア アドレスであるために、クライアント MAC アドレスを MAC アドレス テーブルに追加できませんでした。このメッセージは、IEEE 802.1x がイネーブルになっている場合に表示される可能性があります。[enet] はクライアントの MAC アドレスです。最初の [chars] はインターフェイスで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 ハードウェア メモリが満杯の場合、動的 MAC アドレスの一部を削除してください。クライアント アドレスが別のポート上にある場合は、そのポートからアドレスを削除します。



(注) このメッセージは、IP ベース イメージを実行しているスイッチに適用されます。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_INVALID_PRIMARY_VLAN: Attempt to assign primary VLAN [dec] to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 IEEE 802.1x ポートにプライマリ VLAN (仮想 LAN) を割り当てようとした。これは許可されていません。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 別の VLAN を使用します。



(注) このメッセージは、IP ベース イメージを実行しているスイッチに適用されます。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_INVALID_SEC_VLAN: Attempt to assign invalid secondary VLAN [dec] to PVLAN host 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 プライベート VLAN ホスト IEEE 802.1x ポートに非セカンダリ VLAN を割り当てようとした。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 ポートのモードを変更して PVLAN ホスト ポートを解除するか、有効なセカンダリ VLAN を使用します。



(注) このメッセージは、IP ベース イメージを実行しているスイッチに適用されます。

エラーメッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_PRIMARY_VLAN_NOT_FOUND: Attempt to assign VLAN [dec], whose primary VLAN does not exist or is shutdown, to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 プライマリ VLAN が存在しない、またはシャットダウンしているプライベート VLAN を割り当てようとした。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 プライマリ VLAN が存在しており、シャットダウンしていないことを確認します。プライベート VLAN がプライマリ VLAN に関連付けられていることを確認します。



(注)

このメッセージは、IP ベース イメージを実行しているスイッチに適用されます。

エラーメッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_RADIUS_VLAN_NOT_FOUND: Attempt to assign non-existent VLAN [chars] to dot1x port [chars]

説明 このメッセージは、RADIUS が、特定の名前または ID を持つ VLAN をポートのサブリカントに割り当てようとしたが、スイッチ名または ID を検出できなかったことを示します。[dec] は VLAN です。[chars] はポートです。

推奨処置 スwitch の VLAN に指定した名前または ID が存在することを確認します。

エラーメッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_SEC_VLAN_INVALID: Attempt to assign secondary VLAN [dec] to non-PVLAN host 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 プライベート VLAN ホストポート以外のポートにセカンダリ VLAN を割り当てようとした。これは許可されていません。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 ポートのモードを変更してプライベート VLAN ホストポートに設定するか、セカンダリ VLAN に設定されていない VLAN を使用します。

エラーメッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_SPAN_DST_PORT: Attempt to assign VLAN [dec] to 802.1x port [chars], which is configured as a SPAN destination AuditSessionID [chars]

説明 Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ) 宛先ポートとして設定されている IEEE 802.1x ポートに VLAN を割り当てようとした。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番目の [chars] はセッション ID です。

推奨処置 SPAN 設定を変更して SPAN 宛先ポートを解除するか、VLAN が割り当てられないように設定を変更します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_EQ_MDA_INACTIVE: Multi-Domain Authentication cannot activate because Data and Voice VLANs are the same on port AuditSessionID [chars]

説明 ポートに設定されたデータ VLAN と音声 VLAN が同一の場合、Multi-Domain Authentication (MDA; マルチドメイン認証) ホスト モードが開始できません。[chars] はポートセッション ID です。

推奨処置 インターフェイスの音声 VLAN とアクセス VLAN が同じにならないように、どちらか一方を変更します。次に、MDA を開始します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_EQ_VVLAN: Data VLAN [dec] on port [chars] cannot be equivalent to the Voice VLAN AuditSessionID [chars]

説明 IEEE 802.1x ポートにデータ VLAN を割り当てようとしてしました。これは音声 VLAN と同じです。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 インターフェイスの音声 VLAN と IEEE 802.1x 割り当て VLAN が同じにならないように、どちらか一方を変更します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_INTERNAL: Attempt to assign internal VLAN [dec] to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 IEEE 802.1x ポートに無効な VLAN を割り当てようとしてしました。指定した VLAN は内部で使用されており、このポートに割り当てることはできません。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

説明 別の VLAN を割り当てます。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_INVALID: Attempt to assign invalid VLAN [dec] to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 IEEE 802.1x ポートに無効な VLAN を割り当てようとしてしました。指定された VLAN が範囲外です。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 有効な VLAN を使用するよう、設定を変更します。

エラー メッセージ DOT1X_SWITCH-5-ERR_VLAN_NOT_FOUND: Attempt to assign non-existent or shutdown VLAN [chars] to 802.1x port [chars] AuditSessionID [chars]

説明 IEEE 802.1x ポートに VLAN を割り当てようとしてしましたが、VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランキング プロトコル) データベースで検出できません。[dec] は VLAN です。最初の [chars] はポートで、2 番めの [chars] はセッション ID です。

推奨処置 VLAN が存在し、シャットダウンしていないことを確認します。または別の VLAN を使用します。

DTP メッセージ

ここでは、Dynamic Trunking Protocol (DTP) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ DTP-4-MEM_UNAVAIL: Memory was not available to perform the trunk negotiation action.

説明 このメッセージは、メモリ不足が原因で、システムがトランクのネゴシエーションを実行できなかったことを示します。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ DTP-4-TMREERR: An internal timer error occurred when trunking on interface [chars].

説明 このメッセージは、トランキング プロトコルで使用されるタイマーが、なんらかの理由で期限切れになったことを示します。[chars] はトランクが設定されたインターフェイスです。

推奨処置 この問題は内部で解消され、長期的な問題にはなりません。ただし、トランキングで他にも問題が発生した場合は、**reload** イネーブル EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードしてください。

エラー メッセージ DTP-4-UNKN_ERR: An unknown operational error occurred.

説明 このメッセージは、内部動作で予想外のエラーが発生したため、システムがトランクのネゴシエーションを実行できなかったことを示します。

推奨処置 **reload** イネーブル EXEC コマンドを使用して、スイッチをリロードします。

エラー メッセージ DTP-5-DOMAINMISMATCH: Unable to perform trunk negotiation on port [chars] because of VTP domain mismatch.

説明 このメッセージは、トランクのネゴシエーションを行う 2 つのポートが、異なる VTP ドメインに属していることを示します。トランキングは、ポートが同じ VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランキング プロトコル) ドメインに属しているときにだけ設定できます。[chars] はポート番号です。

推奨処置 トランクのネゴシエーションを行うポートが同じ VTP ドメインに属していることを確認します。

エラー メッセージ DTP-5-ILGLCFG: Illegal config (on, isl--on,dot1q) on [chars].

説明 このメッセージは、トランク リンクの片側で ISL (スイッチ間リンク) カプセル化が *on* に、反対側では IEEE 802.1Q カプセル化が *on* に設定されていることを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 この設定は無効です。2 つのスイッチ間にトランクは設定されません。トランクの両側が一致するように、カプセル化タイプを変更する必要があります。

エラー メッセージ DTP-5-NONTRUNKPORTON: Port [chars] has become non-trunk.

説明 このメッセージは、インターフェイスがトランク ポートからアクセス ポートに変化したことを示します。[chars] は変更されたインターフェイスです。

推奨処置 これは、単なる情報メッセージです。

エラー メッセージ DTP-5-TRUNKPORTCHG: Port [chars] has changed from [chars] trunk to [chars] trunk.

説明 このメッセージは、トランク ポートのカプセル化タイプが変化したことを示します。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] は元のカプセル化タイプです。3 番めの [chars] は新しいカプセル化タイプです。

推奨処置 これは、単なる情報メッセージです。

エラー メッセージ DTP-5-TRUNKPORTON: Port [chars] has become [chars] trunk.

説明 このメッセージは、インターフェイスがアクセス ポートからトランク ポートに変化したことを示します。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はカプセル化タイプです。

推奨処置 これは、単なる情報メッセージです。

DWL メッセージ

ここでは、Down-When-Looped (DWL) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ DWL-3-LOOP_BACK_DETECTED: Loop-back detected on [chars].

説明 このメッセージは、指定されたポートがループバックを持つことを示します。原因は、ポートに接続されたトークンリング タイプ 1 のケーブルか、またはネットワークの設定ミスが考えられます。[chars] はポートです。

推奨処置 ループバック状態を引き起こしている問題を解決します。次に、**shutdown** および **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力します。

EC メッセージ

ここでは、EtherChannel、Link Aggregation Control Protocol (LACP)、および Port Aggregation Protocol (PAgP) のメッセージについて説明します。

エラー メッセージ EC-4-NOMEM: Not enough memory available for [chars].

説明 このメッセージは、LACP または PAgP EtherChannel が、必須データ構造を初期化するために必要なメモリを確保できなかったことを示します。[chars] はデータ構造名です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ EC-5-BUNDLE: Interface [chars] joined port-channel [chars].

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスが指定の EtherChannel に加入したことを示します。最初の [chars] は物理インターフェイスです。次の [chars] は EtherChannel インターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ EC-5-CANNOT_ALLOCATE_AGGREGATOR: Aggregator limit reached, cannot allocate aggregator for group [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、グループに新しいアグリゲータを割り当てられなかったことを示します。[dec] は影響を受けるグループです。

推奨処置 グループに含まれるポートの属性をそのアグリゲータと一致するように変更し、アグリゲータを割り当てられるようにします。

エラー メッセージ EC-5-CANNOT_BUNDLE1: Port-channel [chars] is down, port [chars] will remain stand-alone.

説明 このメッセージは、アグリゲート ポートがダウンしていることを示します。アグリゲート ポートがアップするまで、ポートはスタンドアロンになります。最初の [chars] は EtherChannel です。次の [chars] はポート番号です。

推奨処置 バンドル内の他のポートが同じ設定になっているかどうかを確認してください。

エラー メッセージ EC-5-CANNOT_BUNDLE2: [chars] is not compatible with [chars] and will be suspended ([chars]).

説明 このメッセージは、インターフェイスに EtherChannel の他のポートと異なるインターフェイス属性が設定されていることを示します。バンドル (EtherChannel) に追加するインターフェイスの場合は、EtherChannel の属性と一致するようにインターフェイスの属性を変更します。最初の [chars] はバンドルするインターフェイスです。2 番目の [chars] はバンドルにすでに組み込まれている物理インターフェイス (スイッチ ポートまたはルーテッド ポート) です。3 番目の [chars] は矛盾している理由です。

推奨処置 EtherChannel の属性に合わせてインターフェイスの属性を変更します。

エラー メッセージ EC-5-CANNOT_BUNDLE_LACP: [chars] is not compatible with aggregators in channel [dec] and cannot attach to them ([chars]).

説明 このメッセージは、ポート チャネルまたはポート チャネル内のポートと異なるポート属性がポートに設定されていることを示します。[chars] は矛盾するポートで、[dec] はチャネル グループ番号です。最後の [chars] は理由です。

推奨処置 ポートをバンドルに追加する場合は、ポートと一致するようにポート属性を変更します。

エラー メッセージ EC-5-COMPATIBLE: [chars] is compatible with port-channel members.

説明 このメッセージは、ポート属性がポート チャネルまたはポート チャネル内のポートの属性と異なるために、ポートが動作しなかったことを示します。ポートの属性とポート チャネルの属性が、現在は一致していることが検出されました。[chars] は影響を受けたポートです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ EC-5-DONTBNL: [chars] suspended: incompatible remote port with [chars]

説明 このメッセージは、リモート ポートの設定がバンドル内の他のリモート ポートの設定と異なることを示します。ポートをバンドルに追加できるのは、ローカル ポートの設定とリモート ポートの設定が、バンドル内の他のポートと同じ場合に限られます。最初の [chars] は中断されているローカル インターフェイス名、次の [chars] はすでにバンドルされているローカル インターフェイス名です。

推奨処置 リモート ポートの設定が、バンドル内のすべてのポートと一致しているかどうかを確認してください。

エラー メッセージ EC-5-ERRPROT: Channel protocol mismatch for interface [chars] in group [dec]: the interface can not be added to the channel group.

説明 このメッセージは、指定のモードでは、インターフェイスをチャネル グループに追加できないことを示します。[chars] はインターフェイスです。[dec] はチャネル グループです。

推奨処置 チャネル グループまたはインターフェイスのモードを変更します。

エラーメッセージ EC-5-ERRPROT2: Command rejected: the interface [chars] is already part of a channel with a different type of protocol enabled.

説明 このメッセージは、別のプロトコルがチャンネルにすでに組み込まれているため、指定のプロトコル用としてはこのインターフェイスを選択できないことを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 チャンネル グループからインターフェイスを削除します。

エラーメッセージ EC-5-ERRPROT3: Command rejected: the interface [chars] is already part of a channel.

説明 このメッセージは、チャンネル グループにすでに組み込まれているので、指定のプロトコルでインターフェイスの選択を解除できないことを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 チャンネル グループからインターフェイスを削除します。

エラーメッセージ EC-5-L3DONTBNDL1: [chars] suspended: PAgP not enabled on the remote port.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、レイヤ 3 インターフェイスで PAgP がイネーブルになっていますが、相手ポートが PAgP 対応ではないことを示します。このモードでは、ポートはサスペンド状態になります。[chars] はレイヤ 3 インターフェイスです。

推奨処置 **channel-group** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、リモート側で PAgP をイネーブルにします。

エラーメッセージ EC-5-L3DONTBNDL2: [chars] suspended: LACP currently not enabled on the remote port.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、レイヤ 3 インターフェイスで LACP がイネーブルになっていますが、相手ポートではイネーブルになっていないことを示します。このモードでは、ポートはサスペンド状態になります。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 リモート側で LACP をイネーブルにします。

エラーメッセージ EC-5-L3DONTBNDL3: [chars] suspended: LACP not enabled on the remote port.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、レイヤ 3 インターフェイスで LACP がイネーブルになっていますが、リモートポートでは LACP がイネーブルになっていないことを示します。このモードでは、ローカルポートはサスペンドステートになります。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 リモートポートで LACP をイネーブルにします。

エラーメッセージ EC-5-L3STAYDOWN: [chars] will remain down as its port-channel [chars] is admin-down.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、レイヤ 3 インターフェイスおよびアグリゲート インターフェイス上で、アグリゲート インターフェイスの管理ステートにより、レイヤ 3 インターフェイスの管理ステータスが上書きされることを示します。アグリゲート インターフェイスが管理上のダウンである場合、そのアグリゲート インターフェイス上のすべてのインターフェイスが強制的にダウンになります。[chars] はレイヤ 3 インターフェイスです。

推奨処置 アグリゲート インターフェイス上で **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力します。

エラーメッセージ EC-5-NOLACP: Invalid EC mode, LACP not enabled.

説明 このメッセージは、ソフトウェア イメージに LACP が組み込まれていないので、EtherChannel モードを設定できないことを示します。

推奨処置 LACP が組み込まれたソフトウェア イメージをインストールし、EC モードを *on* に設定します。

エラーメッセージ EC-5-NOPAGP: Invalid EC mode, PAgP not enabled.

説明 このメッセージは、Cisco IOS イメージに PAgP が組み込まれていないため、EtherChannel モードを **desirable** または **auto** に設定できないことを示します。

推奨処置 PAgP が組み込まれたイメージを取得するか、または **channel-group channel-group-number mode on** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、モードを *on* に設定します。

エラーメッセージ EC-5-PORTDOWN: Shutting down [chars] as its port-channel is admin-down.

説明 このメッセージは、ポートの管理ステートが、対応するアグリゲートポートの管理ステートによって制御されていることを示します。アグリゲートポートの管理ステートがダウンの場合、ポートの管理ステートも強制的にダウンになります。[chars] は物理インターフェイスです。

推奨処置 アグリゲートポートに **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力して、アグリゲートポートをアクティブにします。

エラー メッセージ EC-5-STAYDOWN: [chars] will remain down as its port-channel [chars] is admin-down.

説明 このメッセージは、アグリゲート ポートの管理ステートによって、影響を受けるポートの管理ステートが上書きされることを示します。アグリゲート ポートが管理上のダウンになると、アグリゲート ポートの全ポートが強制的に管理上のダウンになります。最初の [chars] は物理インターフェイスです。次の [chars] は EtherChannel です。

推奨処置 アグリゲート ポートに **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力して、アグリゲート ポートをアクティブにします。

エラー メッセージ EC-5-STAYDOWN: no-shut not allowed on [chars]. Module [dec] not online.

説明 このメッセージは、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して EtherChannel が設定されたインターフェイスをイネーブルにできないことを示します。これは、インターフェイスが EtherChannel グループのメンバーであり、EtherChannel グループが管理上のシャットダウンになっているためです。インターフェイスに EtherChannel が設定されていますが、そのポート チャンネルに関する情報はまだありません。[chars] はインターフェイスです。[dec] はモジュールです。

推奨処置 対処不要です。モジュールがオンラインになったあと、EtherChannel のポート チャンネル設定を調べます。

エラー メッセージ EC-5-UNBUNDLE: Interface [chars] left the port-channel [chars].

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスが指定の EtherChannel を脱退したことを示します。最初の [chars] は物理インターフェイスで、スイッチ ポートまたはルーテッド ポートの場合があります。次の [chars] は EtherChannel です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ EC-5-UNSUITABLE: [chars] will not join any port-channel, [chars].

説明 このメッセージは、インターフェイスの 1 つを EtherChannel に追加できなかったことを示します。これは、そのインターフェイスが PortFast に関しては VLAN Membership Policy Server (VMPS; VLAN メンバーシップ ポリシー サーバ) として、IEEE 802.1x に関しては音声 VLAN (仮想 LAN) または Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 宛先ポートとして設定されているためです。いずれも EtherChannel に対して不正な設定です。最初の [chars] はインターフェイス名です。次の [chars] は不正な設定の詳細です。

推奨処置 ポートの設定を変更して、不正な設定を削除します。

ENVIRONMENT メッセージ

ここでは、環境メッセージについて説明します。

エラー メッセージ ENVIRONMENT-2-FAN_FAULT: System Fault: FAN FAULT is detected.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ファンの故障が発生したことを示します。

推奨処置 スイッチのファンが故障していないかどうかを調べるか、または **show env** イネーブル EXEC コマンドを使用して、スイッチ内のいずれかのファンが故障していないかどうかを確認します。適宜、スイッチを交換します。

エラー メッセージ ENVIRONMENT-2-OVER_TEMP: System Fault: OVER TEMPERATURE condition is detected.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、過熱状態が検出されたことを示します。

推奨処置 **show env** イネーブル EXEC コマンドを使用して、過熱状態になっていないかどうかを確認します。過熱状態の場合は、スイッチを 32 ~ 113° F (0 ~ 45° C) の環境に置き、ファンの吸気口および排気口をふさがないようにします。



(注) 複数のファンが故障してスイッチが過熱状態になっている場合は、スイッチを交換します。

ETHCNTR メッセージ

ここでは、イーサネット コントローラ メッセージについて説明します。スイッチのソフトウェアがハードウェアをプログラミングするときにエラーが発生し、スイッチの誤作動を引き起こした場合に、これらのメッセージが生成されます。

エラー メッセージ ETHCNTR-2-MOLSENDDTIMEOUT: Molecule send timeout, queue [dec], molecule [hex] [hex].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、1 つまたは複数のハードウェア設定の読み込み、または書き込みに失敗したことを示します。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-FLOWCONTROL_DUPLEX_ERROR: Flowcontrol will not take effect until duplex is set to auto.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、この設定では、スイッチにフロー制御を設定できないことを示します。

推奨処置 デュプレックス モードを auto に設定します。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-HALF_DUX_COLLISION_EXCEED_THRESHOLD: Collision at [chars] exceed threshold. Consider as loop-back.

説明 このメッセージは、半二重ポートのコリジョンがしきい値を超え、ポートがループバックとして扱われることを示します。Power over Ethernet (PoE) をサポートするスイッチでこのメッセージが表示された場合、PoE スイッチ ポートまたは AC 電源から給電できるデバイスが、外部 AC 電源から給電されず、**power inline never** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで設定されたポートに接続されています。[chars] はしきい値を超えたポートです。

推奨処置 PoE をサポートするスイッチでは、デバイスを取り外すか、**power inline auto**、**shutdown**、および **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力してポートを設定します。PoE スイッチ以外では、対処不要です。問題が解消されるまで、ポートはエラー ディセーブル モードになります。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-INTERNAL_ERROR: Internal Error [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ソフトウェアでハードウェアのプログラミングを行おうとしたときに内部エラーが発生したことを示します。その結果、スイッチの動作に矛盾が生じ、予測された機能を提供できなくなる可能性があります。[chars] は失敗した内部動作を表します。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-INVALIDMAP: Invalid map [dec] for address [enet].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ソフトウェアでパケットをブリッジしようとしてエラーが発生したことを示します。[dec] はマップ番号、[enet] はイーサネットアドレスです。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-LOOP_BACK_DETECTED:, Loop-back detected on [chars]. The port is forced to linkdown.

説明 このメッセージは、キープアライブ パケットが送信元ポートにループバックされることを示します。ループバック状態はバラン ケーブルを間違えてポートに接続した場合に発生します。またはネットワークにループが存在する場合も発生します。[chars] はポートです。

推奨処置 ケーブルを確認します。バラン ケーブルが接続されていて、ループバック状態が必要な場合は、対処不要です。それ以外の場合は正しいケーブルを接続し、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力してポートを再起動させます。**no keepalive** インターフェイス コマンドを使用してキープアライブをディセーブルにすることはお勧めしません。このネットワーク ループの原因を特定して訂正する必要があります。キープアライブをディセーブルにするとポートのエラー ディセーブル ステートを回避できますが、問題の原因を解決することにはならず、ネットワークの安定性に影響を与えます。詳細については CSCea46385 を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-MOLSENDINT: Molecule send from interrupt handler



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、割り込みハンドラが、許可されていない方法でハードウェアにアクセスしていることを示します。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ ETHCNTR-3-NETWORK_ERROR: Frame received on queue [dec] contained network error. Source thread [dec], source interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチに格納されているフレームにエラーがあることを示します。最初の [dec] は入力キューです。次の [dec] はソース スレッドです。[chars] は入力インターフェイスです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ ETHCNTR-3-NO_HARDWARE_RESOURCES: Not enough hardware resources. Shutting down [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、設定されている VLAN (仮想 LAN) およびルーテッド ポート (スイッチがルーテッド ポートをサポートしている場合) の数が多すぎることを示します。[chars] は Catalyst 3750 スイッチの Gi1/0/1 などの短いインターフェイス名、または VLAN0002 などの VLAN 名です。

推奨処置 VLAN およびルーテッド ポートの総数が 1023 未満になるように減らします。再起動後も設定および接続を維持する場合は、コンフィギュレーションを保存します。

エラーメッセージ ETHCNTR-3-RA_ALLOC_ERROR:RAM Access [chars] [chars] memory allocation failure.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、RAM への読み書きアクセス要求で、メモリの割り当てに失敗したことを示します。最初の [chars] は失敗した RAM アクセス コマンドです。2 番目の [chars] は割り当てに失敗したのがプロセッサ メモリであるか、それとも I/O メモリであるかを表します。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-RA_REPLY_ERROR: Invalid reply to RAM Access [chars] request ([hex]) from satellite [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、サテライト RAM への読み書き要求に対して、予期せぬ応答があったことを示します。[chars] は要求タイプ (*read* または *write*) です。[hex] はアドレスです。[dec] はサテライト番号です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-SNAP_FORWARDING_UNSUPPORTED: IPv4/IPv6 SNAP forwarding will be disabled because switch [dec] does not support this feature.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタックに追加されるスイッチが、Subnetwork Access Protocol (SNAP; サブネットワーク アクセス プロトコル) カプセル化による IP Version 4 (IPv4) および IP Version 6 (IPv6) フレームの転送をサポートしていないことを示します。これが発生した場合、IPv4 および IPv6 フレームの転送はスイッチ スタックでディセーブルになります。[dec] はスタック メンバー番号です。

推奨処置 スタック メンバーを、SNAP カプセル化による IPv4 および IPv6 フレームの転送をサポートするスイッチに交換してください。

エラー メッセージ ETHCNTR-3-UNEXPECTED_EVENT: Request [hex] encountered event [dec] in state [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、RAM アクセス要求中に予期せぬイベントが発生したことを示します。[hex] は要求 ID です。最初の [dec] はイベント番号、2 番めの [dec] はステート番号です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

EXPRESS_SETUP メッセージ

ここでは、Express Setup 機能のメッセージについて説明します。

エラー メッセージ EXPRESS_SETUP-3-UNABLE_TO_RESET_CONFIG: [chars].

説明 このメッセージは、システムがコンフィギュレーションをリセットできないことを示します。[chars] はリセットできなかった理由を示す文字列です。たとえば、error renaming config file (コンフィギュレーション ファイルの名前変更エラー)、error removing config file (コンフィギュレーション ファイルの削除エラー)、error removing private config file (プライベート コンフィギュレーション ファイルの削除エラー) などがそのような理由に該当します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ EXPRESS_SETUP-6-CONFIG_IS_RESET: [chars].

説明 このメッセージは、コンフィギュレーションがリセットされたことを示します。[chars] は The configuration is reset and the system will now reboot (コンフィギュレーションがリセットされ、システムは現在再起動中) のように、リセット イベントを説明する文字列です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ EXPRESS_SETUP-6-MODE_ENTERED.

説明 このメッセージは、Express Setup モードがアクティブであることを示します。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ EXPRESS_SETUP-6-MODE_EXITED.

説明 このメッセージは、Express Setup モードがアクティブでなくなったことを示します。

推奨処置 対処不要です。

FM メッセージ

ここでは、機能マネージャ (FM) メッセージについて説明します。機能マネージャ ソフトウェア モジュールは、アクセス コントロール リスト (ACL) を管理します。FM メッセージは、スイッチのメモリ不足に起因しています。メモリの種類としては、TCAM などのハードウェア メモリと、CPU メモリに対するラベル スペースが含まれます。

エラー メッセージ FM-1-INIT: Feature Manager subsystem initialization failure.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、メモリ不足のために、機能マネージャのサブシステムが初期化しなかったことを示します。ハードウェアが故障しているか、またはインストールされた Cisco IOS イメージが不正です。

推奨処置 故障しているハードウェアを交換するか、またはプラットフォーム用の適切な Cisco IOS イメージを入手します。

エラー メッセージ FM-2-NOMAP: Cannot create Feature Manager data structures for VLAN Map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャが、ハードウェアに読み込める形式で VLAN (仮想 LAN) マップを記述するのに必要なデータ構造を割り当てられなかったことを示します。このエラーは、メモリの空き容量の不足が原因と考えられます。[chars] は VLAN マップ名です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ FM-2-NOSB: Cannot create subblock for interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャが、正常な動作に必要なインターフェイス単位の情報を保存できなかったことを示します。インターフェイス単位の一部の機能 (アクセス グループ、VLAN マップなど) が、正しく設定されません。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 メモリ所要量の少ない、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。

エラー メッセージ FM-2-NOVLB: Cannot create memory block for VLAN [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャが、正常な動作に必要な VLAN 単位の情報を保存できなかったことを示します。インターフェイス単位の一部の機能（アクセス グループ、VLAN マップなど）が、正しく設定されません。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 メモリ所要量の少ない、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。

エラー メッセージ FM-2-NOVMR: Cannot create VMR data structures for access list [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャが、ハードウェアに読み込める形式で ACL を記述するのに必要なデータ構造を割り当てられなかったことを示します。このエラーは、CPU DRAM の空き容量の不足が原因と考えられます。[chars] はアクセス リスト名です。

推奨処置 メモリ所要量の少ない、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。

エラー メッセージ FM-3-AUGMENTFAIL: Augmenting of access-map [chars] on [chars] label [dec] failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、システムが、必要な要素と設定済みアクセス マップを内部で結合しようとして、CPU メモリを使い果たしたことを示します。最初の [chars] はアクセス マップ名です。次の [chars] はマップを適用した方向 (*input* または *output*) です。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ FM-3-CONFLICT: [chars] [chars] conflicts with [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、入力ルータ アクセス リスト、VLAN マップ、または IP マルチキャスト境界が適用されているときには、Port Access List (PACL) は適用できない（また、その逆もできない）ことを示します。[chars] は矛盾する機能の名前です。

推奨処置 矛盾する機能を削除し、設定をもう一度適用します。

エラー メッセージ FM-3-GOTLABEL: Got label for [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャが、インターフェイス用のハードウェア ラベルを割り当てられることを示します。インターフェイスにはラベルが必要だったにもかかわらず、これまで使用できるラベルがありませんでした。[chars] はラベルです。

推奨処置 対処不要です（このメッセージは FM-3-NOLABEL メッセージと対になっており、以前のエラー条件が自動的に訂正されたことを意味します）。

エラー メッセージ FM-3-GOTVLABEL: Got label for VLAN [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャが、VLAN 用のハードウェア ラベルを割り当てられることを示します。VLAN にはラベルが必要だったにもかかわらず、これまで使用できるラベルがありませんでした。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 対処不要です（このメッセージは FM-3-NOLABELVLVL メッセージと対になっており、以前のエラー条件が自動的に訂正されたことを意味します）。

エラー メッセージ FM-3-ILLEGALCOPY: Illegal copy of [chars] access group [chars] from [chars] label [dec] to [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。最初の [chars] は *ip* または *mac* のいずれか、2 番めの [chars] はアクセスリスト名、3 番めの [chars] は *port* または *vlan* のいずれかです。2 つの [dec] 値は、ラベル番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-INITLABEL: Special initialization of label [dec] failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、アクセスリストハードウェアの初期化に失敗したことを示します。一部の VLAN またはルーテッドポート上で、ルーティングプロトコルパケットを他の種類のパケットより優先させる処理が行われない可能性があります。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタプリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ FM-3-INSERTFAIL: Insert of access-map [chars] [dec] into [chars] label [dec] failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、システムがアクセスマップのセクションを結合しようとして、CPU メモリを使い果たしたことを示します。最初の [chars] はマップ名です。次の [chars] はマップを適用した方向です。最初の [dec] はエントリ番号です。次の [dec] はラベル番号です。

推奨処置 他のシステムアクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。たとえば、現在使用していない定義済みの ACL を削除します。アクセスコントロールエントリ (ACE) の少ない単純な ACL を使用します。使用する VLAN を減らし、VLAN データベースから不要な VLAN を削除します。

エラーメッセージ FM-3-INTTABLE: Not in truth table: VLMAP [dec] RACL [dec] Rtprot [dec] Redir [dec] Mcb [dec] Feat [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、設定済みの入力機能をマージする際に、回復不可能なソフトウェアエラーが発生したことを示します。最初の 5 つの [dec] 値は、VLAN マップ、ルータ ACL、ルーティングプロトコルセレクタ、IP リダイレクト設定、およびレイヤ 3 インターフェイスに設定されたマルチキャスト境界の結果に関する内部コード番号です。6 番目の [dec] 値は、問題が検出されたときに検証中だった機能です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタプリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-LABELERROR: Incorrect label to [chars] vlan label attribute copy callback srclabel [dec], dstlabel [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャのコピー コールバック属性が、不正な送信元または宛先ラベルを使用してコールされたことを示します。[chars] は方向 (*input* または *output*)、最初の [dec] は送信元のラベル値、2 番めの [dec] は宛先のラベル値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-MAXRECURSION: Too many ([dec]) levels of recursion while merging [chars] (code [dec]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、プラットフォーム固有の ACL マージ コードをサポートするには、コンフィギュレーションが複雑すぎることを示します。最も考えられる原因は、1 つの VLAN マップまたはポリシー マップに含まれる、個別のアクセス リストの数が多すぎることです。最初の [dec] は循環レベル数です。[chars] は、VLAN map、Global Input、Global Output、または QoS Map など、問題が発生したときのマージ ステージを示します。2 番めの [dec] は問題が発生したときのマージ ステージの内部コード番号です。

推奨処置 それぞれの VLAN マップまたはポリシー マップ内の IP または MAC アクセス リスト数 (個別にカウント) を減らし、このログ メッセージで報告されたレベル数よりも少なくなるようにします。

エラー メッセージ FM-3-MERGEFAIL: [chars] ACL merge error [dec] ([chars]) on [chars] label [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャが、設定済みの機能をハードウェアに読み込める形式にマージできなかったことを示します。この機能によって影響されるはずの packets は、CPU に送られて処理されます。オーバーフローした ACL に対処するために CPU 処理が必要になるので、パフォーマンスが大幅に低下します。最初の [chars] は ACL タイプ エラー (*ip* または *mac*) です。最初の [dec] はエラー コードです。2 番めの [chars] は前のエラー コードに対応するメッセージ テキストです。2 番めの [dec] はラベル番号です。3 番めの [chars] は *input* または *output* のいずれかです。

推奨処置 ACL を再構成して、すべてのエントリをハードウェアで処理できるようにします。ACL を簡素にし、数を減らします。

エラー メッセージ FM-3-NOLABEL: Cannot allocate [chars] label for interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャが、このインターフェイス上の機能にラベルを割り当てられなかったことを示します。したがって、ハードウェアをプログラミングして機能を実装することができないので、このインターフェイスへのパケットはソフトウェアでフィルタリングされます。ラベルは一方につき 256 が限度です。最初の [chars] は方向 (*input* または *output*)、2 番目の [chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 `sdm prefer` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用し、関連する TCAM のセクションに割り当てるスペースを増やし、スイッチを再起動します。または、もっと簡素なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数のインターフェイスで同じ ACL を使用します。

エラー メッセージ FM-3-NOLABELVL: Cannot allocate [chars] label for VLAN [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャが、この VLAN 上の機能にラベルを割り当てられなかったことを示します。そのため、機能を実装するためにハードウェアをプログラミングすることができず、この VLAN 上のパケットはソフトウェアでフィルタリングされます。ラベルは一方につき 256 が限度です。[chars] は方向 (*input* または *output*)、[dec] は VLAN 番号です。

推奨処置 `sdm prefer` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用し、関連する TCAM のセクションに割り当てるスペースを増やし、スイッチを再起動します。または、もっと簡素なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数の VLAN に同じ VLAN マップを使用します。

エラー メッセージ FM-3-NOEMPTY: Illegal copy of attribute to non empty [chars] vlan label [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャのコピー コールバック属性が、すでに特定の VLAN またはルーテッド ポートで使用されている宛先ラベルを使用してコールされたことを示します。[chars] は方向 (*input* または *output*)、[dec] はラベル値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-NOTOBJECT: Invalid object (VLAN [dec], IDB [hex]) used in Feature Manager operation.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。無効な組み合わせの VLAN および Interface Description Block (IDB; インターフェイス デスクリプションブロック) 値が、ソフトウェア ルーチンに渡されました。[dec] は VLAN 番号、[hex] は IDB 値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-NULLCPU: Sending traffic on empty [chars] label [dec] to CPU.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。[chars] は方向 (*input* または *output*) です。[dec] はラベル番号です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-OUTTABLE: Not in truth table: RAACL [dec] VLMAP [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、設定された出力機能をマージする際に、回復不可能なソフトウェア エラーが発生したことを示します。2 つの [dec] 値は、特定のレイヤ 3 インターフェイスに設定されたルータ ACL および VLAN マップの結果に関する内部コード番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-QOSTTABLE: Not in truth table: ACL [dec] in map, action [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、Quality of Service (QoS) ポリシー マップをマージする際に、ソフトウェア エラーが発生したことを示します。最初の [dec] は、問題が検出された特定 ACL のポリシー マップの番号 (0 からカウント) です。2 番めの [dec] は、ポリシー マップでその ACL にマッチした場合の結果を表す内部コード番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-RELOADED: Reloading [chars] label [dec] feature in [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャが、このラベルに設定されている機能をハードウェアに追加ロードできるようになったことを示します。以前はスペース不足のため、一部の機能がロードできませんでした。最初の [chars] は方向 (*input* または *output*)、[dec] はラベル番号、2 番めの [chars] は TCAM ID です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ FM-3-TOSCOST: Minimize monetary cost TOS bit unsupported in hardware, ignored.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ハードウェア プラットフォームが Type of Service (ToS; タイプ オブ サービス) および優先順位に基づくフィルタリングをサポートしていないことを示します。Differentiated Services Code Point (DSCP; DiffServ コード ポイント) に基づくフィルタリングはサポートしています。DSCP フィールドに、ToS フィールドからの minimize monetary cost ビットが含まれていません。ハードウェアは ACE とのマッチングを調べるとき、このビットを無視します。その結果、予期せぬフィルタリング処理が行われる可能性があります。

推奨処置 minimize monetary cost ToS に関するテストを行わないように、フィルタを設定します。

エラー メッセージ FM-3-UNKNOWNACTION: Unknown VMR access group action [hex].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-3-UNLOADING: Unloading [chars] label [dec] feature from [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、機能マネージャがコンフィギュレーション全体をハードウェアにロードできなかったため、一部の機能がソフトウェアで適用されることを示します。一部または全部のパケットが、CPU によって転送されます。マルチキャスト パケットは、転送されずに廃棄される可能性があります。最初の [chars] は方向 (*input* または *output*)、[dec] はラベル番号、2 番めの [chars] は TCAM ID です。

推奨処置 `sdm prefer` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用し、関連する TCAM のセクションに割り当てるスペースを増やしたあと、スイッチを再起動します。または、もっと簡単なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数のインターフェイスで同じ ACL を使用します。

エラー メッセージ FM-3-WRONGLABEL: Inconsistent records of label for [chars]: FM has [dec], LM has [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。[chars] はインターフェイス名です。メッセージの残りの部分 (FM has [dec], LM has [dec]) は、機能マネージャにはインターフェイスが最初の [dec] に属しているという記録があり、ラベル マネージャにはインターフェイスが 2 番めの [dec] に属しているという記録があることを意味します。したがって、ソフトウェアは矛盾した状態です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ FM-4-EXCESSESECONDARY: More than [dec] secondary IP addresses configured on interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、インターフェイス上でセカンダリ IP アドレスが設定され、そのインターフェイスで受信されたパケットに対して Internet Control Message Protocol (ICMP; インターネット制御メッセージプロトコル) リダイレクトをイネーブルにした場合、CPU の ICMP リダイレクト機能には、同じインターフェイス上の 2 つの異なるサブネット間で送信されたパケットについて、通常は通知が行われなことを示します。このメッセージが記録されたインターフェイス上で設定されたセカンダリ IP アドレスが多すぎる場合、ICMP リダイレクトが生成される原因になったパケットだけでなく、両方のインターフェイス上の 2 つの異なるサブネット間で送信されたすべてのパケットも、CPU に通知されます。ICMP リダイレクトはエラーでは送信されませんが、通知が増えるため、CPU の使用率が高くなる可能性があります。[dec] はセカンダリ IP アドレスの限度数です。[chars] は指定されたインターフェイスです。

推奨処置 メッセージで指定されたインターフェイス上で **no ip redirects** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、システムの CPU 負荷を減らします。

エラー メッセージ FM-7-TRANSDEF: No augmentation function found for VMR.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーが発生したことを示します。ACL が正しく解釈されませんでした。Value-Mask Result (VMR) が不正です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

FRNTEND_CTRLR メッセージ

ここでは、フロントエンド コントローラ メッセージについて説明します。

エラー メッセージ FRNTEND_CTRLR-1-MGR_TXQ_FULL: The front end controller Tx queue reached watermark level



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、フロントエンド コントローラとスイッチ ソフトウェア間のキューに大量のメッセージがあることを示します。

推奨処置 スイッチをリロードします。これで問題が解決しない場合は、ハードウェアに問題があると考えられます。シスコのテクニカル サポート担当者に問い合わせてください。

エラー メッセージ FRNTEND_CTRLR-2-SUB_INACTIVE: The front end controller [dec] is inactive.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、LED、Power over Ethernet (PoE) 機能、およびファン制御機能を制御するフロントエンドコントローラが、現在フロントエンドコントローラで制御されているポート上で非アクティブであることを示します。ポート上のトラフィックには影響ありません。[dec] はコントローラ番号です。

推奨処置 スイッチをリセットします。スイッチをリセットしても問題が解決されない場合は、スイッチに問題があると考えられるので、シスコのテクニカル サポート担当者に問い合わせてください。

GBIC メッセージ

ここでは、Catalyst 3550 スイッチの Gigabit Interface Converter (GBIC; ギガビット インターフェイス コンバータ) モジュールの識別および有効性チェックに関するメッセージを示します。スイッチに GBIC モジュールを搭載すると、ソフトウェアはモジュールタイプに関する識別情報をモジュールから読み取ります。一部のタイプの GBIC モジュールについては、モジュールの互換性を確認するために、その他の情報を取得します。

エラー メッセージ GBIC_1000BASE-T-6-GBIC_1000BASE-T_DEFAULT_CONFIG: 1000BASE-T GBIC module is detected in [chars]. Speed and duplex will be autonegotiated.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スロットで 1000BASE-T GBIC モジュールが検出され、このモジュールの速度およびデュプレックスが自動的にネゴシエートされることを示します。[chars] はモジュールの搭載先スロットです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ GBIC_1000BASE-T-6-GBIC_1000BASE-T_NO_CONFIG_DUPLEX: Configuration ignored. 1000-BaseT GBIC modules only support autonegotiation on duplex.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、自動ネゴシエーションが使用されなかったことを示します。1000BASE-T GBIC モジュールは、デュプレックスの場合のみ自動ネゴシエーションをサポートしています。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ GBIC_1000BASE-T-6-GBIC_1000BASE-T_NO_CONFIG_NEGOTIATE: Configuration ignored. 1000BASE-T GBIC modules only support autonegotiation.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、自動ネゴシエーションのディセーブル化が使用されなかったことを示します。1000BASE-T GBIC モジュールは自動ネゴシエーションをサポートしています。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ GBIC_1000BASE-T-6-GBIC_1000BASE-T_NO_CONFIG_SPEED: Configuration ignored. 1000-BaseT GBIC modules only support autonegotiation on speed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、自動ネゴシエーションが無視されたことを示します。1000BASE-T GBIC モジュールは、自動ネゴシエーションされた速度のみをサポートしています。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ GBIC-4-CHECK_SUM_FAILED: GBIC EEPROM data check sum failed for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、その正確性を確認するためのベンダー データの読み込みに失敗したことを示します。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 GBIC モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障している可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-4-NOREAD_VNAME: Unable to read vendor name for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、GBIC ベンダー名の読み込みに失敗したことを示します。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 GBIC モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障している可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-4-NOREAD_VSDATA: Unable to read vendor-specific data for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、その信憑性を確認するためのベンダー固有情報の読み込みに失敗したことを示します。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 GBIC モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障している可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-4-NOREAD_VSERNUM: Unable to read serial number for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、GBIC モジュールのシリアル番号の読み込みに失敗したことを示します。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 GBIC モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障している可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-4-UNRECOGNIZED_EXTTYPE: GBIC interface [chars] has unrecognized extended type.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、報告された拡張タイプコードをシステムが認識しなかったことを示します。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 このバージョンのシステムソフトウェアでサポートされる GBIC モジュールのリストを確認します。新しい GBIC モジュールの場合、アップグレードが必要な場合があります。モジュールは認識されなくても、正常に動作する場合がありますが、機能が制限される可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-4-XCVR_INTERR: Internal error occurred in setup for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、表示された GBIC インターフェイスのセットアップ時にリソースを割り当てることができなかったか、またはその他の問題が発生したことを示します。[chars] は GBIC モジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 reload イネーブル EXEC コマンドを使用して、スイッチをリロードします。問題が解消されない場合は、シスコシステムズのテクニカル サポート担当者に問い合わせてください。

エラー メッセージ GBIC-6-SERDES_MODULE_UNKNOWN: Unrecognizable GBIC found in [chars] (module mask [hex]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシステムに提供したデータによって、GBIC モジュールのタイプが正しく識別できなかったことを示します。スイッチはこのモジュールを一般的な GBIC モジュールとして扱います。[chars] は不明のモジュールが検出されたインターフェイス名、[hex] はモジュールが返したモジュールタイプ値です。

推奨処置 GBIC モジュールが正常に動作しない場合は、モジュールを慎重に取り外し、もう一度スロットに取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障しているか、スイッチとの互換性がない可能性があります。

エラー メッセージ GBIC-6-SERDES_SERIAL_INV_DATA: Unrecognizable GBIC found in [chars] (serial data [hex]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシステムに提供したデータによって、GBIC モジュールのタイプが正しく識別できなかったことを示します。スイッチはこのモジュールを一般的な GBIC モジュールとして扱います。[chars] は認識不可能なモジュールが検出されたインターフェイス名、[hex] はモジュールが返したデータ値です。

推奨処置 GBIC モジュールが正常に動作しない場合は、モジュールを慎重に取り外し、もう一度スロットに取り付けます。取り付け直してもエラーが発生する場合は、モジュールが故障しているか、スイッチとの互換性がない可能性があります。

GBIC_SECURITY メッセージ

ここでは、シスコの Gigabit Interface Converter (GBIC) および Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュールのセキュリティ メッセージについて説明します。GBIC および SFP モジュールには、シリアル番号、セキュリティ コード、および Cyclic Redundancy Check (CRC; 巡回冗長検査) を含むシリアル EEPROM が搭載されています。スイッチにモジュールを取り付けると、ソフトウェアが EEPROM を読み取ってセキュリティ コードおよび CRC を再計算します。CRC が無効だった場合、または再計算したセキュリティ コードが EEPROM に保存されているものと一致しなかった場合は、エラー メッセージが生成されます。



(注) Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチは、SFP モジュールをサポートしていますが、GBIC モジュールはサポートしていません。エラー メッセージのテキストに GBIC インターフェイスまたはモジュールとあっても、スイッチからのメッセージであれば、実際は SFP モジュール インターフェイスまたはモジュールを意味します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-DUPLICATE_SN: GBIC interface [dec] has the same serial number as another GBIC interface.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、モジュールのシリアル番号がシステム上の別のインターフェイスのものと同一であることを示します。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 シスコの GBIC モジュールには一意のシリアル番号が割り当てられています。シスコまたはサポート対象のベンダーから入手したモジュールであることを確認します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-EEPROM_CRC_ERR: EEPROM checksum error for GBIC in [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定したポートの GBIC には、無効な EEPROM データがあることを示します。[chars] は GBIC が挿入されているポートです。

推奨処置 ポートから GBIC を取り外します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-EEPROM_READ_ERR: Error in reading GBIC serial ID in [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが EEPROM から GBIC タイプを読み込んでいるときにエラーが発生したことを示します。[chars] は GBIC が挿入されているポートです。

推奨処置 ポートから GBIC を取り外します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-EEPROM_SECURITY_ERR: GBIC in [chars] failed security check.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定したポートの GBIC には、無効な EEPROM データがあることを示します。[chars] は GBIC が挿入されているポートです。

推奨処置 ポートから GBIC を取り外します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-GBIC_INTERR: Internal error occurred in setup for GBIC interface [chars].

説明 このメッセージは、指定された SFP モジュール インターフェイスのセットアップ時にリソースを割り当てることができなかったか、またはその他の問題が発生したことを示します。[chars] は SFP モジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 **reload** イネーブル EXEC コマンドを使用して、スイッチをリロードします。問題が解消されない場合は、**show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-ID_MISMATCH: Identification check failed for GBIC interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、システムでその識別情報を確認できなかったことを示します。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 このバージョンのシステム ソフトウェアでサポートされる GBIC モジュールのリストを確認します。新しいモジュールでは、アップグレードが必要な場合があります。または、シスコあるいはサポート対象のベンダーから入手したモジュールであることを確認します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-UNRECOGNIZED_VENDOR: GBIC interface [chars] manufactured by an unrecognized vendor.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、その製造元がシスコの GBIC ベンダーのリストに含まれていないことを示します。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 このバージョンのシステムソフトウェアでサポートされる GBIC モジュールのリストを確認します。新しいモジュールでは、アップグレードが必要な場合があります。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-4-VN_DATA_CRC_ERROR: GBIC interface [chars] has bad crc.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GBIC モジュールがシスコ製 GBIC モジュールであると識別されましたが、モジュールの EEPROM データに有効な CRC が含まれていないことを示します。[chars] はモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 このバージョンのシステムソフトウェアでサポートされる GBIC モジュールのリストを確認します。新しいモジュールでは、アップグレードが必要な場合があります。認識されないモジュールでも正常に動作する場合がありますが、機能が制限される可能性があります。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-6-SFP_INSERTED: Transceiver SFP [chars] module inserted in [chars]

説明 このメッセージは、Online Insertion and Removal (OIR; 活性挿抜) ファシリティにより、メッセージに表示されたインターフェイスに対して新しく挿入されたトランシーバ モジュールが検出されたことを示します。最初の [chars] はモジュールです。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY-6-SFP_REMOVED: Transceiver SFP [chars] module removed from [chars]

説明 このメッセージは、OIR ファシリティにより、メッセージに表示されたインターフェイスからトランシーバ モジュールが削除されたことが検出されたことを示します。最初の [chars] はモジュールです。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ

ここでは、シスコ製の GBIC モジュールおよび SFP モジュールのセキュリティ メッセージについて説明します。スイッチがモジュールをシスコ製モジュールと認識しても、別の問題が発見されるとこれらのメッセージが生成されます。



(注)

Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチは、SFP モジュールをサポートしていますが、GBIC モジュールはサポートしていません。エラー メッセージのテキストに GBIC インターフェイスまたはモジュールとあっても、スイッチからのメッセージであれば、実際は SFP モジュール インターフェイスまたはモジュールを意味します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY_CRYPT-4-ID_MISMATCH: Identification check failed for GBIC interface [chars].

説明 このメッセージは、SFP モジュールがシスコ製 SFP モジュールであると識別されましたが、システムでその識別情報を確認できなかったことを示します。[chars] はポートです。

推奨処置 スイッチで稼動している Cisco IOS ソフトウェアが SFP モジュールをサポートしていることを確認してください。ソフトウェアのアップグレードが必要になることがあります。または、シスコあるいはサポート対象のベンダーから入手したモジュールであることを確認します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY_CRYPT-4-UNRECOGNIZED_VENDOR: GBIC interface [chars] manufactured by an unrecognized vendor.

説明 このメッセージは、SFP モジュールがシスコ製 SFP モジュールであると識別されましたが、その製造元がシスコの SFP モジュール ベンダーのリストに含まれていないことを示します。[chars] はポートです。

推奨処置 スイッチで稼動している Cisco IOS ソフトウェアが SFP モジュールをサポートしていることを確認してください。ソフトウェアのアップグレードが必要になることがあります。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY_CRYPT-4-VN_DATA_CRC_ERROR: GBIC interface [chars] has bad crc.

説明 このメッセージは、SFP モジュールがシスコ製 SFP モジュールであると識別されましたが、モジュールの EEPROM データに有効な巡回冗長検査 (CRC) が含まれていないことを示します。[chars] はポートです。

推奨処置 スイッチで稼動している Cisco IOS ソフトウェアが SFP モジュールをサポートしていることを確認してください。ソフトウェアのアップグレードが必要になることがあります。認識されない SFP モジュールでも、正常に動作する場合がありますが、機能が制限される可能性があります。

GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ

ここでは、シスコ製の GBIC モジュールおよび SFP モジュールのセキュリティ メッセージについて説明します。ここで説明するメッセージは、モジュールが一意かどうかを識別します。



(注)

Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチは、SPF モジュールをサポートしていますが、GBIC モジュールはサポートしていません。エラー メッセージのテキストに GBIC インターフェイスまたはモジュールとあっても、スイッチからのメッセージであれば、実際は SFP モジュール インターフェイスまたはモジュールを意味します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY_UNIQUE-3-DUPLICATE_GBIC: GBIC interface [dec]/[dec] is a duplicate of GBIC interface [dec]/[dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、SFP モジュールがシスコ製の GBIC または SFP モジュールであると識別されましたが、ベンダー ID とシリアル番号がシステム上の別のインターフェイスのものと同じであることを示します。最初の [dec]/[dec] は、重複する GBIC または SFP モジュールのインターフェイスです。次の [dec]/[dec] は、既存モジュールのインターフェイスです。

推奨処置 シスコの GBIC または SFP モジュールには一意のシリアル番号が割り当てられています。シスコまたはサポート対象のベンダーから入手したモジュールであることを確認します。

エラー メッセージ GBIC_SECURITY_UNIQUE-4-DUPLICATE_SN: GBIC interface [dec]/[dec] has the same serial number as another GBIC interface.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 2970 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、SFP モジュールがシスコ製 SFP モジュールであると識別されましたが、モジュールのシリアル番号がシステム上の別のインターフェイスのものと同じであることを示します。[dec]/[dec] は、重複するモジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 シスコの SFP には一意のシリアル番号が割り当てられています。シスコまたはサポート対象のベンダーから入手したモジュールであることを確認します。

GIGASTACK メッセージ

ここでは、GigaStack GBIC モジュール メッセージについて説明します。

エラー メッセージ GIGASTACK-1-NO_LOOP_DETECT: The link neighbor of link [dec] of GigaStack GBIC in [chars] did not respond to the loop detection request. If loop topology is deployed, make sure all switches in the stack are running the latest software.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GigaStack GBIC モジュール上のリンクから、ループ検出要求への確認応答が得られなかったことを示します。近接スイッチが GigaStack GBIC ループブレーキング アルゴリズムをサポートしていないか、または 2 つの GigaStack GBIC モジュール間のリンクに障害が発生しています。この状況では、GigaStack ループ トポロジが自動的に検出されることはなく、スタック内のスイッチ間の接続が切断される可能性があります。[dec] はリンク番号、[chars] はスロット番号です。

推奨処置 GigaStack GBIC モジュールでループ トポロジを使用する場合、スタック内の全スイッチで最新のソフトウェアが動作していることを確認します。関係する GigaStack GBIC モジュールをチェックし、各モジュールが正常に機能しているかどうかを確認します。

エラー メッセージ GIGASTACK-3-INIT_FAILURE: GigaStack GBIC in [chars] initialization failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GigaStack GBIC モジュールが Power-on Self-Test (POST; 電源投入時セルフテスト) に失敗したことを示します。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 GigaStack GBIC モジュールを取り外し、もう一度 GBIC モジュール スロットに取り付けます。

エラー メッセージ GIGASTACK-6-LOOP_BROKEN: Link loss is detected in the GigaStack loop. Link 2 of the GigaStack GBIC in [chars] is re-enabled.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、GigaStack GBIC モジュールによって形成されたループが、リンク損失によって切断されたことを示します。損失したリンクの代わりに、マスター ループブレーカのリンク 2 が再びイネーブルになります。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ GIGASTACK-6-LOOP_DETECTED: GigaStack GBIC in [chars] is selected as Master Loop Breaker. Link 2 of the GigaStack GBIC is disabled to break the loop.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタック内にループが検出され、この GigaStack GBIC モジュールがマスター ループ ブレーカとして選出されたことを示します。GigaStack GBIC モジュールのリンク 2 がディセーブルになり、ループを切断します。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 対処不要です。

HARDWARE メッセージ

ここでは、ハードウェア メッセージについて説明します。

エラー メッセージ HARDWARE-2-FAN_ERROR: Fan [chars] Failure

説明 このメッセージは、スイッチ ファンが動作していないことを示します。[chars] はファン名です。

推奨処置 ハードウェアが故障したときに発生します。ファンは自動的に復旧することがあります。スイッチのファンが復旧しない場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりにメッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ HARDWARE-2-THERMAL_WARNING: Temperature has reached warning threshold.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチ内部の温度センサーの値が警告しきい値に達したことを示します。温度がクリティカルしきい値に達するまでは、スイッチは正常に動作します。

推奨処置 外部温度が高くなっています。室温を下げてください。

エラー メッセージ HARDWARE-3-ASICNUM_ERROR: Port-ASIC number [dec] is invalid.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、使用されているポート ASIC 番号が無効であることを示します。各ポート ASIC は ID で識別されます。[dec] は ASIC 番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ HARDWARE-3-INDEX_ERROR: Index value [dec] is invalid.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ハードウェア テーブルのインデックスが範囲外であることを示します。[dec] はインデックス値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ HARDWARE-3-INTRNUM_ERROR: Port-ASIC Interrupt number [dec] is invalid.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポート ASIC で使用されている割り込み ID が無効であることを示します。[dec] は割り込み番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ HARDWARE-3-PORTNUM_ERROR: port number [dec] is invalid.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、使用されているポート番号が無効（範囲外）であることを示します。表示されたポート ASIC の各インターフェイスは、インデックス値で識別されます。[dec] はポート番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ `HARDWARE-3-STATS_ERROR: Statistics ID [dec] is invalid.`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、使用されている統計情報 ID が範囲外であることを示します。ポート ASIC がサポートする統計情報は、ID で識別されます。[dec] は統計情報 ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

HLFM メッセージ

ここでは、ローカル フォワーディング マネージャのメッセージについて説明します。

エラー メッセージ `HLFM-3-MACFREE_ERROR: MAC address [enet], vlan [dec] is still referenced; cannot free.`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、MAC アドレスへのすべての参照を解除する前に、その MAC アドレスを解放しようとしたことを示します。[enet] は MAC アドレスです。[dec] は VLAN（仮想 LAN）ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ HLFM-3-MAP_ERROR: IP address [IP_address] not in mac tables, mac-address [enet], vlan [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、IP アドレス テーブルと MAC アドレス テーブルの同期が取れていないことを示します。[IP_address] は IP アドレスです。[enet] は MAC アドレスです。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ HLFM-3-MOD_SD: Failed to modify Station Descriptor with index [dec], vlan [dec], di [dec], error [dec], mad [dec], ref-count [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、フォワーディング マネージャが、現在では使用されていないか、または無効なステーション記述子を変更しようとしたことを示します。最初の [dec] はステーション インデックスです。2 番めの [dec] は VLAN ID です。3 番めの [dec] は宛先インデックスです。4 番めの [dec] はエラー コードです。5 番めの [dec] は MAC アドレス記述子です。6 番めの [dec] はこの MAC アドレス記述子に対する参照の数です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ HLFM-3-SEND_FAIL: Failed to send RPC message, req [dec], [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ローカル リソース エラーが発生したか、メッセージ クラスに対してキュー内の発信メッセージが多すぎることを示します。[dec] は Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 要求番号です。[chars] はオプションのコメントです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

HPSECURE メッセージ

ここでは、HPSECURE メッセージについて説明します。

エラーメッセージ HPSECURE-6-ADDR_REMOVED: Address [enet]:[dec] on port [chars] cannot be added on switch [dec] and has been removed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、リソース エラーが原因で、少なくともスタック内のスイッチの 1 つに MAC アドレスを追加できず、その MAC アドレスがスタック内の全スイッチから削除されたことを示します。[enet] は MAC アドレスです。最初の [dec] は MAC アドレスが割り当てられた VLAN (仮想 LAN) です。[chars] はインターフェイスです。2 番めの [dec] はスタック メンバーの番号です。

推奨処置 対処不要です。

IDBMAN メッセージ

ここでは、インターフェイス記述ブロック マネージャ (IDBMAN) のメッセージについて説明します。

エラーメッセージ IDBMAN-3-AGGPORTMISMATCH: [chars]: [chars]([dec] / [dec]) does not match internal slot/port state [chars]([dec] / [dec]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーにより、ソフトウェアが無効なアグリゲート ポートを使用したことを示します。最初の [chars] はエラーが発生した機能の名前です。2 番めと 3 番めの [chars] はポート チャネル名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号 (スロット/ポート) です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ IDBMAN-3-DELETEDAGGPORT: [chars]([dec] / [dec]) Group [dec] has been deleted, but is being reused.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーにより、削除されたインターフェイスが新しいアグリゲートポートによって再利用されたことを示します。[chars] はポート チャンネル名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号 (スロット/ポート) です。最後の [dec] はチャンネル グループ番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ IDBMAN-3-INVALIDAGGPORTBANDWIDTH: [chars]([dec] / [dec]) has an invalid bandwidth value of [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーにより、アグリゲート ポート用に無効な帯域幅が使用されたことを示します。[chars] はポート チャンネル名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号 (スロット/ポート) です。最後の [dec] は帯域幅です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ IDBMAN-3-INVALIDPORT: [chars]: trying to use invalid port number [dec] (Max [dec]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーにより、ソフトウェアが無効なポート番号を使用したことを示します。[chars] はインターフェイス名です。最初の [dec] は無効なポート番号です。2 番めの [dec] はポート番号に許可された最大値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ IDBMAN-3-INVALIDVLAN: [chars]: trying to use invalid Vlan [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーにより、ソフトウェアが無効な VLAN (仮想 LAN) を使用したことを示します。[chars] はインターフェイス名です。[dec] は無効な VLAN ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ IDBMAN-3-NOTANAGGPOR: [chars] ([dec] / [dec]) is not an aggregate port.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーにより、アグリゲート ポートではないインターフェイスがアグリゲート ポート操作で使用されたことを示します。[chars] はインターフェイス名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号 (スロット/ポート) です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ IDBMAN-3-PORTNOTINAGGPOR: [chars] ([dec] / [dec]) is not present in Aggport [chars] ([dec] / [dec]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーが検出されたことを示します。アグリゲートポートと考えられたポートはアグリゲートポートではありませんでした。最初の [chars] はインターフェイス名です。2番めの [chars] はポートチャンネル名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号 (スロット/ポート) です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ IDBMAN-3-VLANNOTSET: [chars]: Vlan [dec] not set since it already has Vlan [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーにより、インターフェイス VLAN が要求値に設定されなかったことを示します。[chars] はインターフェイス名です。最初の [dec] は新しく設定された VLAN ID です。2番めの [dec] は現在割り当てられている VLAN ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ IDBMAN-4-ACTIVEPORTSINAGGPORT: [chars] ([dec] / [dec]) has [dec] active ports, but is being removed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーにより、アクティブなポートのあるアグリゲートポートが削除されたことを示します。[chars] はポートチャンネル名です。([dec] / [dec]) はスロット番号およびポート番号 (スロット/ポート) です。最後の [dec] は現在アクティブなポートの数です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

IGMP_QUERIER メッセージ

ここでは、Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネットグループ管理プロトコル) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ IGMP_QUERIER-4-NO_IP_ADDR_CFG: The IGMP querier cannot send out General Query messages in VLAN [dec] because there is no IP address configured on the system.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、グローバル レベルまたは VLAN ごとのレベルのいずれかで、IGMP クエリアの IP アドレスが設定されていないことを示します。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 IGMP クエリアの送信元 IP アドレスを設定します。

エラー メッセージ IGMP_QUERIER-4-PIM_ENABLED: The IGMP querier is operationally disabled in VLAN [dec] because PIM has been enabled on the SVI.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、Switch Virtual Interface (SVI; スイッチ仮想インターフェイス) で、Protocol-Independent Multicast (PIM; プロトコル独立マルチキャスト) が検出されたことを示します。SVI の PIM がイネーブルになっている場合は、IGMP クエリアをイネーブルにできません。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 SVI の PIM がイネーブルであることを確認します。

エラー メッセージ IGMP_QUERIER-4-SNOOPING_DISABLED: The IGMP querier is operationally disabled in VLAN [dec] because IGMP snooping has been disabled in this VLAN.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、この VLAN では IGMP スヌーピングがディセーブルであることを示します。IGMP スヌーピングがディセーブルの場合、IGMP クエリアをイネーブルにしないでください。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 IGMP スヌーピングがグローバルでも VLAN でもイネーブルになっていることを確認します。

エラーメッセージ IGMP_QUERIER-6-PIM_DISABLED: The IGMP querier is now operationally enabled in VLAN [dec] because PIM is no longer enabled on the SVI.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PIM が SVI でディセーブルであり、IGMP クエリア機能が現在イネーブルになっていることを示します。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ IGMP_QUERIER-6-SNOOPING_ENABLED: The IGMP querier is now operationally enabled in VLAN [dec] because IGMP snooping is no longer disabled.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、IGMP スヌーピングがイネーブルになったことを示します。その結果、IGMP クエリア機能は現在イネーブルになっています。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 対処不要です。

ILPOWER メッセージ

ここでは、Power over Ethernet (PoE) メッセージについて説明します。

エラーメッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_ERR: Controller error, Controller number [dec]: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PoE コントローラによって報告された、または PoE コントローラが原因で発生したエラーが検出されたことを示します。[dec] は、24 ポート PoE スイッチでは 0 ~ 5、48 ポート PoE スイッチでは 0 ~ 11 のコントローラ インスタンスです。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_ERR:Controller error, Controller number [chars]: accessing failed



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PoE コントローラによって報告された、または PoE コントローラが原因で発生したエラーが検出されたことを示します。[chars] はコントローラ番号です。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_ERR:Controller error, Controller number [chars]:Reset failed



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PoE コントローラによって報告された、または PoE コントローラが原因で発生したエラーが検出されたことを示します。[chars] はコントローラ番号です。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_IF_ERR: Controller interface error, [chars]: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PoE コントローラとシステムの間インターフェイスエラーが検出されたことを示します。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_IF_ERR:Controller interface error, S2W bus:Initialization failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PoE コントローラとシステムの間インターフェイスエラーが検出されたことを示します。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_PORT_ERR:Controller port error, Interface Fa0/7:Power given, but link is not up.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、インライン電力コントローラで、インターフェイス上のエラーが検出されたことを示します。

推奨処置 影響を受けたインターフェイス上で、`shutdown` インターフェイス コンフィギュレーション コマンドおよび `no shutdown` インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力します。静電破壊 (ESD) 復旧メカニズムを提供する、Cisco IOS リリース 12.1 (14) EA1 以降にアップグレードします。

エラー メッセージ ILPOWER-3-CONTROLLER_POST_ERR: Inline Power Feature is disabled on this switch because Power On Self Test (POST) failed on this switch. Please consult TECH support for further assistance



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、電源投入時セルフテスト (POST) 時に、PoE コントローラがレポートしたエラーまたは PoE コントローラが原因で発生したエラーが検出されたことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ ILPOWER-3-ILPOWER_INTERNAL_IF_ERROR: Inline Power internal error, interface [chars]: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PoE 処理中にソフトウェア チェックに失敗したことを示します。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ ILPOWER-3-ILPOWER_INTERNAL_IF_ERROR:Inline Power internal error. Interface cannot obtain ASIC-CNFG information.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、不明な理由により、PoE 関連のコードに障害が発生したことを示します。ソフトウェア エラーが発生している可能性があります。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ ILPOWER-4-LOG_OVERDRAWN: Interface [chars] is overdrawing power. it is consuming [dec] milliwatts where as maximum configured power is ([dec]) milliwatts.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、インターフェイスに設定されている最大電力より大きい電力が受電装置に給電されていることを示します。[chars] はインターフェイスです。[dec] は設定されている最大電力です。

推奨処置 受電装置の電気仕様または定格に基づいて、このインターフェイスに適切な電力が給電されるようにします。そうしないと、スイッチに過負荷がかかるおそれがあります。必要に応じて、カットオフ電力値を変更することを推奨します。

エラー メッセージ ILPOWER-5-CLR_OVERDRAWN: Interface [chars] is NOT overdrawing power. it is consuming [dec] milliwatts where as maximum configured value is ([dec]) milliwatts.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PoE インターフェイスに接続されている装置が、割り当てられた最大電力値を超える電力を消費していることを示します。[chars] はインターフェイスです。最初の [dec] は消費されている電力です。2 番目の [dec] は割り当てられている最大電力値です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ ILPOWER-5-CONTROLLER_OVERDRAWN: Interface [chars] is NOT overdrawing power. it is consuming [dec] milliwatts where as maximum configured value is ([dec]) milliwatts.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PoE インターフェイスに接続されている装置が、割り当てられた最大電力値を超える電力を消費していることを示します。[chars] はインターフェイスです。最初の [dec] は消費されている電力です。2 番目の [dec] は割り当てられている最大電力値です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ ILPOWER-5-DC_DISCONNECT: Interface [chars]: DC disconnect.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、DC 電源が切断されたことを示します。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ ILPOWER-5-IEEE-DISCONNECT: Interface [chars]: PD removed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、受電装置がスイッチに接続されていないか、接続されている受電装置が外部 AC 電源から電力供給を受けていることを示します。スイッチはポートに電力を供給していません。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ ILPOWER-5-ILPOWER_POWER_CDP_SHUT: Interface [chars]: inline power shut



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、および 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、この PoE ポートの CDP 消費電力が、割り当て電力、ハードウェア インターフェイスの限界、ユーザが設定した最大電力、またはこのスイッチで使用できる電力を超えているため、インライン電力が停止していることを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ ILPOWER-5-ILPOWER_POWER_DENY: Interface [chars]: inline power denied.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PoE ポートに供給する十分な電力がスイッチに残っていないことを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 受電装置を外部 AC 電源に接続します。

エラー メッセージ ILPOWER-5-ILPOWER_POWER_DENY:Interface [chars]:inline power denied



(注) このメッセージは、Catalyst 3550-24PWR スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PoE 要求が拒否されたことを示します。スイッチに PoE 要求に対応するだけの電力が残されていないことが原因です。[chars] はインターフェイス番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ ILPOWER-5-INVALID_IEEE_CLASS: Interface [chars]: has detected invalid IEEE class: [dec] device. Power denied



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、受電装置が無効な IEEE クラスを保有しているため、スイッチがこの受電装置に電力を供給していないことを示します。[chars] はインターフェイス名です。[dec] は受電装置のクラス番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ ILPOWER-5-LINKDOWN_DISCONNECT: Interface [chars]: Link down disconnect.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、受電装置がスイッチに接続されていないか、接続されている受電装置が外部 AC 電源から電力供給を受けていることを示します。スイッチはインターフェイスに電力を供給していません。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ ILPOWER-5-POWER_GRANTED: Interface [chars]: Power granted.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチでは十分な電力が利用可能で、スイッチがインターフェイスに電力を供給していることを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ ILPOWER-7-DETECT: Interface [chars]: Power Device detected: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、接続された受電装置をスイッチが検出したことを示します。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はシスコ先行標準の受電装置、または IEEE 準拠の受電装置です。

推奨処置 対処不要です。

IMAGEMGR メッセージ

ここでは、スタック内のイメージの互換性に関連するイメージ マネージャ メッセージについて説明します。

エラー メッセージ IMAGEMGR-6-AUTO_ADVISE_SW_INITIATED: Auto-advise-software process initiated for systems [bits: [hex]].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチ スタックで、互換性のないソフトウェアを使用しているシステムが検出されたことを示します。スタック内のすべてのスイッチで同じソフトウェア バージョンが稼動していない場合は、自動通知ソフトウェアから通知があります。通知を受けたスタック マスターは、異なるバージョンが稼動しているすべてのスイッチを、マスターで稼動しているバージョンにアップグレードしようとします。スタックは、非互換のシステムにソフトウェアをコピーできるかどうかを判別し、コピーできる場合は、コピー方法を通知します。コピーできない場合は、スイッチ スタック上のソフトウェアを更新する必要性について、システムから通知が出されます。[bits [hex]] は、スイッチ番号のビット表示です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ IMAGEMGR-6-AUTO_ADVISE_SW: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、自動通知ソフトウェア プロセスの出力が表示されていることを示します。[chars] はアップグレードプロセスのステータスを伝えるテキスト メッセージです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ IMAGEMGR-6-AUTO_COPY_SW_INITIATED: Auto-copy-software process initiated for systems [bits: [hex]].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチ スタックで、互換性のないソフトウェアを使用しているシステムが検出されたことを示します。スタックは、非互換のシステムにソフトウェアをコピーできるかどうか、およびソフトウェアを自動的にコピーしてよいかどうかを判別します。[bits [hex]] は、スイッチ番号のビット表示です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ IMAGEMGR-6-AUTO_COPY_SW: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、自動コピー ソフトウェア プロセスの出力が表示されていることを示します。[chars] はアップグレードプロセスのステータスを伝えるテキスト メッセージです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ `IMAGEMGR-6-AUTO_DOWNLOAD_SW_INITIATED: Auto-download-software process initiated for systems [bits: [hex]].`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチ スタックで、互換性のないソフトウェアを使用しているシステムが検出されたことを示します。スタックは、以前設定を行った場所からソフトウェアをダウンロードしてインストールし、システム間で互換性を持たせるようにします。[bits [hex]] は、スイッチ番号のビット表示です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ `IMAGEMGR-6-AUTO_DOWNLOAD_SW: [chars].`



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、自動ダウンロード ソフトウェア プロセスの出力が表示されていることを示します。[chars] はアップグレード プロセスのステータスを伝えるテキスト メッセージです。

推奨処置 対処不要です。

IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ

ここでは、IP デバイス トラッキング ハイ アベイラビリティ (HA) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ `IP_DEVICE_TRACKING_HA-4-ENTRY_OUT_OF_SYNC: Host mac-address [enet] ip-address [IP_address] interface [chars]`

説明 このメッセージは、IP デバイス トラッキング テーブルで、このホストについてアクティブ とスタンバイの不整合が検出されたことを示します。[enet] はホストの MAC アドレスです。[IP_address] はホストの IP アドレスです。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

L2TM メッセージ

ここでは、レイヤ2 フォワーディング マネージャのメッセージについて説明します。このソフトウェア モジュールは、MAC アドレスに基づく転送および学習を実行するハードウェア部分を制御します。Ternary CAM (TCAM) デバイスが、フォワーディング テーブルを実装します。

エラー メッセージ L2TM-3-ACCESS_ERR: TCAM access failed while [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ソフトウェアが TCAM に対する読み取りまたは書き込みを行わなかったことを示します。[chars] は障害が発生した TCAM の部分および動作を表します。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ L2TM-7-INTERNAL_ERR: Internal error:[chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部エラーが発生したことを示します。[chars] は失敗した内部動作を表します。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

L3TCAM メッセージ

ここでは、レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング マネージャのメッセージについて説明します。このソフトウェア モジュールは、ユニキャスト ルーティングを実行するハードウェア部分を制御します。Ternary CAM (TCAM) デバイスが、ルーティング テーブルを実装します。

エラー メッセージ L3TCAM-3-SIZE_CONFLICT: [chars] requires enabling extended routing.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、レイヤ 3 ユニキャスト TCAM エントリのサイズが不足しているため、機能を実装できなかったことを示します。[chars] は 144 ビットの TCAM サイズを必要とする機能の名前 (Web Cache Communication Protocol (WCCP) または複数 VPN ルーティング/フォワーディング (multi-VRF) のいずれか) です。

推奨処置 Switch Database Management (SDM) テンプレートを変更して、スイッチが 144 ビットのレイヤ 3 TCAM をサポートできるようにします。**sdm prefer extended-match**、**sdm prefer access extended-match**、または **sdm prefer routing extended-match** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用したあと、**reload** イネーブル EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードします。

エラー メッセージ L3TCAM-3-TOO_MANY_VRF: Exceed the maximum number of VRF allowed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、Virtual Private Network (VPN; 仮想私設網) の数が、このハードウェアプラットフォームの VPN ルーティング/フォワーディング テーブルで許容される数を超過していることを示します。

推奨処置 スイッチを再設定して、VRF の数を制限します。**ip vrf vrf-name** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して 8 つ以上の VRF を定義 (命名) してはなりません。

エラー メッセージ L3TCAM-4-WCCP_ENABLE: Both VRF and WCCP are enabled, please remove either WCCP or VRF configuration.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチでは、VRF と WCCP の両方をイネーブルにできないことを示します。

推奨処置 スイッチを再設定して、VRF または WCCP を使用するようになります。

MAC_LIMIT メッセージ

ここでは、MAC アドレス テーブルのエントリを説明する MAC_LIMIT メッセージについて説明します。

エラー メッセージ MAC_LIMIT-4-DROP: Vlan [dec] with Configured limit = [dec] has currently [dec] Entries.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VLAN (仮想 LAN) の MAC アドレス テーブル エントリ数が、許可された最大数以下であることを示します。最初の [dec] は VLAN ID、次の [dec] は MAC アドレス エントリの最大数、3 番目の [dec] は MAC アドレス テーブルのエントリ数です。

推奨処置 システム管理者によって対処が設定されます。

エラー メッセージ MAC_LIMIT-4-ENFORCE: Enforcing limit on Vlan [dec] with Configured limit = [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VLAN の MAC アドレス エントリ数が許可された最大数を超過したことを示します。設定された対処方法により、エントリ数が許可された最大数に制限されます。最初の [dec] は VLAN ID、次の [dec] は MAC アドレス エントリの最大数です。

推奨処置 システム管理者によって対処が設定されます。

エラー メッセージ MAC_LIMIT-4-EXCEED: Vlan [dec] with Configured limit = [dec] has currently [dec] Entries.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VLAN の MAC アドレス エントリ数が許可された最大数を超過したことを示します。最初の [dec] は VLAN ID、次の [dec] は MAC アドレス エントリの最大数、3 番目の [dec] は MAC アドレス テーブルのエントリ数です。

推奨処置 システム管理者によって対処が設定されます。

MAC_MOVE メッセージ

ここでは、MAC_MOVE メッセージについて説明します。

エラーメッセージ MAC_MOVE-4-NOTIF: Host [enet] in vlan [dec] is flapping between port [chars] and port [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ホストが指定のポート間で移動していることを示します。[enet] はホストのイーサネットアドレス、[dec] は VLAN (仮想 LAN) ID、最初の [chars] は 1 番目のポート、次の [chars] は 2 番目のポートです。

推奨処置 ネットワークにループがないか確認します。

NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ

ここでは、Catalyst 3550 スイッチのネットワーク ポート サテライト メッセージについて説明します。ネットワーク ポート サテライトは、ギガビット リンクまたは複数の 10/100 イーサネット リンクとスイッチとの間で、レイヤ 2/レイヤ 3 機能およびインターフェイスを提供する、スイッチ上の Cisco ASIC です。

エラーメッセージ NETWORK_PORT_SATELLITE-3-PHY_LOCKUP: Repeated phy lockup seen on [chars]. Interface will be shut down.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、1 行の中で検出された PHY ロックアップの数が多すぎることを示します。リンク フラッピングの頻発を防ぐため、インターフェイスがシャットダウンされています。

推奨処置 インターフェイスを再びイネーブルにするには、**shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用したあと、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。

エラー メッセージ NETWORK_PORT_SATELLITE-6-MAC_LOCKUP: Transmit lock up is detected in [chars]. This port is administratively down.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PHY の電源がオンおよびオフになったときに、MAC が 1000 Mbps から 100 Mbps に切り替わり、ポートがロックされてパケット送信を停止した可能性があることを示します。PHY とは、光信号を送受信し、フレーム同期および回線の完全性を提供する、スイッチ上の物理層デバイスです。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 **shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用してポートをシャットダウンし、次に **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用してポートを再びアップに戻します。

PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ

ここでは、Port Aggregation Protocol (PAgP) デュアルアクティブ検出メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PAGP_DUAL_ACTIVE-3-OBJECT_CREATE_FAILED: Unable to create [chars]

説明 このメッセージは、スイッチが指定の管理対象オブジェクトを作成できないことを示します。[chars] はオブジェクト名です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ PAGP_DUAL_ACTIVE-3-RECOVERY_TRIGGER: PAgP running on [chars] informing virtual switches of dual-active: new active id [enet], old id [enet]

説明 このメッセージは、PAgP が、指定のインターフェイスで新しいアクティブ ID を受信したことを示します。つまり、すべての仮想スイッチがデュアルアクティブ シナリオ状態です。インターフェイスはこれに関する情報を仮想スイッチに伝えており、1 つのスイッチが回復モードになりました。[chars] はインターフェイスです。最初の [enet] は新しいアクティブ ID です。次の [enet] は置換される ID です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ PAGP_DUAL_ACTIVE-3-REGISTRY_ADD_ERR: Failure in adding to [chars] registry

説明 このメッセージは、スイッチが、レジストリに機能を追加できなかったことを示します。[chars] はレジストリ名です。

推奨処置 対処不要です。

PBR メッセージ

ここでは、Policy-Based Routing (PBR; ポリシーベース ルーティング) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PBR-2-NO_RMAP: Cannot create PBR data structures for route-map [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PBR マネージャが、ポリシー ルーティングで使用されるルート マップを記述するのに必要なデータ構造を割り当てられなかったことを示します。考えられる原因は、メモリの空き容量の不足です。[chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 メモリ所要量の少ない、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。

エラー メッセージ PBR-3-NO_LABEL: Cannot allocate label for route-map [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PBR マネージャが、このルート マップ用のラベルを割り当てられなかったことを示します。そのため、ハードウェアをプログラミングしてポリシー ルーティングを実装することができません。ポリシー ルーティング用には 247 ラベルという上限があります。[chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 ラベルの共有が可能な、より簡素なコンフィギュレーションを使用します。可能であれば、複数のインターフェイスで同じルート マップを使用します。

エラー メッセージ PBR-3-MERGE_FAIL: [chars] ACL merge error [dec] on route-map [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PBR マネージャが、設定済みのルート マップを、ハードウェアに読み込める形式にマージできなかったことを示します。原因としては、指定した アクセス コントロール リスト (ACL) が大きすぎるか複雑すぎるために、システムが処理できなかったことが考えられます。最初の [chars] はモジュール名または機能名、2 番めの [chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。[dec] は内部エラー コードです。

推奨処置 より小さく、簡素なコンフィギュレーションを指定します。

エラー メッセージ PBR-3-UNSUPPORTED_RMAP: Route-map [chars] not supported for Policy-Based Routing



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー ルーティング用としてインターフェイスに適用されたルートマップの中に、このプラットフォームでサポートされていないアクションが含まれていることを示します。これはハードウェアの制限です。[chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 ルート マップを再設定します。ルート マップには、*permit* エントリおよび *set ip next-hop* アクションだけを使用します。

エラー メッセージ PBR-4-CPU_SUPPORTED_ACTION: Set action in sequence [dec] of route-map [chars] supported by forwarding to CPU.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー ルーティング用としてインターフェイスに適用されたルートマップの中に、ハードウェアでサポートされていないアクション (*set interface*、*set ip default next-hop*、*set default interface*、または *set ip df* アクション) が含まれていることを示します。CPU でパケットを転送しなければなりません。[dec] および [chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 ルート マップを再設定します。可能であれば、ルート マップに *set ip next-hop* だけを使用します。

エラー メッセージ PBR-3-INSTALL_FAIL: Policy route-map [chars] not installed in hardware



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PBR マネージャが、ルート マップ全体をハードウェアに組み込むことができなかったため、ソフトウェアでルート マップを適用することを示します。CPU でパケットを転送しなければなりません。[chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 ルート マップを再設定して、より簡素なコンフィギュレーションを使用するようにします。可能であれば、複数のインターフェイスで同じルート マップを使用します。

エラー メッセージ PBR-4-RETRY_INSTALL: Route-map [chars] installed in hardware upon retry



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PBR マネージャが、コンフィギュレーション全体をハードウェアに組み込めたことを示します。以前はスペース不足のため、一部のルート マップがロードできませんでした。[chars] は **route-map** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで適用された値です。

推奨処置 対処不要です。

PHY メッセージ

ここでは、PHY メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PHY-4-BADTRANSCEIVER: An inappropriate transceiver has been inserted in interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、使用すべきでないトランシーバが、指定のインターフェイスに存在することを示します。

推奨処置 トランシーバを取り外します。トランシーバがシスコ製デバイスである場合は、シスコのテクニカル サポート担当者にお問い合わせください。

エラー メッセージ PHY-4-CHECK_SUM_FAILED: SFP EEPROM data check sum failed for SFP interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、SFP モジュールがシスコ製の SFP モジュールであると識別されましたが、ベンダー データ情報を読み取って正しいかどうかを確認できなかったことを示します。[chars] は SFP モジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 SFP モジュールをいったん取り外し、改めて取り付けます。同じエラー メッセージが再び表示された場合は、SFP モジュールに障害があると考えられます。

エラー メッセージ PHY-4-EXCESSIVE_ERRORS: Excessive FCS, data, or idle word errors found on interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定のインターフェイスで過度の Frame Check Sequence (FCS)、データワード、またはアイドルワードのエラーが検出されたことを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 指定のインターフェイスに対して **show interface** イネーブル EXEC コマンドを入力し、巡回冗長検査 (CRC) を行い、またその他の入力エラーがないかどうかを調べてください。エラーが多すぎる場合は、**shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力し、さらに **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力してインターフェイスをリセットします。

エラー メッセージ PHY-4-MODULE_DUP: SFPs in [chars] and in [chars] have duplicate vendor-id and serial numbers.

説明 このメッセージは、SFP モジュールがシスコ製の SFP モジュールであると識別されましたが、ベンダー ID とシリアル番号がシステムの別の SFP モジュールのものと同じであることを示します。最初の [chars] は SFP モジュールが取り付けられているインターフェイスです。次の [chars] は重複する SFP モジュールが取り付けられているインターフェイスです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PHY-4-SFP_NOT_SUPPORTED: The SFP in [chars] is not supported



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、この SFP モジュールが、このスイッチでサポートされていないことを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PHY-4-UNSUPPORTED_SFP_CARRIER: Unsupported SFP carrier module found in [chars]

説明 このメッセージは、この SFP キャリア モジュールが、サポートされていない他社製 SFP キャリア モジュールであると識別されたことを示します。[chars] はサポートされていないモジュールです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PHY-4-UNSUPPORTED_TRANSCEIVER:Unsupported transceiver found in [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、この SFP モジュールが、サポートされていない他社製 SFP モジュールであると識別されたことを示します。[chars] はサポートされていないモジュールです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PIMSN メッセージ

ここでは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチの Protocol Independent Multicast (PIM) スヌーピング機能の PIMSN メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PIMSN-6-IGMP_SN_GLOBAL: PIM Snooping global runtime mode [chars] due to IGMP Snooping [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、IGMP スヌーピングがディセーブルになっているときは、PIM スヌーピングもディセーブルであることを示します。IGMP スヌーピングが再度イネーブルになると、PIM スヌーピングも再度イネーブルになります。最初の [chars] は PIM スヌーピング モードです。次の [chars] は IGMP スヌーピング モードです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ PIMSN-6-IGMPSN_VLAN: PIM Snooping runtime mode on vlan [dec] [chars] due to IGMP Snooping [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、IGMP スヌーピングがディセーブルになっているときは、PIM スヌーピングもディセーブルであることを示します。IGMP スヌーピングが再度イネーブルになると、PIM スヌーピングも再度イネーブルになります。[dec] は VLAN ID です。最初の [chars] は PIM スヌーピング モードです。次の [chars] は IGMP スヌーピング モードです。

推奨処置 対処不要です。

PLATFORM メッセージ

ここでは、低レベルのプラットフォーム固有メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PLATFORM-1-CRASHED: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、システムが、前のインスタンスでスイッチが故障していた場合に示されるエラー メッセージを表示しようとしていることを示します。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM-3-NO_HARDWARE_RESOURCES: Not enough hardware resources. Shutting down [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VLAN (仮想 LAN) とルーテッド ポートの数が多すぎることを示します。[chars] は Gi1/0/1 などの短いインターフェイス名、または VLAN0002 などの VLAN 名です。

推奨処置 VLAN およびルーテッド ポートの総数が 1023 未満になるように減らします。再起動後も設定および接続を維持する場合は、コンフィギュレーションを保存します。

エラーメッセージ PLATFORM-3-PW_REC_HRPC_BAD_LENGTH: Received incompatible length (= [dec]) in set-password-recovery HRPC message from box [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、set-password-recovery HRPC メッセージで互換性のない長さのパラメータを受信したことを示します。スタック メンバー間のソフトウェア バージョンに互換性のない状態で、スタックが動作していることが原因と考えられます。最初の [dec] は長さです。次の [dec] はスイッチです。

推奨処置 すべてのスタック メンバーで互換性のあるソフトウェア イメージが稼動するようにします。問題が解消されない場合は、**show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PLATFORM-3-PW_REC_HRPC_NOT_ON_MASTER: Set-password-recovery HRPC msg from box [dec] received on master.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタック マスターが set-password-recovery HRPC メッセージを受信したことを示します。このメッセージを受信するのは、スタック メンバー スイッチのみとされています。[dec] はスイッチです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PLATFORM-3-PW_REC_HRPC_ONLY_ON_MASTER: Get-password-recovery HRPC msg from box [dec] received on member.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタック メンバー スイッチが get-password-recovery HRPC メッセージを受信したことを示します。このメッセージを受信するのは、スタック マスターのみとされています。[dec] はスイッチです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_FBM メッセージ

ここでは、プラットフォームの Fallback Bridging Manager (FBM) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PLATFORM_FBM-4-RECOVERED: Fallback bridging recovered from resource crunch.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、フォールバックブリッジングが、リソース不足の状態から回復したことを示します。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ PLATFORM_FBM-4-RESOURCE_CRUNCH: Fallback bridging on bridge-group [dec] is experiencing a resource crunch. One or more bridge-groups may not be functional. It will recover automatically when system recovers from resource crunch. Delete the bridge-group to immediately recover.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、フォールバックブリッジングを正しく設定できなかったことを示します。考えられる原因として、少なくとも1つのスタックメンバー上で Ternary CAM (TCAM) が満杯の状態になったことが挙げられます。[dec] はブリッジグループです。

推奨処置 スイッチは自動的に回復しますが、多少時間がかかる場合があります。即時回復が必要な場合は、**shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用し、ポートをディセーブルにしてスイッチへのトラフィックフローを停止します。**clear mac-address-table dynamic** イネーブル EXEC コマンドで、TCAM からすべての MAC アドレスを削除します。**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで、ポートを再びイネーブルにします。

PLATFORM_HCEF メッセージ

ここでは、Cisco Express Forwarding (CEF) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PLATFORM_HCEF-3-ADJ: [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、Cisco IOS リリース 12.2 (25) SE を稼動するスイッチで、サポートされていない機能が設定されていることを示します。[chars] はエラー メッセージです。

推奨処置 Generic Routing Encapsulation (GRE; 総称ルーティング カプセル化) トンネルまたは **ip cef accounting** グローバル コンフィギュレーション コマンドが設定されているかどうかを判別します。Distance Vector Multicast Routing Protocol (DVMRP) トンネルのみがサポートされません。GRE トンネルが設定されている場合、トンネルを削除します。GRE 機能が必要な場合は、スイッチ ソフトウェアを Cisco IOS リリースにアップグレードします。**ip cef accounting** コマンドが設定されている場合は、**no ip cef accounting** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して削除します。



(注) Cisco IOS リリース 12.2 (25) SEB2 は、**ip cef accounting** コマンドをサポートしていません。

PLATFORM_HPLM メッセージ

ここでは、プラットフォーム疑似ラベル マネージャ メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PLATFORM_HPLM-3-ERROR: Failed Alloc for action record label move from [dec] to [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ラベル圧縮プロセスで内部リソース割り当てエラーが発生したことを示します。最初の [dec] は以前のラベルです。次の [dec] は新しいラベルです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_HPLM-6-LABEL_COMPLETE: VRF Label compaction complete.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VRF ラベル圧縮プロセスが正常に終了したことを示します。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ PLATFORM_HPLM-6-LABEL_FAILED: VRF Label compaction failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VRF ラベル圧縮プロセスが失敗したことを示します。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ PLATFORM_HPLM-6-LABEL_START: VRF Label compaction started.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VRF ラベル圧縮プロセスが開始されたことを示します。

推奨処置 対処不要です。

PLATFORM_IPC メッセージ

ここでは、Inter-Processor Communication (IPC; プロセッサ間通信) プロトコル メッセージについて説明します。IPC プロトコルは、スタック マスター スイッチとスタック メンバー スイッチ間の通信を処理します。

エラー メッセージ PLATFORM_IPC-3-COMMON: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、IPC エラーが発生したことを示します。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_IPC-3-MASTER: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタック マスターで IPC エラーが発生したことを示します。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_IPC-3-MAX_LENGTH_EXCEEDED: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、最大長を超える IPC メッセージが送信されたときに内部 IPC アプリケーション エラーが発生したことを示します。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_IPC-3-MEMBER: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタック メンバー スイッチで IPC エラーが発生したことを示します。[chars] はエラー メッセージの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_IPC-3-STACK_EVENT: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタックで IPC エラーが発生したことを示します。[chars] はエラーメッセージの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_IPv6 メッセージ

ここでは、IP Version 6 メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PLATFORM_IPv6_UCAST-6-PREFIX: One or more, more specific prefixes could not be programmed into TCAM and are being covered by a less specific prefix



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、TCAM により詳しいプレフィックスをプログラミングすることができず、あまり限定的でないプレフィックスが適用されていることを示します。これは、一時的な状態の可能性があり、**show platform ipv6 unicast retry route** イネーブル EXEC コマンドの出力には、エラーが発生したプレフィックスが示されます。

推奨処置 対処不要です。

PLATFORM_PBR メッセージ

ここでは、ポリシーベース ルーティング (PBR) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-2-NO_RMAP: Cannot create PBR data structures for route-map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PBR マネージャが、このルート マップ用の内部データ構造を割り当てられなかったことを示します。考えられる原因は、使用可能なメモリの不足です。[chars] はルート マップです。

推奨処置 メモリ所要量を減らすため、コンフィギュレーションを簡素化します。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-3-INSTALL_FAIL: Policy route-map [chars] not installed in hardware.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PBR マネージャが完全なルート マップをハードウェアにインストールできなかったため、パケットが CPU に転送されて処理されることを示します。[chars] はルートマップです。

推奨処置 ルートマップの設定を簡素化します。たとえば、複数のインターフェイスで同じルートマップを使用します。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-3-NO_LABEL: Cannot allocate label for route-map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PBR マネージャが、このルート マップ用のラベルを割り当てられなかったことを示します。その結果、ハードウェアをプログラミングしてポリシー ルーティングを実装することができません。ポリシー ルーティング用には 247 ラベルという上限があります。[chars] はルートマップです。

推奨処置 ラベルの共有によって設定を簡素化します。可能であれば、複数のインターフェイス上で同じルートマップを使用します。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-3-UNSUPPORTED_RMAP: Route-map [chars] not supported for Policy-Based Routing.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー ルーティング用としてインターフェイスに適用されたルートマップの中に、このプラットフォームでサポートされていないアクションが含まれていることを示します。これはハードウェアの制限です。[chars] はルートマップです。

推奨処置 `route-map map-tag permit` グローバル コンフィギュレーション コマンドおよび `set ip next-hop ip-address` ルート マップ コンフィギュレーション コマンドを使用して、サポート対象の動作のみを使用するようルート マップの設定を変更します。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-4-CPU_SUPPORTED_ACTION: Set action in sequence [dec] of route-map [chars] supported by forwarding to CPU.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー ベース ルーティング用としてインターフェイスに適用されたルート マップの中に、ハードウェアでサポートされていないアクションが含まれていたため、パケットが CPU に転送されて処理されることを示します。この転送を引き起こすルート マップアクションは、**set interface**、**set ip default next-hop**、**set default interface**、または **set ip df** です。[dec] はアクション番号、[chars] はルート マップです。

推奨処置 **set ip next-hop ip-address** ルート マップ コンフィギュレーション コマンドを使用して、指定のネクスト ホップにパケットをルーティングするよう、ルート マップ アクションの設定を変更します。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-4-RETRY_INSTALL: Route-map [chars] installed in hardware upon retry.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、PBR マネージャが、コンフィギュレーション全体をハードウェアに組み込めたことを示します。このメッセージは、以前はリソース不足が原因で、1 つまたは複数のルート マップをロードしなかったことを示します。[chars] はルート マップです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ PLATFORM_PBR-4-SDM_MISMATCH: [chars] requires sdm template routing.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ルーティング テンプレートがイネーブルではないことを示します。[chars] は PBR の文字列です。

推奨処置 Switching Database Manager (SDM; スイッチング データベース マネージャ) テンプレートを変更して、ルーティング テンプレートをイネーブルにします。**sdm prefer** ルーティング コンフィギュレーション コマンドを使用し、さらに **reload** イネーブル EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードします。

PLATFORM_PM メッセージ

ここでは、プラットフォームの Port Manager (PM) メッセージについて説明します。

エラーメッセージ PLATFORM_PM-3-IFCOUNTERERROR: Unit number [dec] of interface [chars] is more than max allowed value of [dec].

説明 このメッセージは、インターフェイスタイプに対して設定されているインターフェイスが多すぎることを示します。[dec] はインターフェイス数です。[chars] はインターフェイス、[dec] はインターフェイスの最大数です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PLATFORM_PM-3-INTVLANINUSE: internal vlan-id [dec] allocated for interface [chars] is still in use.

説明 このメッセージは、インターフェイスに割り当てられた内部 VLAN (仮想 LAN) ID が使用中であることを示します。[dec] は VLAN ID です。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PLATFORM_PM-3-NOINTVLAN: internal vlan of interface [chars] is not active for vlan-id [dec].

説明 このメッセージは、表示された VLAN ID で内部 vlan_data がアクティブではないことを示します。[chars] はインターフェイスです。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_RPC メッセージ

ここでは、プラットフォーム固有のリモートプロシージャコール (RPC) メッセージについて説明します。スイッチスタックのRPC機能は、仮想ファンクションコールメカニズムを使用することによって、スタック内のさまざまなシステムで稼動しているコードのインスタンスを相互に通信させます。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-0-RESOURCE_CRASH: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、RPC にメモリを割り当てられないことを示します。[chars] はエラーメッセージの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-BAD_CLASS: Bad Class in RPC message: [int].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、メッセージクラス用のクラステーブルに、脱落しているエントリがあることを示します。[int] は、脱落しているメッセージクラスの番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-MSG_THROTTLED: RPC Msg Dropped by throttle mechanism: type [int], class [int], max_msg [int], total throttled [int].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、メッセージクラスにキューイングされている発信メッセージの数が多すぎると示します。RSP メッセージは廃棄されました。最初の [int] はメッセージタイプです。2 番目の [int] はメッセージクラスです。3 番目の [int] はスロットリングが発生するまでにキューに格納できるメッセージの最大数です。最後の [int] はスロットリングが実行されたメッセージの総数です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-PERSISTENT_UNABLE_TO_SEND: System is consistently unable to send RPC message: [chars], paks_outstanding: [int].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、RPC メッセージの送信時に、持続的な低レベル トランスポート エラーが発生したことを示します。[chars] はエラーのトリガーとなった低レベル パケット送信ドライバから返されたエラーの説明（通常は *fifo full*、*fifo empty*、*out of buf*、*out of mem*、*null pointer*、*misc failure* のいずれか）です。[int] は、未処理パケット（RPC コードからドライバへ、まだ送信されていないパケット）の数です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-RESP_FAIL: Unexpected response or failure, class [dec], req [dec], switch [dec], error [dec], [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、プラットフォームが予期せぬ応答を受信したことを示します。最初の [dec] は RPC 要求クラスです。2 番目の [dec] は RPC 要求番号です。3 番目の [dec] は宛先スイッチの番号です。4 番目の [dec] は返されたエラー番号です。[chars] はオプションのコメントです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-SEND_FAIL: Failed to send RPC message in class [dec], req [dec], [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ローカル リソース エラーが発生したか、メッセージ クラスに対してキュー内の発信メッセージが多すぎることを示します。最初の [dec] は RPC 要求クラスです。次の [dec] は RPC 要求番号です。[chars] はオプションのコメントです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_RPC-3-UNABLE_TO_SEND: System is unable to send RPC message: [chars], paks_outstanding: [int].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、RPC メッセージの送信時に、低レベル トランスポート エラーが発生したことを示します。[chars] はエラーのトリガーとなった低レベル パケット送信ドライバから返されたエラーの説明（通常は *fifo full*、*fifo empty*、*out of buf*、*out of mem*、*null pointer*、*misc failure* のいずれか）です。[int] は、未処理パケット（RPC コードからドライバへ、まだ送信されていないパケット）の数です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_SPAN メッセージ

ここでは、スイッチド ポート アナライザ (SPAN) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PLATFORM_SPAN-3-PACKET_DROP: Decreases egress SPAN rate.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、マルチキャストルーティングまたはフォールバックブリッジングでSPANがイネーブルに設定されているので、出力SPANレートが低下していることを示します。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_UCAST メッセージ

ここでは、プラットフォームのユニキャストルーティングメッセージについて説明します。

エラーメッセージ PLATFORM_UCAST-3-ADJ: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ユニキャストルーティング対応の隣接モジュールでエラーが発生したことを示します。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PLATFORM_UCAST-3-ARP: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ユニキャストルーティング対応の APR モジュールでエラーが発生したことを示します。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-CEF: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ユニキャスト ルーティング対応の Cisco Express Forwarding (CEF) モジュールでエラーが発生したことを示します。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-DYNAMIC: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ユニキャスト ルーティング対応のダイナミック アドレス トラッキング メカニズムでエラーが発生したことを示します。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-ERROR: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ユニキャスト ルーティング エラーが発生したことを示します。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-HSRP: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ユニキャスト ルーティング対応の Hot Standby Router Protocol (HSRP) モジュールでエラーが発生したことを示します。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-INTERFACE: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ユニキャスト ルーティング インターフェイス エラーが発生したことを示します。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_UCAST-3-RPC: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ユニキャスト ルーティング対応の RPC モジュールでエラーが発生したことを示します。[chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PLATFORM_UCAST-6-PREFIX: One or more, more specific prefixes could not be programmed into TCAM and are being covered by a less specific prefix



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、TCAM により詳しいプレフィックスをプログラミングすることができず、あまり限定的でないプレフィックスが適用されていることを示します。これは、一時的な状態の可能性があり、**show platform ip unicast failed route** イネーブル EXEC コマンドの出力には、エラーが発生したプレフィックスが示されます。

推奨処置 対処不要です。

PLATFORM_VLAN メッセージ

ここでは、プラットフォームの VLAN (仮想 LAN) メッセージについて説明します。

エラーメッセージ PLATFORM_VLAN-3-LOCK_FAIL: Failed to lock vlan-id [dec], associated mapped vlan id value [dec].

説明 このメッセージは、VLAN のロック操作に失敗したことを示します。このエラーが発生するのは、システムで VLAN がすでにアクティブになっている場合、または VLAN ID がアクティブではない場合です。最初の [dec] は VLAN ID です。次の [dec] はマップ先 VLAN ID (MVID) です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PLATFORM_VLAN-3-MVID_ERROR: Mapped Vlan ID value [dec] associated with vlan-id [dec] is invalid.

説明 このメッセージは、アクティブ VLAN が MVID に正しく対応付けられていないことを示します。最初の [dec] は VLAN ID です。次の [dec] は MVID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PLATFORM_VLAN-3-UNLOCK_FAIL: Failed to unlock vlan-id [dec], associated mapped vlan id value [dec].

説明 このメッセージは、スイッチが VLAN ID のロックを解除しなかったことを示します。VLAN がすでにロック解除されていることが、最も一般的な原因です。最初の [dec] は VLAN ID です。次の [dec] は MVID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PLATFORM_WCCP メッセージ

ここでは、プラットフォーム Web Cache Communication Protocol (WCCP) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ PLATFORM-WCCP-3-NO_LABEL: Cannot allocate WCCP Label



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、WCCP ラベルを割り当てられなかったことを示します。そのため、ハードウェアをプログラミングして WCCP リダイレクションを実装することができません。

推奨処置 WCCP リダイレクションまたはポリシーベース ルーティングに設定したインターフェイスの数を減らします。

エラー メッセージ PLATFORM_WCCP-4-SDM_MISMATCH: WCCP requires sdm template routing



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、SDM ルーティング テンプレートが、スイッチで指定されていないことを示します。

推奨処置 使用する SDM ルーティング テンプレートを指定します。**sdm prefer routing** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力し、さらに **reload** イネーブル EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードします。

PM メッセージ

ここでは、ポート マネージャのメッセージについて説明します。ポート マネージャは、あらゆる論理インターフェイスおよび物理インターフェイスを制御する、ステート マシンです。VLAN（仮想LAN）、UniDirectional Link Detection（UDLD; 単一方向リンク検出）などのあらゆる機能は、ポート マネージャと連携してスイッチ機能を提供します。

エラー メッセージ PM-2-LOW_SP_MEM: Switch process available memory is less than [dec] bytes.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチプロセッサで使用可能なメモリが少なくなっていることを示します。設定しているレイヤ 2 VLAN が多すぎると、このような状況が発生することがあります。[dec] は使用可能なメモリです。

推奨処置 システムから VLAN を削除して、メモリの使用率を引き下げてください。

エラー メッセージ PM-2-NOMEM: Not enough memory available for [chars].

説明 このメッセージは、ポート マネージャ サブシステムが、指定の動作を初期化するために必要なメモリを確保できなかったことを示します。[chars] はポート マネージャの動作です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-2-VLAN_ADD: Failed to add VLAN [dec] - [chars].

説明 このメッセージは、ソフトウェアが VLAN トランッキング プロトコル（VTP）データベースに VLAN を追加しなかったことを示します。[dec] は VLAN ID です。[chars] は、ソフトウェアが VLAN を追加しなかった理由です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PM-3-INTERNALERROR: Port Manager Internal Software Error ([chars]: [chars]: [dec]: [chars]).

説明 このメッセージは、ポートマネージャで内部ソフトウェアエラーが発生したことを示します。テクニカルサポート用に、パラメータから問題を特定します。最初の [chars] はエラーメッセージです。次の [chars] はファイル名です。[dec] はライン番号です。最後の [chars] はファンクション名です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PM-4-BAD_APP_ID: an invalid application id ([dec]) was detected.

説明 このメッセージは、ポートマネージャが無効な要求を検出したことを示します。[dec] はアプリケーション ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PM-4-BAD_APP_REQ: an invalid [chars] request by the '[chars]' application was detected.

説明 このメッセージは、ポートマネージャが無効な要求を検出したことを示します。最初の [chars] は無効な要求です。次の [chars] は要求を出しているアプリケーションです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ PM-4-BAD_CARD_COOKIE: an invalid card cookie was detected.

説明 このメッセージは、ポートマネージャが無効な要求を検出したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステムログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカルサポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージトレースバックレポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_CARD_SLOT: an invalid card slot ([dec]) was detected.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが無効な要求を検出したことを示します。[dec] はスロット番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_COOKIE: [chars] was detected.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが無効な要求を検出したことを示します。[chars] は無効な要求です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_HA_ENTRY_EVENT: Invalid Host access entry event ([dec]) is received.

説明 このメッセージは、無効なホスト アクセス エントリ イベントを受信したことを示します。ホスト アクセス テーブル エントリ イベントは、追加、削除、または更新イベントでなければなりません。[dec] は受信したイベントです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_PORT_COOKIE: an invalid port cookie was detected.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが無効な要求を検出したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_PORT_NUMBER: an invalid port number ([dec]) was detected.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが無効な要求を検出したことを示します。[dec] はポート番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_VLAN_COOKIE: an invalid vlan cookie was detected.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが無効な要求を検出したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-BAD_VLAN_ID: an invalid vlan id ([dec]) was detected.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが無効な要求を検出したことを示します。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-ERR_DISABLE: [chars] error detected on [chars], putting [chars] in err-disable state.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが誤った設定または誤動作を検出したので、インターフェイスを エラー ディisable ステートにしたことを示します。設定された再試行時間（デフォルトは 5 分）の経過後、回復が試行されます。PoE スイッチでこのメッセージが表示された場合、Power over Ethernet (PoE) スイッチ ポートまたは AC 電源から給電できるデバイスが、外部 AC 電源から給電されず、**power inline never** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドで設定されたポートに接続されています。[chars] はしきい値を超えたポートです。最初の [chars] はエラーです。2 番めおよび 3 番めの [chars] はどちらも、影響を受けたインターフェイスです。

推奨処置 PoE 以外のスイッチの場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。**show tech-support** ユーザ EXEC コマンドを使用して、エラーの識別に役立つデータを集めてください。**Bug Toolkit** を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。PoE スイッチの場合は、デバイスを取り外すか、**power inline auto**、**shutdown**、および **no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーションコマンドを入力してポートを設定します。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-ERR_DISABLE_VP: [chars] error detected on [chars], vlan [dec]. Putting in err-disable state.

説明 このメッセージは、仮想ポート（ポートと VLAN のペア）が、誤った設定または誤動作を検出したときにエラー ディisable ステートであったことを示します。適用すると、設定された再試行時間（デフォルトは 5 分）の経過後、回復が試行されます。最初の [chars] はエラーです。次の [chars] はポートです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。**Bug Toolkit** を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-ERR_RECOVER: Attempting to recover from [chars] err-disable state on [chars].

説明 このメッセージは、ポート マネージャが、エラー ディisable ステートのインターフェイスを再起動しようとしていることを示します。最初の [chars] はエラーです。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。**Bug Toolkit** を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-ERR_RECOVER_VP: Attempting to recover from [chars] err-disable state on [chars], vlan [dec].

説明 このメッセージは、ポート マネージャが、エラー ディisable ステートの仮想ポートを再起動しようとしていることを示します。最初の [chars] はエラーです。次の [chars] は仮想ポートです。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。**Bug Toolkit** を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-EXT_VLAN_INUSE: VLAN [dec] currently in use by [chars].

説明 このメッセージは、別の機能が VLAN を使用しているため、ポート マネージャがその VLAN を外部で使用するために割り当てなかったことを示します。[dec] は使用中の VLAN です。[chars] はその VLAN を使用している機能です。

推奨処置 別の内部 VLAN を使用するか、または別の使用可能な VLAN を要求するように、機能 (ルーテッド ポートなど) の設定を変更します。

エラー メッセージ PM-4-EXT_VLAN_NOTAVAIL: VLAN [dec] not available in Port Manager.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが、要求された VLAN を割り当てなかったことを示します。他の機能がその VLAN を内部 VLAN として使用している可能性があります。[dec] は要求された VLAN です。

推奨処置 デバイス上で別の VLAN を設定してください。

エラー メッセージ PM-4-INACTIVE: putting [chars] in inactive state because [chars].

説明 このメッセージは、ポート マネージャが、スイッチ ポートおよび VLAN 用の仮想ポートを作成できなかったために、ポートが非アクティブであることを示します。この状態の理由がエラー メッセージに示されます。最初の [chars] はインターフェイス名です。次の [chars] は理由です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-INT_FAILUP: [chars] failed to come up. No internal VLAN available.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが、内部 VLAN を割り当てなかったことを示します。インターフェイスは、イネーブルにできません。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 `no vlan vlan-id` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して拡張範囲 VLAN を削除し、リソースを解放します。

エラー メッセージ PM-4-INT_VLAN_NOTAVAIL: Failed to allocate internal VLAN in Port Manager.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが、利用可能な内部 VLAN を見つけられなかったことを示します。

推奨処置 ユーザが作成した拡張範囲 VLAN をいくつか削除するか、または内部 VLAN の割り当てが必要な一部の機能 (ルーテッド ポートなど) を削除します。拡張範囲 VLAN を削除するには、`no vlan vlan-id` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。ルーテッド ポートを削除するには、`no switchport` インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。

エラー メッセージ PM-4-INVALID_HOST_ACCESS_ENTRY: Invalid Host access entry type ([dec]) is received.

説明 このメッセージは、無効なホストアクセス エントリ タイプを受信したことを示します。ホストアクセス エントリは、設定されたタイプまたは動的なタイプでなければなりません。[dec] は受信したエントリ タイプです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-LIMITS: The number of vlan-port instances on [chars] exceeded the recommended limit of [dec].

説明 このメッセージは、モジュールまたはスイッチの個別の VLAN ポートの合計数が、推奨限度を超えていることを示します。VLAN は何度でも数えることができます。VLAN 1 が 10 個のインターフェイスに割り当てられている場合は、VLAN ポートの数は 10 になります。このような数え方をするために、プラットフォームによってはバンドルが無視されることもあります。その場合、同一モジュール上の 8 つのインターフェイスが 1 つのバンドルに組み込まれ、ポート チャネルが VLAN 1 に設定されていても、VLAN ポートの数は 8 になります。[chars] はモジュール名 (スイッチまたはモジュール番号など) です。[dec] は推奨限度数です。

推奨処置 モジュールまたはスイッチに設定したトランクと VLAN の数を、[dec] の推奨限度数に減らします。show interfaces trunk イネーブル EXEC コマンドを入力し、トランクと VLAN の合計数を確認します。

エラー メッセージ PM-4-NO_SUBBLOCK: No PM subblock found for [chars].

説明 このメッセージは、ポート マネージャが、このインターフェイスのサブブロックを検出しなかったことを示します。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-PORT_BOUNCED: Port [chars] was bounced by [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポートがリンクダウン状態のとき、切り替え中にポート マネージャがポートを再起動したことを示します。ポート データ構造が、アクティブでスタンバイ状態のスーパーバイザで矛盾したときのみ、ポートを再起動できます。リンクダウン状態のアクティブポートは、ポートが再起動されると、リンクアップ状態に戻ります。最初の [chars] はポート番号、次の [chars] は再アクティベーション イベントです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ PM-4-PVLAN_TYPE_CFG_ERR: Failed to set VLAN [dec] to a [chars] VLAN.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、プラットフォームがプライベート VLAN タイプを設定しなかったことを示します。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-TOO_MANY_APP: application '[chars]' exceeded registration limit.

説明 このメッセージは、ポート マネージャが無効な要求を検出したことを示します。[chars] はアプリケーションです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-UNKNOWN_HOST_ACCESS: Invalid Host access value ([dec]) is received.

説明 このメッセージは、ホスト アクセス テーブルが、無効なホスト アクセス値を使用してアクセスされていることを示します。[dec] は受信した値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ PM-4-VMPS_CFG: Dynamic access VLAN [dec] same as voice vlan on [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VMPS サーバのアクセス VLAN ID がインターフェイスの音声 VLAN ID と同じであることを示します。[dec] はアクセス VLAN ID です。[chars] は物理インターフェイスです。

推奨処置 VMPS サーバのアクセス VLAN に、音声 VLAN ID とは異なる VLAN ID を割り当てます。

エラー メッセージ PM-6-EXT_VLAN_ADDITION: Extended VLAN is not allowed to be configured in VTP CLIENT mode.

説明 このメッセージは、スイッチが、VTP クライアント モードの VLAN を追加しなかったことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

PORT_SECURITY メッセージ

ここでは、ポートセキュリティのメッセージについて説明します。

エラーメッセージ PORT_SECURITY-2-PSECURE_VIOLATION: Security violation occurred caused by MAC [enet] on port [chars].

説明 このメッセージは、セキュアポートで、認証されていないデバイスが接続しようとしたことを示します。[enet] は認証されていないデバイスの MAC アドレスです。[chars] はセキュアポートです。

推奨処置 セキュアポートへの接続を試行したデバイスを特定してください。ネットワークシステム管理者に状況を知らせてください。

エラーメッセージ PORT_SECURITY-2-PSECURE_VIOLATION_VLAN: Security violation on port [chars] due to MAC address [enet] on VLAN [dec]

説明 このメッセージは、セキュアトランクポートで、認証されていないデバイスが接続しようとしたことを示します。[chars] はセキュアポートです。[enet] は認証されていないデバイスの MAC アドレスです。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 セキュアトランクポートへの接続を試行したデバイスを特定してください。ネットワークシステム管理者に状況を知らせてください。

エラーメッセージ PORT_SECURITY-6-ADDR_REMOVED: Address [dec]:[enet] exists on port [chars]. It has been removed from port [chars].

説明 このメッセージは、ルーテッドポートがスイッチポートとして再設定されていることを示します。スイッチの以前の設定のアドレスは、実行コンフィギュレーションと競合したために削除されました。[dec]:[enet] はポートの MAC アドレスです。[chars] は再設定したポートです。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ PORT_SECURITY-6-ADDRESSES_REMOVED: Maximum system secure address count reached. Some secure addresses configured on port [chars] removed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定のポートに設定されたスティッキー MAC アドレスの一部が設定から削除されたことを示します。システムがサポートするセキュアアドレスの数を超過しました。この状況は、ホットスワップまたはポートモードの変更（たとえば、ポートがレイヤ 3 からレイヤ 2 ポートに変換された場合）が行われたときにのみ発生します。[chars] はポートです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ PORT_SECURITY-6-VLAN_FULL: Vlan [dec] on port [chars] has reached its limit. Address [enet] has been removed.

説明 このメッセージは、音声 VLAN がアクセス VLAN と同一であることを示します。アクセス VLAN で許可されている MAC アドレスの最大数に到達しているため、指定されたイーサネット アドレスが削除されました。[dec] は VLAN ID です。[chars] は音声 VLAN とアクセス VLAN に割り当てられたポートです。[enet] は削除されたイーサネット アドレスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ PORT_SECURITY-6-VLAN_REMOVED: VLAN [dec] is no longer allowed on port [chars]. Its port security configuration has been removed.

説明 このメッセージは、ポート モードの変更または許可 VLAN リストの変更が原因で、設定済み VLAN が除外され、コンフィギュレーションから削除されたことを示します。[int] は VLAN ID です。[chars] は VLAN に割り当てられたスイッチ ポートです。

推奨処置 対処不要です。

QATM メッセージ

ここでは、QoS および ACL TCAM マネージャのメッセージについて説明します。このソフトウェア モジュールは、スイッチに設定した QoS 分類およびセキュリティ ACL に一致するように、ハードウェアを設定します。

エラー メッセージ QATM-2-ASDATA_READ: Cannot read TCAM associated data.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、関連するデータを TCAM から読み取れなかったことを示します。このエラーはハードウェア障害を示している可能性があります。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QATM-2-ASDATA_WRITE: Cannot write TCAM associated data.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、関連するデータを TCAM に書き込めなかったことを示します。このエラーはハードウェア障害を示している可能性があります。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QATM-2-TCAM_READ: Cannot read TCAM.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、TCAM から読み取れなかったことを示します。このエラーはハードウェア障害を示している可能性があります。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QATM-2-TCAM_WRITE: Cannot write the TCAM.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、TCAM に書き込めなかったことを示します。このエラーはハードウェア障害を示している可能性があります。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ QATM-4-TCAM_LOW: TCAM resource running low for table [chars], resource type [chars], on TCAM number [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、TCAM のリソースが不足しているため、システムが不安定になる可能性があることを示します。最初の [chars] は TCAM テーブルです。2 番めの [chars] はリソースタイプです。[dec] は TCAM 番号です。

推奨処置 不足している TCAM リソース タイプが使い果たされる可能性があるため、これ以上、設定を追加しないでください。**show tcam** ユーザ EXEC コマンドを使用して、メッセージ TCAM テーブルに示すとおりに入力セキュリティ ACL、出力セキュリティ ACL、QoS、または TCAM の他のリージョンに関する情報を表示します。可能であれば、**sdm prefer** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用して、別の TCAM 割り当てに変更し、SDM リソース割り当てで使用されるテンプレートを設定します。

QM メッセージ

ここでは、QoS マネージャのメッセージについて説明します。QoS の設定に問題があると、次のようなメッセージが生成されます。

エラーメッセージ QM-4-ACTION_NOT_SUPPORTED: Action is not supported in policy map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー マップに **set**、**trust**、および **police** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンド以外のアクションが設定されていることを示します。これはハードウェアの制限です。[chars] はポリシー マップの名前です。

推奨処置 ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション モードでは、サポート対象のアクション (**set**、**trust**、および **police**) だけを設定します。

エラーメッセージ QM-4-CLASS_NOT_SUPPORTED: Classification is not supported in class map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー マップにサポートされていない **match** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドが設定されて出力インターフェイスに適用されたか、または複数の **match** コマンドが設定されたことを示します。これはハードウェアの制限です。[chars] はクラス マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更します。出力インターフェイスに付加するポリシー マップで使用できるのは、**match ip dscp dscp-list** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドだけです。1 つのクラス マップには 1 つの一致タイプのみサポートされます。

エラーメッセージ QM-4-HARDWARE_NOT_SUPPORTED: Hardware limitation has been reached for policy map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えたことを示します。設定した QoS ACL のエントリ数が、Switch Database Management (SDM) テンプレートで指定される数よりも多いか、または (**police** または **police aggregate** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを使用して) ポリシー マップに設定したポリサーの数が、サポートされる数よりも多いことが原因です。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更し、QoS ACL の数を減らします。

エラーメッセージ QM-4-MATCH_NOT_SUPPORTED: Match type is not supported in class map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、match クラス マップ コンフィギュレーション コマンドでサポートされるのは、**access-group acl-index-or-name**、**ip dscp dscp-list**、および **ip precedence ip-precedence-list** マッチ タイプだけであることを示します。[chars] はクラス マップの名前です。

推奨処置 クラス マップの設定を変更します。クラス マップ内では **match access-group**、**match ip dscp**、および **match ip precedence** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドだけを使用します。

エラーメッセージ QM-4-NOT_SUPPORTED: Action [chars] is not supported for a policy map attached to output side.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、**set** または **trust** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドが設定されたポリシー マップが、出力インターフェイスに適用されたことを示します。警告メッセージが記録され、アクションは実行されません。これはハードウェアの制限です。[chars] は set アクションまたは trust アクションです。

推奨処置 **set** または **trust** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを設定したポリシー マップを、出力インターフェイスに付加しないでください。これらのポリシー マップ アクションがサポートされるのは、入力インターフェイスだけです。

エラー メッセージ QM-4-POLICER_NOT_SUPPORTED: Number of policers has exceeded hardware limitation for policy map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えたことを示します。ポリシー マップで、サポートされるより多くのポリサーを、(**police** または **police aggregate** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを使用して) 設定しています。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更し、ポリサー数を減らします。

エラー メッセージ QM-4-POLICING_RATE_NOT_SUPPORTED: Policer configuration has exceeded hardware limitation for policy map [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えたことを示します。(police または **police aggregate** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを使用して) ポリシー マップに設定したポリシング レートまたはバースト サイズが大きすぎて、サポートされません。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更し、ポリシング レートまたはバースト サイズを小さくします。

エラー メッセージ QM-4-UNEXPECTED_INTERNAL_QOS_CONDITION: Unexpected internal QoS condition.



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、予期せぬ内部 Quality of Service (QoS) 条件が発生したことを示します。この条件が繰り返し発生する場合は、QoS debug をイネーブルにすると、詳細を収集できます。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

QOSMGR メッセージ

ここでは、Quality of Service (QoS) マネージャ メッセージについて説明します。

エラー メッセージ QOSMGR-3-FEATURE_NOT_FOUND: Cannot find feature for [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。[chars] はソフトウェアが検出できなかった機能の記述です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-FILTERTYPE_INVALID: Internal Error Invalid Policy filtertype [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。[dec] は無効なフィルタ タイプ ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-MERGE_RES_COUNT: Internal Error Invalid count.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-NO_POLICER_QOSLABEL: Creating port Class Label Failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-NO_VMR_QOSLABEL: qm_generate_vmrs have no qos label.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-NULL_POLICER: Internal Error Invalid Policer.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ QOSMGR-3-POLICER_RES_COUNT: Internal Error Invalid Policer count.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ QOSMGR-3-POLICYMAP_NOT_FOUND: Cannot find policymap for [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ QOSMGR-3-QUEUE_PTR_ERROR: queue pointers out of order [hex] [hex] [hex] [hex].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。[hex] [hex] [hex] [hex] は、ソフトウェアが計算したキュー ポインタ値です。シスコのテクニカル サポートにとって必要な、エラーの詳細情報が得られるパラメータです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-RESERVE_COUNT_ERROR: Reserved Count Exceeding total [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、割り当てられた予約済みバッファで内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。[dec] はソフトウェアが計算した予約済みカウントです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-RESOURCE_INTERNAL: Internal Error in resource allocation.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-3-VMRSEQ_INVALID: Internal Error Invalid VMR sequence.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、内部ソフトウェア エラーが発生したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-4-ACTION_NOT_SUPPORTED: Action is not supported in policymap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー マップに **set**、**trust**、および **police** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンド以外のアクションが設定されていることを示します。これはハードウェアの制限です。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション モードでは、サポート対象のアクション (**set**、**trust**、および **police**) だけを設定します。

エラー メッセージ QOSMGR-4-CLASS_NOT_SUPPORTED: Classification is not supported in classmap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー マップにサポートされていない **match** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドが設定されて出力インターフェイスに適用されたか、または複数の **match** クラス マップ コマンドが設定されたことを示します。これはハードウェアの制限です。[chars] はクラス マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更します。出力インターフェイスに付加するポリシー マップで使用できるのは、**match ip dscp dscp-list** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドだけです。1 つのクラス マップには 1 つの一致タイプのみサポートされます。

エラー メッセージ QOSMGR-4-COMMAND_FAILURE: Execution of [chars] command failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、QoS を設定するコマンドでエラーが発生したことを示します。ハードウェア リソース不足が原因の可能性があります。[chars] はコマンドの記述です。

推奨処置 他にリソース障害を示すメッセージがないかどうかを調べます。ハードウェア リソースの超過を伝える他のメッセージがある場合は、コンフィギュレーションの規模を小さくしてからコマンドを再試行します。**show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ QOSMGR-4-HARDWARE_NOT_SUPPORTED: Hardware limitation has reached for policymap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えたことを示します。SDM テンプレートで指定された数より多くの QoS ACL エントリを設定しています。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更し、QoS ACL の数を減らします。

エラー メッセージ QOSMGR-4-MATCH_NOT_SUPPORTED: Match type is not supported in classmap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、サポートされていない一致タイプが入力されたことを示します。**match** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドでサポートされるのは、**access-group** **acl-index-or-name**、**ip dscp dscp-list**、および **ip precedence ip-precedence-list** マッチ タイプだけです。[chars] はクラス マップ名です。

推奨処置 クラス マップの設定を変更します。クラス マップ内では **match access-group**、**match ip dscp**、および **match ip precedence** クラス マップ コンフィギュレーション コマンドだけを使用します。

エラー メッセージ QOSMGR-4-NOT_SUPPORTED: Action '[chars]' is not supported for a policymap attached to output side.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、**set** または **trust** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドが設定されたポリシー マップが、出力インターフェイスに適用されたことを示します。警告メッセージが記録され、アクションは実行されません。これはハードウェアの制限です。[chars] は set アクションまたは trust アクションです。

推奨処置 **set** または **trust** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを設定したポリシー マップを、出力インターフェイスに付加しないでください。これらのポリシー マップ アクションがサポートされるのは、入力インターフェイスだけです。

エラーメッセージ QOSMGR-4-POLICER_PLATFORM_NOT_SUPPORTED: Policer configuration has exceeded hardware limitation for policymap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えたことを示します。すべてのポリシー マップで、ハードウェアでサポートされている数よりも多くのポリサーを設定しようとしたこと (**police** または **police aggregate** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを使用) が、この状態の原因です。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更するか、一部のインターフェイスからポリシー マップを削除します。

エラーメッセージ QOSMGR-4-POLICER_POLICY_NOT_SUPPORTED: Number of policers has exceeded per policy hardware limitation for policymap [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ポリシー マップの設定がハードウェアの制限を超えたことを示します。ポリシー マップで、ハードウェアでサポートされている数よりも多くのポリサーを設定しようとしたこと (**police** または **police aggregate** ポリシー マップ クラス コンフィギュレーション コマンドを使用) が、この状態の原因です。[chars] はポリシー マップ名です。

推奨処置 クラス マップまたはポリシー マップの設定を変更し、ポリサー数を減らします。

RMON メッセージ

ここでは、Remote Monitoring (RMON) メッセージについて説明します。

エラーメッセージ RMON-5-FALLINGTRAP: Falling trap is generated because the value of [chars] has fallen below the falling-threshold value [dec].

説明 このメッセージは、下限トラップが生成されたことを示します。指定された MIB (管理情報ベース) オブジェクトの値が、下限しきい値よりも低くなっています。[chars] は MIB オブジェクトです。[dec] はしきい値です。

推奨処置 指定された MIB オブジェクトに適切な対処を行ってください。

エラーメッセージ RMON-5-RISINGTRAP: Rising trap is generated because the value of [chars] exceeded the rising-threshold value [dec].

説明 このメッセージは、上限トラップが生成されたことを示します。指定された MIB オブジェクトの値が、上限しきい値を超えています。[chars] は MIB オブジェクトです。[dec] はしきい値です。

推奨処置 指定された MIB オブジェクトに適切な対処を行ってください。

SDM メッセージ

ここでは、Switch Database Management (SDM) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ SDM-6-MISMATCH_ADVISE: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタック メンバーが、スタック マスターの使用している SDM テンプレートをサポートできないことを示します。SDM 不一致ステートのスイッチは、動作可能なスタック メンバーではありません。SDM_MISMATCH が報告された場合、このエラーの前に STACKMGR-6-SWITCH_ADDED_SDM エラー メッセージが表示されます。[chars] は不一致情報と推奨する対処方法です。

推奨処置 スタック マスターの SDM テンプレートをダウングレードして、スタック メンバー スイッチと互換性を持たせるようにします。たとえば、スタック マスターでアグリゲータ ルーティング テンプレートを使用している場合であれば、**sdm prefer vlan desktop** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用することによって、スタック マスターをデスクトップ ルーティング テンプレートにダウングレードすることが、エラー メッセージで推奨されます。

SPAN メッセージ

ここでは、スイッチド ポート アナライザ (SPAN) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ SPAN-3-MEM_UNAVAIL: Memory was not available to perform the SPAN operation.

説明 このメッセージは、メモリ不足が原因で、システムが SPAN 動作を実行できなかったことを示します。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

エラー メッセージ SPAN-3-UNKN_ERR: An internal error occurred during a SPAN operation.

説明 このメッセージは、SPAN が内部動作でエラーを検出したことを示します。

推奨処置 一時的なエラーの可能性ががあります。SPAN 動作をやり直してください。2 度めも失敗した場合は、**reload** イネーブル EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードし、動作を完了してください。

エラーメッセージ SPAN-3-UNKN_ERR_PORT: An internal error occurred when configuring SPAN on port [chars].

説明 このメッセージは、SPAN が内部動作でエラーを検出したことを示します。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 一時的なエラーの可能性があります。SPAN 動作をやり直してください。2 度めも失敗した場合は、**reload** イネーブル EXEC コマンドを使用してスイッチをリロードし、動作を完了してください。

SPANTREE メッセージ

ここでは、スパニングツリー メッセージについて説明します。

エラーメッセージ SPANTREE-2-BLOCK_BPDUGUARD: Received BPDU on port [chars] with BPDU Guard enabled. Disabling port.

説明 このメッセージは、スパニングツリー Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジプロトコル データ ユニット) ガード機能がイネーブルのインターフェイスで、BPDU を受信したことを示します。その結果、インターフェイスは管理上のシャットダウンになりました。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 BPDU を送信しているデバイスを削除するか、BPDU ガード機能をディセーブルにします。BPDU ガード機能は、インターフェイスでローカルに設定することも、PortFast がイネーブルである全ポートでグローバルに設定することもできます。インターフェイスの BPDU ガードをディセーブルにするには、**no spanning-tree bpduguard enable** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。BPDU ガードをグローバルでディセーブルにするには、**no spanning-tree portfast bpduguard default** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。デバイスを削除するか、または BPDU ガードをディセーブルにしたあとで、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力して、インターフェイスを再びイネーブルにします。

エラーメッセージ SPANTREE-2-BLOCK_BPDUGUARD_VP: Received BPDU on port [chars], vlan [dec] with BPDU Guard enabled. Disabling vlan.

説明 このメッセージは、エラー メッセージで指定されたインターフェイスと VLAN で BPDU が受信されたことを示します。スパニングツリー BPUD ガード機能はイネーブルであり、VLAN をシャットダウンするように設定されていました。その結果、VLAN がエラー ディセーブル ステートになりました。[chars] はインターフェイスです。[dec] は VLAN です。

推奨処置 BPDU を送信しているデバイスを削除するか、BPDU ガード機能をディセーブルにします。BPDU ガード機能は、インターフェイスでローカルに設定することも、Port Fast がイネーブルである全ポートでグローバルに設定することもできます。**clear errdisable** イネーブル EXEC コマンドを入力して、インターフェイスと VLAN を再度イネーブルにします。

エラー メッセージ SPANTREE-2-BLOCK_PVID_LOCAL: Blocking [chars] on [chars].
Inconsistent local vlan.

説明 このメッセージは、表示されたスパニングツリー インスタンスおよびインターフェイスと対応付けられたスパニングツリー ポートが、PVID の不整合が解消されるまで、スパニングツリー ブロッキング ステートのままであることを示します。表示されたスパニングツリー インスタンスは、表示されたインターフェイスのネイティブ VLAN ID のインスタンスです。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はスパニングツリー インスタンスです。

推奨処置 ネイティブ VLAN ID の設定が、IEEE 802.1Q トランク接続の両側のインターフェイス間で矛盾していないかどうかを確認します。修正した場合は、スパニングツリーが状況に応じて、インターフェイスのブロックを自動的に解除します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-BLOCK_PVID_PEER: Blocking [chars] on [chars].
Inconsistent peer vlan.

説明 このメッセージは、表示されたスパニングツリー インスタンスおよびインターフェイスと対応付けられたスパニングツリー ポートが、PVID の不整合が解消されるまで、スパニングツリー ブロッキング ステートのままであることを示します。表示されたスパニングツリー インスタンスは、表示されたインターフェイスが接続されたピア スイッチ上のインターフェイスのネイティブ VLAN ID のインスタンスです。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はスパニングツリー インスタンスです。

推奨処置 ネイティブ VLAN ID の設定が、IEEE 802.1Q トランク接続の両側のインターフェイス間で矛盾していないかどうかを確認します。インターフェイスの矛盾が解消されると、スパニングツリーがインターフェイスのブロックを自動的に解除します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-CHNL_MISCFG: Detected loop due to etherchannel
misconfiguration of [chars] [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、チャンネル グループの設定ミスが検出されたことを示します。たとえば、EtherChannel の片側のポートがチャンネルに含まれるように設定されていない、つまりチャンネルとしてバンドルされていないにもかかわらず、反対側ではポートが EtherChannel としてバンドルされている場合などです。最初の [chars] はポートです。次の [chars] は VLAN です。

推奨処置 `show interfaces status err-disabled` イネーブル EXEC コマンドを使用してローカルポートを特定し、さらにリモート デバイス上で `show etherchannel summary` イネーブル EXEC コマンドを使用して、リモート デバイスの EtherChannel 設定を確認します。正しく設定したあとで、対応付けられた 2 つのポート チャンネル インターフェイスでインターフェイス コンフィギュレーション コマンドの `shutdown` を入力し、さらに `no shutdown` を入力します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-LOOPGUARD_BLOCK: Loop guard blocking port [chars] on [chars].

説明 このメッセージは、指定ブリッジから BPDU を受信しなかったため、スパニングツリーメッセージエージングタイマーが期限切れになったことを示します。この状態は単一方向リンク障害が原因で発生することがあるので、ループの生成を防止するために、インターフェイスはブロッキング状態になり、ループガード不整合が指定されます。最初の [chars] はポート名です。次の [chars] は **show spanning-tree** イネーブル EXEC コマンドで表示されるスパニングツリーモードです。

推奨処置 **show spanning-tree inconsistentports** イネーブル EXEC コマンドを入力して、ループガード不整合が指定されているインターフェイスのリストを確認します。表示されたポートに接続されたデバイスが BPDU を送信しない理由を調べます。Spanning-Tree Protocol (STP; スパニングツリープロトコル) が稼動していないというのも、理由の 1 つです。その場合、**spanning-tree guard none** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用するか、またはリンクのリモート側で STP を開始することによって、矛盾するインターフェイスでループガードをディセーブルにする必要があります。

エラー メッセージ SPANTREE-2-LOOPGUARD_CONFIG_CHANGE: Loop guard [chars] on port [chars] on [chars].

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスに対するスパニングツリーループガードの設定が変更されたことを示します。イネーブルの場合、インターフェイスはブロッキング状態になります。指定ブリッジから BPDU を受信しなかったことが原因で、メッセージエージングタイマーが期限切れになった場合は、ループガード不整合が指定されます。この機能は、主に単一方向リンクを検出する目的で使用します。最初の [chars] はループガード状態 (*enable* または *disable*) です。2 番目の [chars] はインターフェイス名です。3 番目の [chars] はスパニングツリーインスタンスです。

推奨処置 これが表示されたインターフェイスに必要な設定かどうかを確認します。予期した設定ではない場合は修正します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-LOOPGUARD_UNBLOCK: Loop guard unblocking port [chars] on [chars].

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスが BPDU を受信したことを示します。単一方向リンク障害が原因で不整合が生じた場合、問題はすでに解消しています。インターフェイスのループガード不整合が解消されると、状況に応じてブロッキング状態ではなくなります。最初の [chars] はポート名です。次の [chars] は **show spanning-tree** イネーブル EXEC コマンドで表示されるスパニングツリーモードです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-2-PVSTSIM_FAIL: Blocking [chars] port [chars]:
Inconsistent [chars] PVST BPDU received on VLAN [dec], claiming root [dec]:[enet]

説明 このメッセージは、Multiple Spanning-Tree (MST) スイッチ上の指定されたポートがブロックされていることを示します。MST スイッチの指定ポートが PVST+ スイッチに接続されている場合、MST スイッチのポートの CIST (MST00) 情報は、すべての PVST+ メッセージの情報より一貫して優位 (ブリッジ ID やパス コストの値が小さいなど) になければなりません。ポートがルートの場合、MST スイッチの CIST (MST00) 情報は、すべての PVST+ メッセージの情報より一貫して下位になければなりません。この制約の違反があると、ブリッジング ループの発生を防止するため、MST スイッチのポートはブロックされます。最初の [chars] は MST スイッチ、2 番目の [chars] はポート、3 番目の [chars] は PVST+ スイッチです。最初の [dec] は VLAN ID、次の [dec] は MST スイッチ、[enet] は MST スイッチの MAC (メディア アクセス制御) アドレスです。

推奨処置 トポロジに新しいスイッチまたはスイッチ ポートが追加されたあとで STP のコンバージェンスが行われる場合、一時的にこの状態が発生することがあります。このような場合、ポートのブロック解除は自動的に行われます。ポートがブロックされたままになる場合、メッセージで報告されたルートブリッジを特定し、MST スイッチのポートの CIST のルールに合わせて VLAN スパニングツリーに適切なプライオリティを設定します。

メッセージに表示されない矛盾が存在することもあります。ポートはすべての矛盾が解消されるまで回復しません。矛盾のある VLAN を判別するには、ポートをいったんディセーブルにしてから再度イネーブルにします。再度このメッセージが表示され、解消すべき矛盾のある VLAN が指定されます。すべての VLAN のすべての矛盾が解消されるまでこの手順を繰り返します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-PVSTSIM_OK: PVST Simulation inconsistency cleared on port [chars].

説明 このメッセージは、指定されたインターフェイスが、CIST ポート情報と矛盾する PVST BPDU アドバタイジング情報を受信しなくなったことを示します。PVST シミュレーションの矛盾が解消され、インターフェイスは通常の動作に戻ります。[chars] はポートです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RECV_1Q_NON_1QTRUNK: Received 802.1Q BPDU on non 802.1Q trunk [chars] [chars].

説明 このメッセージは、Shared Spanning Tree Protocol (SSTP; 共有スパニングツリー プロトコル) BPDU を受信したインターフェイスがトランク モードでありながら、IEEE 802.1Q カプセル化を使用していなかったことを示します。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] は VLAN です。

推奨処置 表示されたインターフェイスの設定と動作状態、さらに接続相手のインターフェイスの設定と動作状態を調べ、同じモード (*access* または *trunk*) かどうかを確認します。モードが *trunk* の場合は、両方のインターフェイスに同じカプセル化 (*ISL* または *IEEE 802.1Q*) が設定されているかどうかを確認します。カプセル化タイプが異なる場合は、**switchport trunk encapsulation** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して一致させます。カプセル化が一致すると、スパニングツリーがインターフェイスのブロックを自動的に解除します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RECV_BAD_TLV: Received SSTP BPDU with bad TLV on [chars] [chars].

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスが、VLAN ID タグのない SSTP BPDU を受信したことを示します。この BPDU は廃棄されました。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] は SSTP BPDU を受信した VLAN です。

推奨処置 このメッセージが繰り返し表示される場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SPANTREE-2-RECV_PVID_ERR: Received BPDU with inconsistent peer vlan id [dec] on [chars] [chars].

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスが、BPDU を受信した VLAN ID と一致しない VLAN ID のタグが付いた SSTP BPDU を受信したことを示します。ネイティブ VLAN の設定が IEEE 802.1Q トランクの両側で一致していないと、この状況が発生します。[dec] は VLAN ID です。最初の [chars] はポートです。次の [chars] は VLAN です。

推奨処置 ネイティブ VLAN ID の設定が、IEEE 802.1Q トランク接続の両側のインターフェイス間で矛盾していないかどうかを確認します。設定が一致すると、スパニングツリーがインターフェイスのブロックを自動的に解除します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-ROOTGUARD_BLOCK: Root guard blocking port [chars] on [chars].

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスで、使用中のものより優位のスパニングツリー ルートブリッジ (ブリッジ ID が小さい、パス コストが小さいなど) をアドバタイズする BPDU を受信したことを示します。最適でないスパニングツリー トポロジが形成されないようにするために、インターフェイスはブロッキング ステートになり、*root-guard inconsistent* (ルートガード不整合) が指定されます。最初の [chars] はポート名です。次の [chars] は **show spanning-tree** イネーブル EXEC コマンドの出力に表示されるスパニングツリー モードです。

推奨処置 **show spanning-tree inconsistentports** イネーブル EXEC コマンドを入力して、ルートガード不整合が指定されているインターフェイスのリストを確認します。表示されたポートに接続されたデバイスが優位ルートブリッジを示した BPDU を送信している理由を特定し、その状況が繰り返されないようにします。不正確な BPDU が停止されると、インターフェイスが自動的に回復し、通常の動作が再開されます。そのインターフェイスでルート ガードをイネーブルにすることが妥当かどうかを確認します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-ROOTGUARD_CONFIG_CHANGE: Root guard [chars] on port [chars] on [chars].

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスに対するスパニングツリールートガードの設定が変更されたことを示します。イネーブルの場合、使用中のものより優位のスパニングツリールートブリッジ（ブリッジ ID が小さい、パス コストが小さいなど）をアドバタイズする BPDU をこのインターフェイスで受信すると、インターフェイスはブロッキング ステートになり、*root-guard inconsistent*（ルート ガード不整合）が指定されます。最初の [chars] はルートガードステート（*enable* または *disable*）です。2 番目の [chars] はインターフェイスです。3 番目の [chars] はスパニングツリー インスタンスです。

推奨処置 これが表示されたインターフェイスに必要な設定かどうかを確認します。予期した設定ではない場合は修正します。

エラー メッセージ SPANTREE-2-ROOTGUARD_UNBLOCK: Root guard unblocking port [chars] on [chars].

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスが、優位ルートブリッジ（ブリッジ ID が小さい、パス コストが小さいなど）をアドバタイズする BPDU を受信しなくなったことを示します。インターフェイスのルートガード不整合が解消され、インターフェイスはブロッキングステートではなくなりました。最初の [chars] はポート名です。次の [chars] は **show spanning-tree** イネーブル EXEC コマンドで表示されるスパニングツリー モードです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-2-UNBLOCK_CONSIST_PORT: Unblocking [chars] on [chars]. Port consistency restored.

説明 このメッセージは、PVID またはポート タイプの不整合が解消されたので、スパニングツリーが、表示されたスパニングツリー インスタンスに関して、表示されたインターフェイスのブロックを解除することを示します。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はスパニングツリー インスタンスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-3-BAD_PORTNUM_SIZE: Rejected an attempt to set the port number field size to [dec] bits (valid range is [dec] to [dec] bits).

説明 このメッセージは、プラットフォーム固有のコードでエラーが発生し、多すぎる、または少なすぎるビットが要求されたことを示します。スパニングツリー ポートの識別情報は、16 ビットフィールドです。ポート プライオリティとポート番号で均等にそれぞれ 8 ビットのサブフィールドを使用します。したがって、ポート番号フィールドで 1 ~ 255 のポート番号を表すことができます。ただし、ポート数が 255 を超えるシステムの場合は、ポート ID のポート番号部分のサイズを拡大し、ポート数をサポートできるようにする必要があります。個々のプラットフォームの最大ポート数は不変なので、システムの初期化時に、スパニングツリー サブシステムがこれを実行します。このエラーは、プラットフォーム固有のコードでエラーが発生し、これによって多すぎるか少なすぎるビットが要求されたことが原因です。最初の [dec] は、ポート番号のビット数です。2 番めおよび 3 番目の [dec] は、有効な範囲です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SPANTREE-3-PORT_SELF_LOOPED: [chars] disabled.- received BPDU src mac ([enet]) same as that of interface.

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスで、その表示されたインターフェイスに割り当てられたアドレスと同じ送信元 MAC アドレスを持つ BPDU を受信したことを示します。診断ケーブルを取り付けたことなどによって、ポートがそのポートにループバックしている可能性があります。インターフェイスは管理上のシャットダウンになります。[chars] は BPDU を受信したインターフェイスです。[enet] は送信元 MAC アドレスです。

推奨処置 インターフェイスの設定を確認し、インターフェイスに接続されているケーブルをテストします。問題が解決してから、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを入力して、インターフェイスを再びイネーブルにします。

エラー メッセージ SPANTREE-3-PRESTD_NEIGH: pre-standard MST interaction not configured ([chars]).

説明 このメッセージは、スイッチが、先行標準 MST BPDU を送信するように設定されていないインターフェイス上で、先行標準 MST BPDU を受信したことを示します。スイッチはインターフェイス上の設定を自動的に調整し、先行標準 BPDU の送信を開始します。ただし、スイッチは先行標準のネイバをすべて検知するわけではありません。**spanning-tree mst pre-standard** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用して、インターフェイスが先行標準 MST BPDU を送信するよう設定することを推奨します。この警告メッセージは 1 回のみ表示されます。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 シスコの先行標準 MST バージョンを実行しているその他のスイッチに接続しているすべてのインターフェイスに対し、**spanning-tree mst pre-standard** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。ネットワーク内のすべてのスイッチを IEEE MST バージョンに移行することを推奨します。

エラー メッセージ SPANTREE-4-PORT_NOT_FORWARDING: [chars] [chars] [chars] [chars].

説明 このメッセージは、port-not-forwarding アラームが設定または消去されたことを示します。最初の [chars] はモードです。次の [chars] は重大度です。3 番めの [chars] はインターフェイス名、4 番めの [chars] はアラーム文字列です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SPANTREE-5-EXTENDED_SYSID: Extended SysId [chars] for type [chars].

説明 このメッセージは、表示されたタイプのスパニングツリーに対して、拡張システム ID 機能がイネーブルまたはディセーブルになっていることを示します。イネーブルの場合、スパニングツリー インスタンス ID はブリッジ ID プライオリティ フィールドの下位部分に格納されます。ブリッジ プライオリティとして指定できる値の範囲は 0 ～ 61440 で、増分単位は 4096 です。ディセーブルの場合、ブリッジ ID プライオリティ フィールドは、設定されたプライオリティだけで形成されますが、表示されたプラットフォームでは、一部のスパニングツリー機能（4096 の VLAN サポートなど）を利用できない場合があります。プラットフォームによっては、この機能は必須です。最初の [chars] は拡張システム ID ステート (*enable* または *disable*) です。2 番めの [chars] はスパニングツリー インスタンスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-5-ROOTCHANGE: Root Changed for [chars] [dec]: New Root Port is [chars]. New Root Mac Address is [enet].

説明 このメッセージは、スパニングツリー インスタンスに対してルート スイッチが変更されたことを示します。最初の [chars] および [dec] は前のルート ポートのインターフェイス ID、次の [chars] は新しいルート ポートのインターフェイス ID、[enet] は新しいルート ポートのイーサネット アドレスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-5-TOPOTRAP: Topology Change Trap for [chars] [dec].

説明 このメッセージは、ネットワークでトポロジが変更されたため、トラップが生成されたことを示します。[chars] および [dec] はインターフェイス ID です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-6-PORTADD_ALL_VLANS: [chars] added to all Vlans

説明 このメッセージは、インターフェイスがすべての VLAN に追加されたことを示します。[chars] は追加されるインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-6-PORTDEL_ALL_VLANS: [chars] deleted from all Vlans

説明 このメッセージは、すべての VLAN からインターフェイスが削除されたことを示します。[chars] は削除されるインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-6-PORT_STATE: Port [chars] instance [dec] moving from [chars] to [chars].

説明 このメッセージは、ポート ステートが変化したことを示します。最初の [chars] はインターフェイス名です。[dec] はスパンニングツリー インスタンスの ID です。2 番目の [chars] は古いステート (listening、learning、forwarding など)、3 番目の [chars] は新しいステートです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-7-BLOCK_PORT_TYPE: Blocking [chars] on [chars]. Inconsistent port type.

説明 このメッセージは、ポート タイプの不整合が解消されるまで、表示されたインターフェイスはスパンニングツリー ブロッキング ステートのままであることを示します。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はスパンニングツリー インスタンスです。

推奨処置 表示されたインターフェイスの設定と動作状態、さらに接続相手のインターフェイスの設定と動作状態を調べ、同じモード (*access* または *trunk*) かどうかを確認します。モードが *trunk* の場合は、両方のインターフェイスに同じカプセル化 (*ISL* または *IEEE 802.1Q*) が設定されているかどうかを確認します。これらのパラメータが一致すると、スパンニングツリーがインターフェイスのブロックを自動的に解除します。

エラー メッセージ SPANTREE-7-PORTDEL_SUCCESS: [chars] deleted from Vlan [dec].

説明 このメッセージは、VLAN からインターフェイスが削除されたことを示します。[chars] はインターフェイスです。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SPANTREE-7-RECV_1Q_NON_TRUNK: Received 802.1Q BPDU on non trunk [chars] [chars].

説明 このメッセージは、表示されたインターフェイスが、動作可能なトランキング インターフェイスではない STP BPDU を受信したことを示します。最初の [chars] はポート名です。次の [chars] は VLAN 名です。

推奨処置 表示されたインターフェイスの設定と動作状態、さらに接続相手のインターフェイスの設定と動作状態を調べ、同じモード (*access* または *trunk*) かどうかを確認します。モードが *trunk* の場合は、両方のインターフェイスに同じカプセル化 (*none*、*ISL*、または *IEEE 802.1Q*) が設定されているかどうかを確認します。これらのパラメータが一致すると、スパンニングツリーがインターフェイスのブロックを自動的に解除します。

SPANTREE_FAST メッセージ

ここでは、スパニングツリー高速コンバージェンスのメッセージについて説明します。

エラー メッセージ SPANTREE_FAST-7-PORT_FWD_UPLINK: [chars] [chars] moved to Forwarding (UplinkFast).

説明 このメッセージは、表示されたスパニングツリー インスタンスに関して、表示されたインターフェイスがルート スイッチへの新しいパスとして選択されたことを示します。最初の [chars] はスパニングツリー インスタンスです。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

SPANTREE_VLAN_SW メッセージ

ここでは、VLAN（仮想 LAN）単位スパニングツリー固有のメッセージについて説明します。

エラー メッセージ SPANTREE_VLAN_SW-2-MAX_INSTANCE: Platform limit of [dec] STP instances exceeded. No instance created for [chars] (port [chars]).

説明 このメッセージは、現在アクティブな VLAN スパニングツリー インスタンスの数がプラットフォーム固有の限度に達したことを示します。既存のインスタンス数がプラットフォームの限度を下回るまで、VLAN インスタンスの追加作成は行われません。[dec] は、スパニングツリー インスタンスの限度数です。最初の [chars] は、スパニングツリー インスタンスを作成しなかった VLAN の最小 VLAN ID です。次の [chars] は、ポート番号です。

推奨処置 現在アクティブなスパニングツリー インスタンスをいくつかディセーブルにする、またはそれらのインスタンスに対応する VLAN を削除することによって、現在アクティブなスパニングツリー インスタンスの数を減らします。インスタンス数の制約で作成できなかったスパニングツリーは、手動でディセーブルにする必要があります。

STACKMGR メッセージ

ここでは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチのスタック マネージャのシステム メッセージについて説明します。これらのメッセージは、スタック内のスイッチの状態に関連しています。

エラー メッセージ STACKMGR-3-HDM_GET_DEVICE_RECORD_FAIL: Device Manager could not get device record.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、このスイッチが、スタック内の一部または全部のスイッチのデバイスレコードを取得できなかったことを示します。

推奨処置 `show tech-support` イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ STACKMGR-3-MSG_FAIL: Failed to retrieve stack message from port-asic [dec] in direction [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタック マネージャ モジュールがスタック メッセージを取得しなかったことを示します。最初の [dec] は ASIC ID です。次の [dec] は方向です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ STACKMGR-3-NORECORD: Switch removed event for switch [dec] with no switch record.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタック マネージャがスイッチ削除イベントを受信しましたが、対応するスイッチ レコードがないことを示します。[dec] はスイッチ番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ STACKMGR-4-MASTER_ELECTED: Switch [dec] has been elected as MASTER of the stack.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定されたスイッチがスタック マスターとして選択されたことを示します。[dec] は選定されたスタック マスターのスイッチ番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ STACKMGR-4-STACK_LINK_CHANGE: Stack Port [chars] Switch [dec] has changed to state [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定されたスタック ポートのステータスが、アップまたはダウンに変更されたことを示します。最初の [chars] はスタック ポート (1 または 2) です。[dec] はスイッチ番号です。2 番目の [chars] は新しいステート (up または down) です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ STACKMGR-4-SWITCH_ADDED: Switch [dec] has been ADDED to the stack.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定されたスタック メンバー スイッチがスタックに追加されたことを示します。[dec] はスイッチ番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ STACKMGR-4-SWITCH_ADDED_SDM: Switch [dec] has been ADDED to the stack (SDM_MISMATCH).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定されたスイッチがスタックに追加されたことを示します。[dec] はスイッチ番号です。SDM_MISMATCH は、追加されたスイッチが、スタック マスターの使用している Switch Database Management (SDM) テンプレートをサポートできないことを意味します。あとに続く SDM-6-MISMATCH_ADVISE メッセージに、不一致の説明と推奨する対処方法が示されます。

推奨処置 SDM_MISMATCH が表示された場合を除き、対処不要です。SDM_MISMATCH の場合の対処方法については、SDM-6-MISMATCH_ADVISE を参照してください。

エラーメッセージ STACKMGR-4-SWITCH_ADDED_VM: Switch [dec] has been ADDED to the stack (VERSION_MISMATCH).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタックに追加されたスイッチのソフトウェアバージョンが異なることを示します。[dec] はスイッチ番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ STACKMGR-4-SWITCH_REMOVED: Switch [dec] has been REMOVED from the stack.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定されたスイッチがスタックから削除されたことを示します。[dec] はスイッチ番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ STACKMGR-5-MASTER_READY: Master Switch [dec] is READY.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スタック マスターが使用可能であることを示します。[dec] はスタック マスター スイッチ番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ STACKMGR-5-SWITCH_READY: Switch [dec] is READY.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、2975、および 2960-S スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが使用可能であることを示します。[dec] はスイッチ番号です。

推奨処置 対処不要です。

STORM_CONTROL メッセージ

ここでは、ストーム制御メッセージについて説明します。

エラーメッセージ STORM_CONTROL-3-FILTERED: A [chars] storm detected on [chars]. A packet filter action has been applied on the interface.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、インターフェイスで検出されたトラフィックの合計が、設定されたしきい値を超えたことを示します。システムは、過剰なトラフィックをフィルタリングしています。最初の [chars] はトラフィックの種類です。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 インターフェイスのトラフィックが多くなりすぎた原因を調べて、対策を取ります。

エラー メッセージ STORM_CONTROL-3-SHUTDOWN: A packet storm was detected on [chars].
The interface has been disabled.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、インターフェイスで検出されたトラフィックの合計が、設定されたしきい値を超えたことを示します。パケットストーム イベントが検出されるとインターフェイスがシャットダウンするように設定されているので、インターフェイスはエラー ディセーブル ステートになっています。[chars] は影響を受けるインターフェイスです。

推奨処置 `errdisable recovery` グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用してエラー ディセーブルの回復をイネーブルにし、インターフェイスを自動的に再びイネーブルにすることができます。インターフェイスのトラフィックが多くなりすぎた原因を調べて、対策を取ります。

SUPERVISOR メッセージ

ここでは、スーパーバイザ ASIC のメッセージについて説明します。この ASIC は、CPU およびスイッチの送受信ポートを制御します。

エラー メッセージ SUPERVISOR-3-FATAL: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スーパーバイザ ASIC で内部エラーが発生したことを示します。[chars] はエラー メッセージの詳細です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

SUPQ メッセージ

ここでは、スーパーバイザ キューのメッセージについて説明します。これらのメッセージは、CPU の送受信キューに関連します。

エラー メッセージ SUPQ-3-THROTTLE_CPU_QUEUE: Invalid application ID [dec] used for throttling.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、アプリケーションが、スロットル チェック用に無効なアプリケーション ID を渡したことを示します。[dec] は内部アプリケーション ID です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SUPQ-4-CPUHB_RECV_STARVE: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、CPU 宛でのメッセージで遅延が発生していることが検出されたことを示します。[chars] はエラー メッセージの詳細です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SUPQ-4-CPUHB_SLOW_TRANSMIT: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、送信インターフェイスの速度低下に関する警告が発生していることを示します。[chars] はエラー メッセージの詳細です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SUPQ-4-CPUHB_TX_FAIL: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、送信インターフェイスでハートビートメッセージが廃棄されていることに関する警告が発生していることを示します。[chars] はエラー メッセージの詳細です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SUPQ-4-PORT_QUEUE_STUCK: Port queue Stuck for ASIC [dec] port [dec] queue [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、インターフェイス キューが適切な時間内に消去されていないことが検出されたことを示します。最初の [dec] は ASIC です。2 番めの [dec] はインターフェイスです。3 番めの [dec] はキュー番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ SUPQ-4-RECV_QUEUE_STUCK: Receive queue Stuck for asic [dec] queue [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、受信キューが適切な時間内に消去されていないことが検出されたことを示します。最初の [dec] は ASIC です。次の [dec] はキュー番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

SW_DAI メッセージ

ここでは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチの Dynamic ARP Inspection (DAI) メッセージについて説明します。

エラーメッセージ SW_DAI-4-ACL_DENY: [dec] Invalid ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec]. ([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが、ARP 検査によって無効と見なされた ARP パケットを受信したことを示します。パケットにエラーが含まれています。このようなパケットがあるということは、管理上拒否されたパケットがネットワーク内にあるということです。このログ メッセージが表示されるのは、パケットが ACL によって（スタティックな ACL 設定で）明示的または暗黙的に拒否された場合です。これらのパケットは、ネットワークで man-in-the-middle 攻撃が行われようとしたことを示します。最初の [dec] は無効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req（要求）または Res（応答）のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_DAI-4-DHCP_SNOOPING_DENY: [dec] Invalid ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec]. ([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが、ARP 検査によって無効と見なされた ARP パケットを受信したことを示します。パケットにエラーが含まれています。このようなパケットがあるということは、ネットワークで man-in-the-middle 攻撃が行われようとしたことを示します。このログメッセージが表示されるのは、受信した VLAN に関して、送信側の IP および MAC アドレス バインディングが DHCP スヌーピング データベース内に存在しない場合です。最初の [dec] は無効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求) または Res (応答) のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_DAI-6-DHCP_SNOOPING_PERMIT: [dec] ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec]. ([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、送信元の IP アドレスおよび MAC アドレスが受信側 VLAN の DHCP スヌーピング データベースと一致したため、許可された ARP パケットをスイッチが受信したことを示します。最初の [dec] は有効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求) または Res (応答) のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_DAI-4-INVALID_ARP: [dec] Invalid ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec]. ([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが、ARP 検査によって無効と見なされた ARP パケットを受信したことを示します。パケットは、送信元または宛先の MAC アドレスあるいは IP アドレスの確認検査に 1 回以上失敗しています。最初の [dec] は無効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求)、Res (応答)、または Invalid Opcode のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_DAI-4-PACKET_BURST_RATE_EXCEEDED: [dec] packets received in [dec] seconds on [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが、指定されたバースト間隔で一定数の ARP パケットを受信したことを示します。設定されたバースト間隔中に毎秒あたり設定されたパケット レートを超えるレートでパケットが受信された場合、インターフェイスはエラー ディセーブル ステートになります。このメッセージは、インターフェイスがエラー ディセーブル ステートになる直前、および設定されたバースト間隔が 1 秒よりも長い場合に記録されます。最初の [dec] はパケット数です。次の [dec] は秒数です。[chars] は影響を受けたインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_DAI-4-PACKET_RATE_EXCEEDED: [dec] packets received in [dec] milliseconds on [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが、指定された期間内にインターフェイスで一定数の ARP パケットを受信したことを示します。このメッセージは、パケット レートを超過したことが原因でポートがエラー ディセーブル ステートになる直前、およびバースト間隔が 1 秒に設定されている場合に記録されます。最初の [dec] はパケット数です。次の [dec] はミリ秒数です。[chars] は影響を受けたインターフェイスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_DAI-4-SPECIAL_LOG_ENTRY: [dec] Invalid ARP packets [[time-of-day]].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが、ARP 検査によって無効と見なされた ARP パケットを受信したことを示します。パケットにエラーが含まれています。このようなパケットがあるということは、ネットワークで man-in-the-middle 攻撃が行われようとしたことを示します。このメッセージは他の SW_DAI メッセージと異なり、着信パケットのレートが DAI ロギング レートを超えた場合にすべてのメッセージをキャプチャします。[dec] は無効な ARP パケット数です。[time-of-day] は時刻です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ SW_DAI-6-ACL_PERMIT: [dec] ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec]. ([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが、ACL が一致したために許可された ARP パケットを受信したことを示します。最初の [dec] は有効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求) または Res (応答) のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ SW_DAI-6-DHCP_SNOOPING_PERMIT: [dec] ARPs ([chars]) on [chars], vlan [dec]. ([enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day]).



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、送信元の IP アドレスおよび MAC アドレスが受信側 VLAN の DHCP スヌーピングデータベースと一致したため、許可された ARP パケットをスイッチが受信したことを示します。最初の [dec] は有効な ARP パケット数です。最初の [chars] は Req (要求) または Res (応答) のいずれかです。次の [chars] は入力インターフェイスの短い名前です。2 番目の [dec] は入力 VLAN ID です。[enet]/[chars]/[enet]/[chars]/[time-of-day] は送信側の MAC アドレス、送信側の IP アドレス、ターゲットの MAC アドレス、ターゲットの IP アドレス、および時刻です。

推奨処置 対処不要です。

SW_MACAUTH メッセージ

ここでは、MAC アドレス認証メッセージについて説明します。

エラーメッセージ SW_MACAUTH-4-UNAUTH_MAC: Unauthenticated MAC [enet] on port [chars]

説明 このメッセージは、スイッチが指定されたポートで、認証されていない MAC アドレスを受信したことを示します。[enet] は認証されていない MAC アドレスです。[chars] はポートです。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ SW_MACAUTH-5-CLEAR_TABLE: MAC Authentication Table Cleared

説明 このメッセージは、MAC 認証テーブルがクリアされたことを示します。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_MACAUTH-5-MACAUTH_ENADSA: MAC Authentication [chars]

説明 このメッセージは、MAC 認証がイネーブルまたはディセーブルであることを示します。
[chars] は MAC 認証ステータスで、**enabled** または **disabled** です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_MACAUTH-5-MAC_AUTHENTICATED: MAC [enet] was authenticated

説明 このメッセージは、スイッチが、MAC アドレスを認証するコマンドを受信したことを示します。
[enet] は MAC アドレスです。

推奨処置 対処不要です。

SW_MATM メッセージ

ここでは、MAC アドレス テーブル マネージャのメッセージについて説明します。

エラー メッセージ SW_MATM-4-MACFLAP_NOTIF: Host [enet] in [chars] [dec] is flapping between port [chars] and port [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが、指定ホストからのトラフィックが指定ポート間でフラッピングしていることを検出したことを示します。
[enet] はホスト MAC アドレスです。
[chars] [dec] はスイッチ ID です。最初と 2 番めの [chars] はホスト トラフィックのフラッピングが発生している両端のポートです。

推奨処置 データフォワーディング ループの原因となる設定の誤りがないかどうかネットワーク スイッチを確認してください。

SW_VLAN メッセージ

ここでは、VLAN (仮想 LAN) マネージャのメッセージについて説明します。VLAN マネージャは VTP から情報を受け取り、ポート マネージャを介してすべてのインターフェイス上で VLAN メンバシップをイネーブルにします。

エラー メッセージ SW_VLAN-3-MALLOC_FAIL: Failed to allocate [dec] bytes

説明 このメッセージは、メモリの割り当てに失敗したことを示します。
[dec] はバイト数です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-3-VLAN_DAT_CACHE_SEQUENCE: Out of sequence vlan.dat sync message. Expected: [dec]; received: [dec].

説明 このメッセージは、vlan.dat ファイルが、ACTIVE からの 1 つまたは複数のチェックポイントメッセージを介して STANDBY に同期されていることを示します。チェックポイントメッセージのそれぞれのシーケンス番号は 1 から始まっています。これらのメッセージは end-of-set を受信するまで STANDBY にキャッシュされます。STANDBY が予期せぬシーケンス番号のチェックポイントメッセージを受信しました。最初の [dec] は予期されたチェックポイントメッセージシーケンス番号です。次の [dec] は受信したチェックポイントメッセージシーケンス番号です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-3-VLAN_PM_NOTIFICATION_FAILURE: VLAN Manager synchronization failure with Port Manager over [chars].

説明 このメッセージは、VLAN マネージャが、使用できるプール スペースが不足していたので、ポート マネージャから送られた通知を廃棄したことを示します。[chars] はポート マネージャの通知のタイプです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-3-VTP_PROTOCOL_ERROR: VTP protocol code internal error [chars].

説明 このメッセージは、設定要求、パケット、またはタイマー期限切れの処理時に、VTP コードで予想外のエラーが発生したことを示します。[chars] は内部エラーです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ SW_VLAN-4-BAD_PM_VLAN_COOKIE_RETURNED: VLAN manager unexpectedly received a bad PM VLAN cookie from the Port Manager, VLAN indicated [dec].

説明 このメッセージは、VLAN マネージャが、ポート マネージャからアップコールおよび VLAN クッキーを受信し、不良 VLAN ID に変換したことを示します。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ SW_VLAN-4-BAD_STARTUP_VLAN_CONFIG_FILE: Failed to configure VLAN from startup-config. Fallback to use VLAN configuration file from non-volatile memory.

説明 このメッセージは、VLAN ソフトウェアが、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルに指定されている VLAN 設定を使用しなかったことを示します。不揮発性 RAM (NVRAM) に保存されているバイナリの VLAN コンフィギュレーション ファイルを使用することになります。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ SW_VLAN-4-BAD_VLAN_CONFIGURATION_FILE: VLAN configuration file contained incorrect verification word [hex].

説明 このメッセージは、VLAN マネージャが読み込んだ VLAN コンフィギュレーション ファイルが、有効な値から始まっていないことを示します。VLAN コンフィギュレーション ファイルは無効なので、拒否されました。[hex] は無効な確認値です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ SW_VLAN-4-BAD_VLAN_CONFIGURATION_FILE_VERSION: VLAN configuration file contained unknown file version [dec].

説明 このメッセージは、VLAN マネージャが読み込んだ VLAN コンフィギュレーション ファイルに、認識できないファイルバージョン番号が指定されており、旧バージョンの VLAN マネージャソフトウェアに戻そうとしている可能性があることを示します。[dec] はファイルのバージョン番号です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ SW_VLAN-4-BAD_VLAN_TIMER_ACTIVE_VALUE: Encountered incorrect VLAN timer active value [chars].

説明 このメッセージは、ソフトウェア エラーが原因で、VLAN タイマーが非アクティブであるべきときにアクティブであると検出されたか、アクティブであるべきときに非アクティブであると検出されたことを示します。[chars] は VLAN タイマーのアクティブ値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ SW_VLAN-4-EXT_VLAN_CREATE_FAIL: Failed to create VLANs [chars]: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3550 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、ソフトウェアが VLAN を作成しなかったことを示します。最初の [chars] はレイヤ 2 VLAN リスト、2 番めの [chars] は失敗の理由です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラーメッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ SW_VLAN-4-EXT_VLAN_INTERNAL_ERROR: Extended VLAN manager received an internal error [dec] from [chars] [chars].

説明 このメッセージは、VLAN マネージャが、拡張範囲 VLAN コンフィギュレーション ソフトウェアから、予期せぬエラー コードを受信したことを示します。[dec] はエラー コードです。最初の [chars] は機能です。次の [chars] はエラー コードです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ SW_VLAN-4-EXT_VLAN_INVALID_DATABASE_DATA: Extended VLAN manager received bad data of type [chars] value [dec] from function [chars].

説明 このメッセージは、拡張範囲 VLAN マネージャが、拡張範囲 VLAN コンフィギュレーション データベース ルーチンから無効なデータを受信したことを示します。最初の [chars] はデータ タイプです。[dec] は受信した番号です。2 番めの [chars] は機能名です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラーメッセージ SW_VLAN-4-IFS_FAILURE: VLAN manager encountered file operation error call = [chars] / file = [chars] / code = [dec] ([chars]) / bytes transferred = [dec].

説明 このメッセージは、VLAN データベースの読み込み時に、Cisco IOS file system (IFS) コールから VLAN マネージャに、予期せぬエラーが返されたことを示します。最初の [chars] はファンクション コール名で、2 番めの [chars] はファイル名です。最初の [dec] はエラー コードで、3 番めの [chars] はエラー コードの説明です。また、2 番めの [dec] は転送バイト数です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-NO_PM_COOKIE_RETURNED: VLAN manager unexpectedly received a null [chars] type cookie from the Port Manager, data reference [chars].

説明 このメッセージは、VLAN マネージャがポート マネージャにリファレンス クッキーを問い合わせましたが、代わりにヌル ポインタが返されたことを示します。最初の [chars] はポート マネージャのクッキーのタイプです。次の [chars] は問題の原因になったインターフェイスまたは VLAN です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-STARTUP_EXT_VLAN_CONFIG_FILE_FAILED: Failed to configure extended range VLAN from startup-config. Error [chars].

説明 このメッセージは、VLAN ソフトウェアが、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルに指定されている拡張範囲 VLAN 設定を使用しなかったことを示します。システムの起動後、すべての拡張範囲 VLAN 設定が失われます。[chars] はエラー コードの説明です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VLAN_CREATE_FAIL: Failed to create VLANs [chars]: [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定された VLAN を作成できなかったことを示します。VLAN がすでに内部 VLAN として存在しているため、ポート マネージャが VLAN 作成要求を完了しなかった可能性があります。最初の [chars] は VLAN ID です。次の [chars] はエラーです。

推奨処置 **show vlan internal usage** コマンドを使用して内部 VLAN 使用状況を確認し、内部 VLAN を使用している機能を再設定して VLAN を再度作成します。このメッセージが再度表示される場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに、メッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。**show tech-support** コマンドを使用して、エラーの識別に役立つデータを収集してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VTP_INTERNAL_ERROR: VLAN manager received an internal error [dec] from vtp function [chars] [chars].

説明 このメッセージは、VLAN マネージャが VTP コンフィギュレーション ソフトウェアから、予期せぬエラー コードを受け取ったことを示します。[dec] はエラー コードです。最初の [chars] は VTP 機能です。2 番目の [chars] はエラー コードの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VTP_INVALID_DATABASE_DATA: VLAN manager received bad data of type [chars] value [dec] from vtp database function [chars].

説明 このメッセージは、VLAN マネージャが、VTP コンフィギュレーション データベース ルーチンから無効なデータを受信したことを示します。最初の [chars] はデータ タイプです。[dec] は受信した不適切な値です。2 番目の [chars] は VTP データベース機能です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VTP_INVALID_EVENT_DATA: VLAN manager received bad data of type [chars] value [dec] while being called to handle a [chars] event.

説明 このメッセージは、VLAN マネージャが、VTP コンフィギュレーション ソフトウェアから無効なデータを受信したことを示します。最初の [chars] はデータ タイプです。[dec] はそのデータの値です。2 番目の [chars] は VTP イベントです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VTP_SEM_BUSY: VTP semaphore is unavailable for function [chars]. Semaphore locked by [chars].

説明 このメッセージは、VTP データベースが使用できないことを示します。VTP データベースにはあとでアクセスしてください。最初の [chars] は設定する機能名で、次の [chars] は VTP データベースを使用している機能名です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-4-VTP_USER_NOTIFICATION: VTP protocol user notification: [chars].

説明 このメッセージは、VTP コードが異常な診断状況になったことを示します。[chars] は状況の記述です。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ SW_VLAN-6-VTP_DOMAIN_NAME_CHG: VTP domain name changed to [chars].

説明 このメッセージは、VLAN トランッキング プロトコル (VTP) ドメイン名が、設定によってメッセージで指定された名前に変更されたことを示します。[chars] は変更されたドメイン名です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_VLAN-6-OLD_CONFIG_FILE_READ: Old version [dec] VLAN configuration file detected and read OK. Version [dec] files will be written in the future.

説明 このメッセージは、VLAN ソフトウェアが、古いバージョンの VLAN コンフィギュレーション ファイル形式を検出したことを示します。ファイルは解釈されましたが、今後は新しい形式を使用してファイルが作成されます。最初の [dec] は古いバージョン番号です。次の [dec] は新しいバージョン番号です。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SW_VLAN-6-VLAN_DAT_CACHE_EXISTS: Unexpected vlan.dat cache exists. Removing the cache and continuing the sync with new set.

説明 このメッセージは、スイッチの機能に影響を与えません。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ SW_VLAN-6-VTP_DOMAIN_NAME_CHG: VTP domain name changed to [chars].

説明 このメッセージは、VTP ドメイン名が、設定によってメッセージで指定された名前に変更されたことを示します。[chars] は変更されたドメイン名です。

推奨処置 対処不要です。

エラーメッセージ SW_VLAN-6-VTP_MODE_CHANGE: VLAN manager changing device mode from [chars] to [chars].

説明 このメッセージは、設定数より多い VLAN が指定されている VLAN コンフィギュレーションデータベース メッセージを受信したときに、デバイスの VTP モードが自動的に変更されたことを示します。最初の [chars] は以前のモードです。次の [chars] は現在のモードです。

推奨処置 対処不要です。

SWITCH_QOS_TB メッセージ

ここでは、QoS の信頼境界メッセージについて説明します。

エラーメッセージ SWITCH_QOS_TB-5-TRUST_DEVICE_DETECTED: [chars] detected on port [chars], port's configured trust state is now operational.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、信頼境界が、信頼できるポートのデバイス設定と一致するデバイスを検出して、ポートの信頼状態を変更したことを示します。最初の [chars] は信頼できるデバイスです。次の [chars] はポートです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ SWITCH_QOS_TB-5-TRUST_DEVICE_LOST: [chars] no longer detected on port [chars], operational port trust state is now untrusted.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、信頼境界が信頼できるデバイスとの通信を失い、ポートの信頼状態が untrusted に設定されたことを示します。最初の [chars] は信頼できるデバイスです。次の [chars] はポートです。

推奨処置 対処不要です。

TCAMMGR メッセージ

ここでは、Ternary Content Addressable Memory マネージャ (TCAMMGR) のメッセージについて説明します。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-GROW_ERROR: cam region [dec] can not grow.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、指定の Content-Addressable Memory (CAM; 連想メモリ) 領域が、エントリ数の決まった静的領域として設定されていますが、呼び出し側が CAM エントリの追加を要求したことを示します。[dec] は CAM 領域です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-HANDLE_ERROR: cam handle [hex] is invalid.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、呼び出し側が使用している CAM ハンドルが有効ではないことを示します。[hex] はハンドル値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプットインタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-INDEX_ERROR: cam value/mask index [dec] is invalid.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、呼び出し側が使用している CAM インデックスが有効ではないことを示します。[dec] はインデックス値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-MOVE_ERROR: cam entry move from index [int] to index [int] failed.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、あるインデックスから別のインデックスへ CAM エントリを移動できなかったことを示します。[int] はインデックス値です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-REGION_ERROR: cam region [dec] is invalid.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、CAM 領域が有効ではないことを示します。[dec] は領域です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ TCAMMGR-3-REGMASK_ERROR: invalid cam region [dec] mask [dec] pair.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、呼び出し側が無効なマスクのエントリを領域に組み込もうとしたことを示します。領域で使用できるのは、前もって決められた 1 組のマスクだけです。最初の [dec] は領域です。次の [dec] はマスクです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

UDLD メッセージ

ここでは、単一方向リンク検出 (UDLD) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ UDLD-0-STOPPED:UDLD process stopped:[chars].

説明 このメッセージは、UDLD プロセスが、UDLD が使用中の固有システム識別情報を読み込めないために停止したことを示します。システム識別情報は、UDLD パケットを送信しているデバイスを確認するために使用されます。[chars] は UDLD プロセス名です。

推奨処置 **reload** イネーブル EXEC コマンドを使用して、スイッチをリロードします。この問題が解消されない場合は、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりにメッセージをコピーします。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。**show tech-support** ユーザ EXEC コマンドを使用して、エラーの識別に役立つデータをまとめてください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UDLD-3-UDLD_IDB_ERROR: UDLD error handling [chars] interface [chars].

説明 このメッセージは、指定されたインターフェイスに関連する UDLD 処理で、ソフトウェアエラーが発生したことを示します。最初の [chars] はイベントです。次の [chars] はインターフェイスです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンラインツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UDLD-3-UDLD_INTERNAL_ERROR: UDLD internal error [chars].

説明 このメッセージは、UDLD 処理中にソフトウェア チェックに失敗したことを示します。[chars] は内部エラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UDLD-3-UDLD_INTERNAL_IF_ERROR: UDLD internal error, interface [chars] [chars].

説明 このメッセージは、UDLD 処理中にソフトウェア チェックに失敗したことを示します。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] はエラーの説明です。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UDLD-4-UDLD_PORT_DISABLED: UDLD disabled interface [chars], [chars] detected.

説明 このメッセージは、ネイバ間で一方向だけの接続が検出されたので、UDLD プロトコルがインターフェイスをディセーブルにしたことを示します。スパニングツリー ループまたは接続の干渉を引き起こす可能性があります。不良ポート、不良ケーブル、または誤った構成のケーブルなど、ハードウェア関連の原因が考えられます。最初の [chars] はインターフェイスです。次の [chars] は検出されたエラーです。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UDLD-6-UDLD_PORT_RESET: UDLD reset interface [chars].

説明 このメッセージは、UDLD プロトコルがネイバ間の単一方向接続を検出したことを示します。**udld reset** イネーブル EXEC コマンドを使用するか、リンク ステート変更などのハードウェアアクションによって、UDLD がディセーブルにしたポートをリセットします。[chars] はインターフェイスです。

推奨処置 **show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

UFAST_MCAST_SW メッセージ

ここでは、UplinkFast (UFAST) パケット転送のメッセージについて説明します。

エラー メッセージ UFAST_MCAST_SW-3-PROC_START_ERROR: No process available for transmitting UplinkFast packets.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、プロセスを作成できなかったため、UplinkFast パケットが転送されないことを示します。

推奨処置 スイッチ ソフトウェアをリロードするまで、UplinkFast は動作しません。リロード後も問題が解消されない場合は、**show tech-support** イネーブル EXEC コマンドを使用して、エラーの詳細を調べます。メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレースバック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ UFAST_MCAST_SW-4-MEM_NOT_AVAILABLE: No memory is available for transmitting UplinkFast packets on Vlan [dec].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、メモリの制約が原因で、UplinkFast パケットが VLAN 上で転送されないことを示します。[dec] は VLAN ID です。

推奨処置 他のシステム アクティビティを減らしてメモリの使用を軽減します。

VQPCLIENT メッセージ

ここでは、VLAN Query Protocol (VQP) クライアントのメッセージについて説明します。

エラー メッセージ VQPCLIENT-2-CHUNKFAIL: Could not allocate memory for VQP.

説明 このメッセージは、VQP クライアントにメモリを割り当てるときに、エラーが発生したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート 担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ VQPCLIENT-2-DENY: Host [enet] denied on interface [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VMPS が、表示されたホスト MAC アドレスに対して、インターフェイスへのアクセスを拒否したことを示します。[enet] は、ホストの MAC アドレスです。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 通常は対処不要です。ホストがアクセスを拒否される理由がない場合は、VMPS の設定を確認してください。

エラー メッセージ VQPCLIENT-2-TOOMANY: Interface [chars] shutdown by active host limit.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、インターフェイス アクセスを要求したホストが多すぎるので、システムがインターフェイスをシャットダウンしたことを示します。[chars] はインターフェイス名です。

推奨処置 インターフェイスをイネーブルにするには、余分なホストを削除して、**no shutdown** インターフェイス コンフィギュレーションコマンドを入力します。

エラー メッセージ VQCLIENT-3-IFNAME: Invalid interface ([chars]) in response.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VMPS が、不明な VLAN 名を指定したことを示します。[chars] は VLAN 名です。

推奨処置 VMPS の設定を確認します。

エラー メッセージ VQCLIENT-3-VLANNAME: Invalid VLAN [chars] in response.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750、3560、2975、2970、および 2960 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、VMPS が、不明な VLAN 名を指定したことを示します。[chars] は VLAN 名です。

推奨処置 スイッチ上にその VLAN が存在しているかどうかを確認します。**show vmps** イネーブル EXEC コマンドを入力して、VMPS の設定を確認します。

WCCP メッセージ

ここでは、Web Cache Communication Protocol (WCCP) メッセージについて説明します。

エラー メッセージ WCCP-5-CACHEFOUND: Web Cache [IP_address] acquired.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが、指定された Web キャッシュを取得したことを示します。[IP_address] は Web キャッシュの IP アドレスです。

推奨処置 対処不要です。

エラー メッセージ WCCP-1-CACHELOST: Web Cache [IP_address] lost.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 および 3560 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチが、指定された Web キャッシュとの接続を失ったことを示します。[IP_address] は Web キャッシュの IP アドレスです。

推奨処置 **show ip wccp web-cache** イネーブル EXEC コマンドを入力して Web キャッシュの動作を確認します。

WRLSCNTR メッセージ

ここでは、無線コントローラ メッセージについて説明します。これらのメッセージは、Catalyst 3750 Integrated Wireless LAN Controller スイッチにのみ適用されます。

エラー メッセージ WRLSCNTR-3-INIT_ERR: Initialization failed. [chars]



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、無線 LAN コントローラの正常動作に必要な初期化の一部が失敗したことを示します。

推奨処置 メッセージを、コンソールまたはシステム ログに表示されたとおりに正確にコピーしてください。アウトプット インタープリタを使用してエラーの詳細を調べて解決してください。Bug Toolkit を使用して、類似した問題が報告されていないか調べてください。サポートが必要な場合は、TAC またはシスコのテクニカル サポート担当者に連絡して、集めた情報を提示してください。各オンライン ツールの詳細およびシスコへの連絡方法については、「[エラー メッセージ トレース バック レポート](#)」(P.1-8) を参照してください。

エラー メッセージ WRLSCNTR-3-CONFIG_ERR: No available channel-group to configure internal interfaces [chars] and [chars].



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、無線 LAN コントローラに接続されるインターフェイスを、チャンネル グループの一部として設定する必要があることを示します。スイッチはコンフィギュレーションを適用しようとしたが、すべてのチャンネル グループ番号が割り当て済みだったため適用できませんでした。チャンネル グループを削除しないかぎり、無線 LAN コントローラに接続されているインターフェイスを正しく設定できません。

推奨処置 EtherChannel コンフィギュレーションを変更してチャンネル グループを削除し、このチャンネル グループ番号を使用して、無線 LAN コントローラに接続されているインターフェイスを設定します。

エラー メッセージ WRLSCNTR-3-VERSION_ERR: Switch and wireless controller are using incompatible versions.



(注) このメッセージは、Catalyst 3750 スイッチにのみ適用されます。

説明 このメッセージは、スイッチ ソフトウェアと無線 LAN コントローラのソフトウェアとの互換性が完全ではないことを示します。一部の機能が利用できないことがあります。

推奨処置 スイッチまたは無線 LAN コントローラのソフトウェアをアップデートして、互換性のあるソフトウェア バージョンにします。



INDEX

A

- ACLMGR メッセージ [2-3](#)
- AUTOQOS メッセージ [2-8](#)

B

- BACKUP_INTERFACE メッセージ [2-8](#)
- BADTRANSCEIVER メッセージ [2-9](#)
- BSPATCH メッセージ [2-9](#)
- Bug Toolkit [1-8](#)

C

- CFGMGR メッセージ [2-10](#)
- Cluster Membership Protocol (CMP) のメッセージ
「CMP メッセージ」を参照
- CMP メッセージ [2-13](#)

D

- DHCP_SNOOPING_CAT3550 メッセージ [2-18](#)
- DHCP_SNOOPING メッセージ [2-14](#)
- DHCP メッセージ [2-14, 2-18](#)
- DOT1Q_TUNNELLING メッセージ [2-19](#)
- DOT1X (IEEE 802.1x) メッセージ [2-19](#)
- DOT1X_SWITCH メッセージ [2-21](#)
- Down-When-Looped (DWL) のメッセージ
「DWL メッセージ」を参照
- DTP メッセージ [2-24](#)
- DWL メッセージ [2-25](#)
- Dynamic ARP Inspection
「SW_DAI メッセージ」を参照

Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) のメッセージ

「DHCP メッセージ」を参照

Dynamic Trunking Protocol (DTP) のメッセージ

「DTP メッセージ」を参照

E

- EC メッセージ [2-26](#)
- ENVIRONMENT メッセージ [2-31](#)
- ETHCNTR メッセージ [2-31](#)
- EtherChannel コントローラのメッセージ
「ETHCNTR メッセージ」を参照
- EtherChannel のメッセージ
「EC メッセージ」を参照
- EXPRESS_SETUP メッセージ [2-36](#)

F

- Flexlink のメッセージ
「BACKUP_INTERFACE メッセージ」を参照
- FM メッセージ [2-37](#)
- FRNTEND_CTRLR メッセージ [2-46](#)

G

- GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ [2-54](#)
- GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ [2-55](#)
- GBIC_SECURITY メッセージ [2-51](#)
- GBIC メッセージ、Catalyst 3550
GigaStack GBIC モジュール [2-56](#)
識別および有効性チェック [2-47](#)

Gigabit Interface Converter (GBIC) のセキュリティ メッセージ

「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」を参照

「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」を参照

「GBIC_SECURITY メッセージ」を参照

Gigabit Interface Converter (GBIC) のメッセージ、Catalyst 3550

「GBIC メッセージ、Catalyst 3550」を参照

H

HARDWARE メッセージ [2-57](#)

HLFM メッセージ [2-59](#)

HPSECURE メッセージ [2-61](#)

I

IDBMAN メッセージ [2-61](#)

IEEE 802.1Q トンネリングのメッセージ

「DOT1Q_TUNNELING メッセージ」を参照

IEEE 802.1x のメッセージ

「DOT1X メッセージ」を参照

IGMP_QUERIER メッセージ [2-65](#)

ILPOWER メッセージ [2-66](#)

IMAGEMGR メッセージ [2-72](#)

Internet Group Management Protocol (IGMP) クエリアのメッセージ

「IGMP_QUERIER メッセージ」を参照

Inter-Processor Communication (IPC) プロトコルのメッセージ

「PLATFORM_IPC メッセージ」を参照

IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ [2-74](#)

L

L2TM メッセージ [2-75](#)

L3TCAM メッセージ [2-76](#)

LACP のメッセージ

「EC メッセージ」を参照

Link Aggregation Control Protocol (LACP) のメッセージ

「EC メッセージ」を参照

M

MAC_LIMIT メッセージ [2-77](#)

MAC_MOVE メッセージ [2-78](#)

MAC アドレス テーブルのメッセージ

「MAC_LIMIT メッセージ」を参照

MAC アドレス テーブル マネージャのメッセージ

「SW_MATM メッセージ」を参照

MAC アドレス認証のメッセージ

「SW_MACAUTH メッセージ」を参照

N

NETWORK_PORT_SATELLITE メッセージ [2-78](#)

P

PAGP_DUAL_ACTIVE メッセージ [2-79](#)

PAGP のメッセージ

「EC メッセージ」を参照

PBR メッセージ [2-80](#)

PHY メッセージ [2-82](#)

PIMSN メッセージ [2-84](#)

PIM スヌーピングのメッセージ [2-84](#)

PLATFORM_FBM メッセージ [2-87](#)

PLATFORM_HPLM メッセージ [2-87, 2-88](#)

PLATFORM_IPC メッセージ [2-89](#)

PLATFORM_IPv6_UCAST メッセージ [2-91](#)

PLATFORM_PBR メッセージ [2-91](#)

PLATFORM_PM メッセージ [2-94](#)

PLATFORM_RPC メッセージ [2-95](#)

PLATFORM_SPAN メッセージ [2-97](#)

PLATFORM_UCAST メッセージ [2-98](#)

PLATFORM_VLAN メッセージ [2-101](#)

PLATFORM_WCCP メッセージ [2-102](#)

PLATFORM メッセージ **2-85**

PM メッセージ **2-103**

PoE のメッセージ

「ILPOWER メッセージ」を参照

Port Aggregation Protocol (PAgP) のメッセージ

「EC メッセージ」を参照

PORT_SECURITY メッセージ **2-112**

Power over Ethernet (PoE) のメッセージ

「ILPOWER メッセージ」を参照

Q

QATM メッセージ **2-113**

QM メッセージ **2-115**

QOSMGR メッセージ **2-118**

QoS 分類およびセキュリティ ACL マネージャのメッセージ

「QATM メッセージ」を参照

QoS マネージャのメッセージ

「QM メッセージ」を参照

Quality of Service (QoS) のメッセージ

「AUTOQOS メッセージ」を参照

「QATM メッセージ」を参照

「QM メッセージ」を参照

Quality of Service (QoS) マネージャのメッセージ

「QOSMGR メッセージ」を参照

R

Remote Network Monitoring (RMON) のメッセージ

「RMON メッセージ」を参照

Remote Procedure Call (RPC) のメッセージ

「PLATFORM_RPC メッセージ」を参照

RMON メッセージ **2-124**

S

SDM メッセージ **2-125**

SFP のセキュリティ メッセージ

「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」を参照

「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」を参照

「GBIC_SECURITY メッセージ」を参照

Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュールのメッセージ

「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」を参照

「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」を参照

「GBIC_SECURITY メッセージ」を参照

SPANTREE_FAST メッセージ **2-135**

SPANTREE_VLAN_SW メッセージ **2-135**

SPANTREE メッセージ **2-126**

SPAN メッセージ **2-125**

STACKMGR メッセージ **2-135**

STORM_CONTROL メッセージ **2-138**

SUPERVISOR メッセージ **2-139**

SUPQ メッセージ **2-140**

SW_DAI メッセージ **2-142**

Switch Database Management (SDM) のメッセージ

「SDM メッセージ」を参照

Switched Port Analyzer (SPAN) のメッセージ

「SPAN メッセージ」を参照

Switched Port Analyzer (SPAN) のメッセージ、プラットフォーム

「PLATFORM_SPAN メッセージ」を参照

SWITCH_QOS_TB メッセージ **2-154**

SW_MACAUTH メッセージ **2-145**

SW_MATM メッセージ **2-146**

SW_VLAN メッセージ **2-146**

T

TAC、連絡 **1-8**

TCAMMGR メッセージ **2-155**

Ternary Content Addressable Memory (TCAM) のメッセージ

「L2TM メッセージ」を参照

「L3TCAM メッセージ」を参照

Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャのメッセージ

「TCAMMGR メッセージ」を参照

U

- UDLD メッセージ **2-157**
- UFAST_MCAST_SW メッセージ **2-159**
- UniDirectional Link Detection (UDLD) メッセージ
「UDLD メッセージ」を参照
- UplinkFast パケット転送のメッセージ
「UFAST_MCAST_SW メッセージ」を参照

V

- VLAN Query Protocol (VQP) クライアントのメッセージ
「VQPCLIENT メッセージ」を参照
- VLAN 単位のスパニングツリーのメッセージ
「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」を参照
- VLAN マネージャのメッセージ
「SW_VLAN メッセージ」を参照
- VQPCLIENT メッセージ **2-160**
- VTP メッセージ
「SW_VLAN メッセージ」を参照

W

- WCCP メッセージ **2-102**
- WRLSCNTR メッセージ **2-162**

あ

- アウトプット インタープリタ **1-8**
- アクセス コントロール リストのメッセージ
「QATM メッセージ」を参照
- アクセス コントロール リスト マネージャのメッセージ
「ACLMGR メッセージ」を参照

い

- イメージ マネージャのメッセージ
「IMAGEMGR」を参照

インターフェイス記述ブロック マネージャのメッセージ
「IDBMAN メッセージ」を参照

き

機能マネージャのメッセージ
「FM メッセージ」を参照

こ

コンフィギュレーション マネージャのメッセージ
「CFGMGR メッセージ」を参照

し

システム メッセージ

- 可変フィールド **1-6**
- 重大度 **1-6**
- ニーモニック コード **1-6**
- ファシリティ コード **1-1**
- フォーマット **1-1**
- メッセージ テキストの定義 **1-6**

システム メッセージの形式 **1-1**

信頼境界のメッセージ
「SWITCH_QOS_TB メッセージ」を参照

す

スーパーバイザ キューのメッセージ
「SUPQ メッセージ」を参照

スタック マネージャのメッセージ
「STACKMGR メッセージ」を参照

スパニングツリー高速コンバージェンスのメッセージ
「SPANTREE_FAST メッセージ」を参照

スパニングツリーのメッセージ
「SPANTREE メッセージ」を参照

た

タイムスタンプ情報 [1-1](#)

て

テーブル

可変フィールド [1-7](#)
 ファシリティ コード [1-2](#)
 メッセージの重大度 [1-6](#)

と

トランシーバのメッセージ [2-9](#)
 トレースバック レポート [1-8](#)

に

日時スタンプ [2-1](#)

は

ハイ アベイラビリティのメッセージ
 「IP_DEVICE_TRACKING_HA メッセージ」を参照

ふ

ファシリティ コード [1-1](#)
 ブート ロード パッチのメッセージ
 「BSPATCH メッセージ」を参照
 フォールバック ブリッジング マネージャのメッセージ
 「PLATFORM_FBM メッセージ」を参照
 プラットフォーム疑似ラベル マネージャのメッセージ
 「PLATFORM_HPLM メッセージ」を参照
 フロントエンド コントローラのメッセージ
 「FRNTEND_CTRLR メッセージ」を参照

ほ

ポート マネージャのメッセージ
 「PM メッセージ」を参照
 ポート マネージャのメッセージ、プラットフォーム
 「PLATFORM_PM メッセージ」を参照
 ポリシーベース ルーティングのメッセージ
 「PBR メッセージ」を参照
 「PLATFORM_PBR メッセージ」を参照

め

メッセージ

ACLMGR [2-3](#)
 AUTOQOS [2-8](#)
 BACKUP_INTERFACE [2-8](#)
 BADTRANSCEIVER [2-9](#)
 BSPATCH [2-9](#)
 CFGMGR [2-10](#)
 CMP [2-13](#)
 DHCP [2-14, 2-18](#)
 DHCP_SNOOPING [2-14](#)
 DHCP_SNOOPING_CAT3550 [2-18](#)
 DOT1Q_TUNNELLING [2-19](#)
 DOT1X (802.1x) [2-19](#)
 DOT1X_SWITCH [2-21](#)
 DTP [2-24, 2-26](#)
 DWL [2-25](#)
 EC [2-26](#)
 ENVIRONMENT [2-31](#)
 ETHCNTR [2-31](#)
 EXPRESS_SETUP [2-36](#)
 FM [2-37](#)
 FRNTEND_CTRLR [2-46](#)
 GBIC
 GigaStack [2-56](#)
 識別および有効性チェック [2-47](#)
 GBIC (Catalyst 3550) [2-47](#)
 GBIC_SECURITY [2-51](#)

- GBIC_SECURITY_CRYPT [2-54](#)
 GBIC_SECURITY_UNIQUE [2-55](#)
 GIGASTACK [2-56](#)
 HARDWARE [2-57](#)
 HLFM [2-59](#)
 HPSECURE [2-61](#)
 IDBMAN [2-61](#)
 IEEE 802.1Q トンネリング [2-19](#)
 IEEE 802.1x [2-19](#)
 IGMP_QUERIER [2-65](#)
 ILPOWER [2-66](#)
 IMAGEMGR [2-72](#)
 IP_DEVICE_TRACKING_HA [2-74](#)
 L2TM [2-75](#)
 L3TCAM [2-76](#)
 MAC_LIMIT [2-77](#)
 MAC_MOVE [2-78](#)
 NETWORK_PORT_SATELLITE [2-78](#)
 PAGP_DUAL_ACTIVE [2-79](#)
 PBR [2-80](#)
 PHY [2-82](#)
 PIMSN [2-84](#)
 PLATFORM [2-85](#)
 PLATFORM_FBM [2-87](#)
 PLATFORM_HPLM [2-87, 2-88](#)
 PLATFORM_IPC [2-89](#)
 PLATFORM_IPv6_UCAST [2-91](#)
 PLATFORM_PBR [2-91](#)
 PLATFORM_PM [2-94](#)
 PLATFORM_RPC [2-95](#)
 PLATFORM_SPAN [2-97](#)
 PLATFORM_UCAST [2-98](#)
 PLATFORM_VLAN [2-101](#)
 PLATFORM_WCCP [2-102](#)
 PM [2-103](#)
 PORT_SECURITY [2-112](#)
 QATM [2-113](#)
 QM [2-115](#)
 QOSMGR [2-118](#)
 RMON [2-124](#)
 SDM [2-125](#)
 SPAN [2-125](#)
 SPANTREE [2-126](#)
 SPANTREE_FAST [2-135](#)
 SPANTREE_VLAN_SW [2-135](#)
 STACKMGR [2-135](#)
 STORM_CONTROL [2-138](#)
 SUPERVISOR [2-139](#)
 SUPQ [2-140](#)
 SW_DAI [2-142](#)
 SWITCH_QOS_TB [2-154](#)
 SW_MACAUTH [2-145](#)
 SW_MATM [2-146](#)
 SW_VLAN [2-146](#)
 TCAMMGR [2-155](#)
 UDLD [2-157](#)
 UFAST_MCAST_SW [2-159](#)
 VQPCLIENT [2-160](#)
 WCCP [2-102](#)
 WRLSCNTR [2-162](#)
 レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング マネージャ [2-76](#)
 メッセージ、トランシーバ [2-9](#)
 メッセージの重大度 [1-6](#)
 メッセージのニーモニック コード [1-6](#)
-
- ゆ
- ユニキャスト ルーティングのメッセージ
「PLATFORM_UCAST メッセージ」を参照
-
- り
- 略語
- chars、可変フィールド [1-7](#)
 char、可変フィールド [1-7](#)
 dec、可変フィールド [1-7](#)
 enet、可変フィールド [1-7](#)

hex、可変フィールド [1-7](#)
inet、可変フィールド [1-7](#)

れ

レイヤ 2 フォワーディング マネージャのメッセージ
「L2TM メッセージ」を参照

ろ

ローカル フォワーディング マネージャのメッセージ
「HLFM メッセージ」を参照

